



# 平成 29 年度 「つどい」業務報告書

(八尾市市民活動支援業務及び  
機器使用料徴収事務に係る業務報告書)

平成 30(2018)年 3 月

特定非営利活動法人やお市民活動ネットワーク



# = 目次 =

1. はじめに	
2. 業務報告	
2.1. 中間支援業務	
2.1.1. 情報収集・情報発信業務	1
(1) 活動主体による公益的活動に関する情報の収集	
(2) 活動主体による公益的活動に関する情報発信	
2.1.2. 公益的活動の支援業務	7
(1) 活動主体が必要としている情報等の提供	
(2) 相談	
(3) スキルアップの支援	
2.1.3. 公益的活動への参加支援業務	31
2.1.4. 活動主体の連携・協力促進業務(コーディネート・マッチング)	33
(1) 交流会の開催	
(2) 連携・協力のコーディネート	
2.1.5. 活動主体による公益的活動の活性化に向けての取り組みの検討	35
(1) 活動主体からの意見収集	
(2) 他都市における先進的な取組事例の収集・分析	
(3) 公益的活動の活発化に向けての取り組みの検討	
2.2. 「つどい」の管理運営業務・組織体制・業務報告及び評価	
2.2.1. 管理運営の時間帯等	37
2.2.2. 管理運営業務の内容	37
(1) 登録団体の募集・登録・廃止及び登録団体との連絡業務	
(2) メールボックスの利用団体の募集・受付・廃止及び貸出等の管理業務	
(3) 会議室及び備品の貸出等の管理・保守業務	
(4) 印刷機・コピー機使用料の徴収・提出業務	
(5) 各団体の掲示物・郵便物の受付・掲示業務	
(6) 「つどい」の備品の管理業務	
(7) その他、「つどい」の管理運営に付随する業務	
2.3. 組織体制	45
2.4. 業務報告及び評価(マネジメントサイクル)	45
3. 成果と課題・方向性	46
【資料①】 第2回 センター「つどい」アンケート 結果 調査票	48
【資料②】 第3回 センター「つどい」アンケート 調査票	56
【資料③】 「つどい」登録団体名	57

## 1. はじめに

八尾市市民活動支援ネットワークセンターは平成 16 年 10 月に八尾市が設置した市民活動・ボランティア活動の拠点として開設をしました。

運営は八尾市より八尾市市民活動支援業務及び機器使用料徴収事務として「特定非営利活動法人 やお市民活動ネットワーク」が受託しています。

また「多様な活動主体による協働づくりと公益を産み出す中間支援センター」を目指し、市民活動団体やこれから携わりたい方に加え、多様な活動主体（地域活動団体や社会貢献活動を行う事業者、学校園）を支援、連携をコーディネートする中間支援センターとして、平成 29 年度も運営を行って参りました。

平成 29 年度は、上半期は昨年度に引き続き、業務の見直しやテコ入れを行い、下半期は新しい取り組みの中で変化や改善があらわれました。しかし、依然としてマネジメント面などの基盤強化が課題である 1 年でもありました。

平成 29 年度も、地域や現場に出向き、市民活動団体の PR や市民活動団体・地域活動団体等への取材など、多様な主体に目を向けながら、加えて地域分権を意識しながら、市民活動団体がどのように地域や多様な活動主体に対して役に立つのかを模索もして参りました。

さらに、市民活動団体の原点「自分のやりたいこと、好きなことで、人のため、地域のため、みんなのため、八尾全体のためにお役に立ちたい！」ということを忘れず、そのための人や活動主体とのつながりづくりや交流を図り、市民活動団体へのさらなるサポートもめざして参りました。

ここに、本年度の八尾市市民活動支援ネットワークセンターの業務活動を報告させていただきます。

平成 30 年 3 月

特定非営利活動法人 やお市民活動ネットワーク

理 事 長

西田 裕

副理事長 兼 事務局長

(センター「つどい」業務責任者) 新福 泰雅

## 2. 業務報告

### 2.1. 中間支援業務

#### 2.1.1. 情報収集・情報発信業務

##### (1) 活動主体による公益的活動に関する情報の収集

###### ■従来からの情報収集と新たに行った情報収集

平成 29 年度は、引き続き、主につどい登録団体や地域活動団体のために、取材を中心に現地に出向くことや、プリズム運営ネットワーク会議や地域食堂「おかえり処 お結びころりん」などへ参加・訪問することで、各団体・各施設の活動について情報収集を行った（下表）。

No.	日付	開催名称／開催場所	情報収集の内容
1	7月5日（水） 3月7日（水）	プリズム運営ネットワークへ参加／プリズムホール	参加している各施設が力を発揮していくための情報交換と協力体制構築の場として開催。八尾の地域課題などを話あった。「つどい」の動きについて情報提供を行った。
2	1月24日（金）	地域食堂「おかえり処 お結びころりん」の訪問	取材を兼ねて訪問し、地域の方々が食べることを通じて地域の方と交流し居場所として提供している意義や活動者の意識などを情報収集。
3	1月27日（土） 2月22日（木） 3月15日（木）	コタツシェア（市民環境講座）／1月：龍華出張所 1階ホール、2月：アトリエウフ、3月：アリオ八尾レッドコート	コタツを囲んで参加者とエコ・省エネを意識して、テーマなしでお話を行う場を提供。つどいの活動や、参加者の活動などを情報収集した。
4	1月22日（月） 2月20日（火）	ゆるゆる交流会への参加	主催者もテーマも決めず、ゆるく集まる会に参加し、中小企業家同友会有志の会の活動なども情報収集を行った。

また今年度は、新たな情報収集として下記に力を入れた。

- ・ 地域拠点施設へのヒアリング
- ・ 地域分権に関する研修会・交流会への参加
- ・ 人材づくり・参画するきっかけづくりにつながる広報に関する研修会への参加

地域拠点施設へのヒアリングについては、「地域拠点施設」「校区まちづくり協議会」「つどい」の3組織（施設）の連携強化が地域分権を推進すると考え、出張所の機能再編の時期も近かったことから、地域拠点施設である出張所・コミュニティセンター・人権コミュニティセンターへ初めてヒアリングを行った。ヒアリングでは、出張所の機能についてや、地域活動の課題、市民活動団体との協働のニーズや実績などをお聞きした（次頁参照）。

No.	日付	訪問先	訪問者
1	5月25日(木) 13:30~	久宝寺出張所	西田・鞠川
2	5月25日(木) 15:00~	緑ヶ丘コミセン	
3	6月23日(金) 10:30~	志紀出張所	新福・鞠川
4	6月28日(水) 13:30~	南高安出張所	
5	6月28日(水) 15:00~	高安出張所	
6	6月30日(金) 13:30~	龍華出張所	新福・田口
7	6月30日(金) 15:00~	山本出張所	西田・村上
8	7月5日(水) 10:30~	大正出張所	新福・鞠川
9	7月6日(木) 13:30~	安中人権コミュニティセンター	新福・田口
10	7月7日(金) 13:30~	西郡出張所・桂人権コミュニティセンター	新福・鞠川
11	7月12日(水) 16:00~	竹淵出張所	
12	7月14日(金) 13:30~	曙川出張所	新福・田口

地域分権に関する研修会・交流会への参加としては、出張所などの「地域拠点施設」や「校区まちづくり協議会」や「つどい」が地域分権の推進において重要な施設・組織であることを認識したうえで、地域分権に関する研修会などに出向き、情報収集に努めた。また、つどいが研修会を開催し、他の研修会に参加を兼ねて情報収集も行った（下表）。

No.	日付	開催名称／開催場所	情報収集の内容
1	8月3日(木)	つどいスタッフ向け研修「地域分権とは何か」／センター「つどい」相談室	連携可能な内容を収集するにあたり、久先生に地域分権のこれまでの歴史、校区まちづくり協議会の役割をお聞きした。
2	8月23日(水)	平成29年度出張所機能再編（地域拠点職員）研修～たずねる・よりそう・つながる出張所に向けて～／八尾市役所本館6階 大会議室	地域分権における出張所機能再編内容について、機能再編とは何かを中心に情報を収集した。
3	8月29日(火)	第1回校区まちづくり協議会で活動している女性の交流会ーやおキラ交流会ー／八尾市水道局大会議室	地域活動団体で活動される女性の交流会に参加し、どのように地域の方と意見交換や活動の共有方法について、ワークショップの進め方を収集した。以後、つどいがコーディネートで携わる交流会でワークショップの進め方として活用した。
4	12月18日(月)	第2回校区まちづくり協議会で活動している女性の交流会ーやおキラ交流会ー／八尾市役所本館6階大会議室	
	2月28日(水)	地域拠点担当職員研修／八尾市役所西館	地域拠点施設の職員として市民が相談された時に何を求めているか相談者が語れない部分も想像力をふくらまして対応して行く意義を学び、ワークショップで意見交換を行った。

広報や NPO 法人に関する研修会・展示会への参加としては、学生スタッフが中心となり、下記の研修会に出向き、情報収集に努めた（下表の No.1～4）。また、後述の「チラシ作りワークショップ」「パンフレット作りワークショップ」の開催において、下記の研修会で情報を収集し活用することが出来た。また下表の No.5 については、「つどい」の窓口で来館者の対応をするスタッフが、NPO 法人に関する相談や問合せに対応が出来るようになるため、NPO 法人ステップアップセミナーへ参加した。

No.	日付	開催名称／開催場所	情報収集の内容
1	8月23日(水)	伝わる！広告宣伝・ブランディング展 by メビック扇町	中小企業を応援する大阪のクリエイターが企業向けに行った展示会に参加し、今後のちらし作りやパンフレット作りなどの広報に取り入れるために、展示していた4社と名刺交換や情報収集を行った。
2	9月16日(土)	第1回八尾地域クラウド交流会	第1部の「クラウド勉強会」はサイボウズ様の講演ではクラウドをどのように会社経営や働き方に取り入れて行くかを情報収集。第2部の「クラウド交流会」は5名の起業家のプレゼンを聴き、起業家と参加者との交流から、今後の社会変化について情報を収集。
3	11月13日(月)	NPO 法人の問題解決～最適な活動スタイル選びのために～／ひと・まち交流館 京都	一般社団法人と NPO 法人の法律上の違いなど情報収集した。
4	1月26日(金) 2月2日(水) 2月23日(水)	連続講座 NPO の広報・発信のためのツール活用講座 第1回～第3回／京都市市民活動総合センター	魅力が伝わるちらしづくり講座に参加した。参加者がちらしに掲載した内容に参加して何が得られるかが明確にわかる書き方を収集した。読み手が主語になったちらしの作り方を収集した。
5	1月25日(木)	NPO 法人ステップアップセミナー	NPOにおける活動プログラムと資金調達、NPO 法人会計基準、大阪府条例指定 NPO 法人制度及び認定 NPO 法人制度、NPO 法改正の概要を学習。

## (2) 活動主体による公益的活動に関する情報発信

### ■従来からの情報の発信

平成 29 年度も、引き続き、下記の情報発信を行った。

- ・ ニュースつどいの発行（5回発行：5月号・7月号・9月号・11月号・3月号）
- ・ 「つどい登録団体」等の広報支援（4ページ表）
- ・ 八尾市こども政策課の『八尾市こどもサイト「あつまれ八尾っ子！！」イベントカレンダー』へ、つどい登録団体の情報掲載（4ページ表）
- ・ 「つどいブログ」を中心に16件の助成金募集について情報発信（4ページ表）
- ・ つどいホームページ・つどいブログ・SNS（Face book）を使った各種活動情報などの発信（つどいブログの訪問者数・閲覧数が過去最高になった）
- ・ 八尾市生涯学習スポーツ課発行の「出前講座」冊子に、つどいで行う出前講座を掲載。

※ 「つどいブログ」の最新情報をお知らせする「つどいメールマガジン」は、本年度は休止した。

○ 広報支援(情報発信の支援):「ニュースつどい」発送時の行事案内等の同封・挟み込み

月	発行号	同封・挟み込み内容
4月	5月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOやお通信 Vol.33</li> <li>・みんなのやお まちづくりかわら版 第33号</li> <li>・第11回 高安悠画会 アリオ八尾絵画展</li> <li>・11th JEANS CONCERT</li> <li>・平成29年度 市民活動支援基金事業助成金交付団体 募集</li> <li>・平成29年度 地域福祉推進基金事業助成金交付団体 募集</li> <li>・環境アニメイティッドやお 楽しい環境活動支援金</li> </ul>
6月	7月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八尾河内音頭まつり 河内音頭で世界一に挑戦!</li> <li>・八尾河内音頭まつりで世界一に挑戦! 概要&amp;参加申込書</li> <li>・「登録団体紹介カード」のお知らせ</li> <li>・おとなの チャレンジ人形劇講習会</li> <li>・シルバーリーダー養成講座 受講生募集</li> </ul>
8月	9月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなの学校 みんなの地域」講演&amp;意見交換</li> <li>・西郡はなはなマーケット</li> <li>・みんなで灯す キャンドルナイト</li> </ul>
10月	11月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOやお通信 Vol.34</li> <li>・「登校拒否・社会的ひきこもりからの回復・自立をめざして」後援と無料相談会</li> <li>・「さとにきたらええやん」映画上映会&amp;「地域で育つ子どもの居場所づくり」講演会</li> <li>・介護予防 体力測定会</li> <li>・生活援助サービス従事者研修 受講者募集</li> <li>・みんなで作ろう 人権が尊重されるまち</li> <li>・ばうむの会 二次障がいを生まない子育てシンポジウム</li> </ul>
2月	3月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やお市民活動「春の祭典」Part12 実施要領&amp;出展申込書</li> <li>・「メールボックス」利用登録申請書</li> <li>・講演会「認知症の人と家族が明るく生きるために」</li> <li>・講演会「登校しぶりや不登校、ひきこもりなどの発達の危機について、共に考えよう！」</li> <li>・ライブ&amp;トーク「う ふ ふ ふ…きゃらふると EPOが出合う時3」</li> <li>・えほんライブ 2018</li> <li>・Yao 人形劇まつり 2018</li> <li>・ドッジボール体験教室</li> <li>・シンポジウム「都市(まち)と軍隊」&amp; 陸軍大正飛行場の歴史を探る 見学会</li> <li>・フォーラム「みんながつくるみんなの地域」</li> <li>・東弓削遺跡事業「いにしへの由義寺跡から」</li> <li>・防災対策☆あんしんセミナー&amp;シンポジウム</li> <li>・発達障害児者シンポジウム</li> </ul>
合計		35件 (内訳: 案内ちらし 29件、広報紙 3件、助成金募集案内 3件 )

○ 八尾市子どもサイト「あつまれ八尾っ子!!」イベントカレンダー

5月掲載分	1件	6月掲載分	2件	7月掲載分	1件	8月掲載分	2件
9月掲載分	2件	10月掲載分	3件	11月掲載分	1件	12月掲載分	2件
1月掲載分	1件	2月掲載分	1件	3月掲載分	1件	4月掲載分	1件

※ 「つどい」から「子どもの健全育成」分野に該当し E-mail アドレスを持つ「つどい登録団体」へご案内し、集約の上で提出を行った。

○ 助成金情報の発信（発信ツールの主は、つどいブログにて実施）

No.	月	配布先	応募元
1	4月	八尾市「子どもの居場所づくり補助金」応募団体募集	八尾市こども政策課
2		子ども・子育てを応援する取り組み大募集	八尾市こども政策課
3		楽しい環境活動支援金募集のご案内	環境アニメイティッドやお
4	6月	平成 29 年度 八尾市地域福祉推進基金事業助成金助成団体の募集案内	八尾市地域福祉政策課 八尾市障がい福祉課
5		市民社会のコミュニティーを再生・進化・発展に寄与する事業助成情報	一般社団法人YS市庭コミュニティー財団
6		古本リサイクル募金「きしゃぼん」 【ニュースつどいで掲載】	嵯峨野株式会社
7	8月	損保ジャパン日本興亜福祉財団「住民参加型福祉活動資金助成」	公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
8		2017年度「元気シニア応援団体に対する助成活動」	生命保険協会 広報部内「元気シニア応援活動」事務局
9	9月	第13回「TOTO水環境基金」助成団体募集	TOTO株式会社 総務部 総務第二グループ
10	11月	「とまとちゃん福祉基金」支援事業募集と説明会	大阪いずみ市民生活協同組合
11		近畿ろうきんNPOアワード2017「多彩な子育て支援のプログラムを大募集！」	近畿労働金庫
12	12月	子ども食堂などに学習機能を付与するための助成事業募集	一般財団法人中辻創智社
13	1月	市制施行70周年記念 市民提案事業の募集	八尾市政策企画部政策推進課
14	2月	2018年度 人権NPO協働助成金	一般財団法人 大阪府人権協会
15	3月	2018年度 緑の募金「子どもたちの未来の森づくり事業」公募	公益社団法人国土緑化推進機構
16		「老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」	みずほ教育福祉財団

○ ホームページ訪問者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度	1821	1853	1855	1514	1418	2407	2862	1998	1697	2256	1540	2303	23524
2016年度	715	334	287	344	416	308	380	737	494	455	384	1695	6549
2015年度	2783	3094	38 21	291 7	310 7	622※	6 3 9	100 6	751	807	767	838	21152

※ 9月より「グーグルアナリティクス」に集計ソフトを変更。ページビューを訪問者数とする。

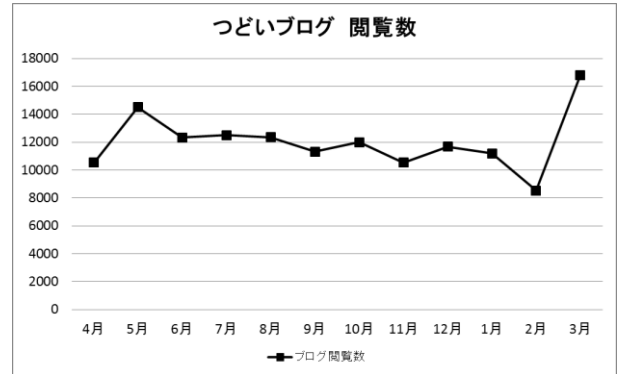
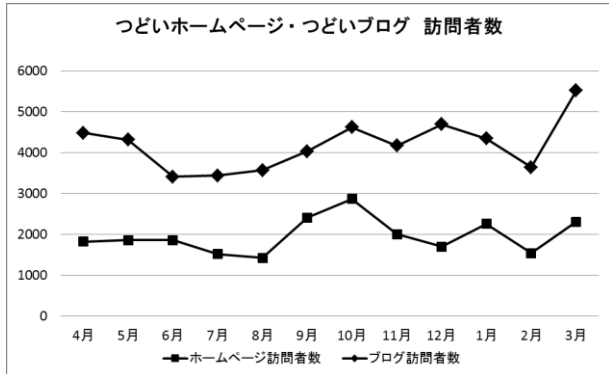
○ ブログ訪問者数・閲覧数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問者数 (2017年度)	4484	4315	3411	3440	3566	4035	4619	4170	4691	4341	3637	5521	50230
訪問者数 (2016年度)	2985	3169	2640	2208	2635	3483	4577	3501	3830	3360	3130	3361	38879
訪問者数 (2015年度)	150 3	185 9	156 7	235 1	286 4	245 2	2391	2665	2334	2378	3097	3365	28826
閲覧数 (2017年度)	10549	14509	12333	12495	12365	11325	12002	10544	11675	11202	8541	16820	144360



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
閲覧数 (2016年度)	9351	10388	8976	5465	5843	8136	12041	12074	12115	9035	8574	11267	113265
閲覧数 (2015年度)	619	659	539	708	947	992	11111	8562	8656	9586	9854	8661	101096
	3	4	4	6	3	6							

※ 訪問した人数は「訪問者数」、各ページに閲覧した数は「閲覧数」として集計している。



### ■新たに改善を図った情報発信

平成 29 年度は、下記について改善を実施した。

- ・ 「つどいホームページ」は、データベースの「つどい登録団体」の情報を使って、6月28日（金）にホームページ内の「つどい登録団体紹介」で、全つどい登録団体の「ニュースつどい・つどいブログ等で掲載した記事」「設立目的」「活動内容」「問合せ先」「活動分野」が閲覧できるように内容を更新した。また7月には、つどいの今までの取材や『やお市民活動ハンドブック 2014「つなぐ」』を活用し、130団体分の団体の活動内容がわかる写真を掲載した。ホームページ上で手軽に「つどい登録団体」の基本的な情報を提供できるようになった。また新規登録団体の内、最新の6団体までは「つどい登録団体」のページを開くと、『新規「つどい登録団体」』としてトップページに表示することが出来るようになった。
- ・ 「ニュースつどい」の発行は、年間通して5月号に発行した草原と樹木の風景を中心に季節ごとに背景や植物を変えることで「ニュースつどい」だとわかるようにデザインの一貫性を図った。発行については、掲載できる内容がまとまり次第、随時発行してきた。
- ・ 「つどい」第6版のちらしを作成。「つどい」が行事・活動について相談があった団体・個人に、つどい登録団体を紹介し、実際に団体・個人が事業を実施するまでの流れをフローチャートにまとめた。またあわせて「つどい」ホームページから市民活動団体を探す方法を掲載し、裏面では「つどい」が市民活動団体を紹介したことで、盛況になった行事を紹介した。このちらしは「平成 29 年度校区まちづくり協議会 活動成果報告会」（8月8日～10日）で配付し、つどいの活動や実績のPRにつとめた。

## 2.1.2. 公益的活動の支援業務

### (1) 活動主体が必要としている情報等の提供

下表の通り、15 件の情報提供を行った。また、情報提供と同時に、各開催場所での「つどい」登録団体や「つどい」の紹介を行った。

No	日付	開催名称／開催場所	情報提供の内容
1	3月8日 ～6月9日	八尾市子どもの居場所づくり事業補助金情報提供	八尾市こども政策課が八尾っ子元気・やる気アップ提案事業等の募集案内を送付するにあたり、以前「つどい」が「子どもに関する団体と取組みに関する調査」で回答した「つどい登録団体」の団体名・送り先・氏名の情報を活用したいという相談があり、子どもの健全育成に該当しかつ情報開示をしている「つどい登録団体」について情報提供を行った。 4月8日開催の「平成28年度 子ども・子育て支援助成金事業 成果報告会」では5団体が聴講に参加。上記の募集案内に対して「登校拒否を克服する会・八尾交流会」「いちご会」が助成金獲得につながった。また「つどい」主催の「子育て支援井戸端会議」でも情報提供を行い、参加していた「ばうむの会」も助成金を獲得。NPO 法人 KARALIN の関係者である「みんなの保健室」も応募を行い助成金獲得につながった。
2	8月23日 (水)	平成29年度出張所機能再編(地域拠点職員)研修～たずねる・よりそう・つながる出張所に向けて～／八尾市役所本館6階大会議室	出張所機能再編において、地域分権の推進を担う地域拠点施設との連携をふまえて「つどい」の活動について紹介を行った。「つどい」第6版のちらしを配付。
3	8月29日 (火)	第1回校区まちづくり協議会で活動している女性の交流会ーやおキラ交流会ー／八尾市水道局大会議室	開催前に「つどい」について紹介を行った。「つどい」第6版のちらしを配付。
4	10月26日 (木)	平成29年度第1回八尾・高美地区地域内施設連絡会	「つどい」を知り、連携を行う事で、どのようなつながりが生まれるかを、これまでの協働事例をふまえて説明した。 「つどい」第6版及び第5版のちらし・ニュースつどい9月号を配付。
5	11月24日 (金) 12月1日(金)	大阪国際大学「NPO論」ゲストスピーカー	八尾市まちづくりアドバイザーである田中優准教授の講義「NPO論」にゲストスピーカーとして参加。受講している大学生へ、第1回目は中間支援に携わるスタッフの自己紹介と活動経歴を講義し、第2回目は「つどい」の活動について情報提供を行った。
6	12月8日 (金)	第20回シルバーリーダー養成講座	「つどい」の存在を知ってもらうところから、「つどい」でどのようなことが連携できるかなどを説明。「つどい」第6版ちらし・ニュースつどい11月号を配付。
7	1月26日 (金)	財務省近畿財務局「出前講座」情報を提供	近畿財務局主催の出前講座として、子育て世代や子どもを対象に知って役に立つ「お金」の講座内容の情報がいった。「つどい」主催の「チラシ作りワークショップ」に参加していた「キッズマネーステーション(子どもへのお金の教育活動を行っている団体)」へ出前講座の内容を提供した。
8	2月9日 (金)	平成29年度 第3回 校区まちづくり協議会 連絡会	「情報提供とつどいの変化」と題して、校区まちづくり協議会の役員へ向けて、情報提供の工夫を行い自らが取組みを変えていったことで、新しいつながりや変化が出来たことを説明。自ら変わり、効果が出てきている「つどい」との連携・つながりを意識してもらうために説明を行った。
9	2月20日 (火)	コミュニティ推進スタッフ会議へ参加	No.8の連絡会の説明に関係して、最近のつどいの動きについて、コミュニティ推進スタッフに説明を行った。

No	日付	開催名称／開催場所	情報提供の内容
10	2月11日 (日)	第2回ヒューマンサミット・IN・八尾「これから40年」に参加／プリズムホール和室	コミュニティの専門家として「つどい」に参加依頼があり、「つどい」の活動について説明に伺った。また「チャレンジ80」での取り組みとして、コタツ使用による節電と二酸化炭素削減の啓発PRの場を「つどい」が提供した。
11	2月21日 (水)	山本コミセンラウンドテーブル／山本出張所	2月2日(金)に山本小学校区まちづくり協議会の来年度の方針について話し合いに参加した際に、校区まちづくり協議会と地区福祉委員会の違いが役員の中で認識がされず議論にならなかったことから、「つどい」で「地域の複合組織の比較」という比較表を作成し、比較表を情報提供した。 後日、南山本小学校区まちづくり協議会には資料提供を希望されたので50枚印刷して提供し、東山本小学校区まちづくり協議会の総会では主催者が自主的に印刷して配布をされた。
12	2月23日 (金)	平成29年度第2回八尾・高美地区地域内施設連絡会	参加者(施設等)同士が顔見知りになるために、「つどい」がコーディネータ及び進行を担当した。 各グループに分かれて、お互いの取り組みとして、活動自慢、お悩みなどを、自己紹介を含めて交流を図り、「いいな」と思ったことからフリートークをしてもらった。最後に各グループの発表時に、気づいた点を「つどい」からコメントし、まとめとして「他人事も自分事だと意識することで各参加者・地域に興味を持ってもらいたい」という考え方・発想を提供した。
13	2月24日 (土)	八尾小学校区まちづくり協議会主催の防災訓練へ「手づくりおもちゃ」で出展していた「工房夢祭」に参画している常磐会短期大学生へ子どもの健全育成に関する情報を提供	「工房夢祭」に参画している常磐会短期大学生が「つどい」に来館。「つどい」の活動内容・情報や、子どもの健全育成で活動する市民活動団体の紹介を行った。その際に各種市民活動団体のちらしにて情報提供を行った。
14	3月3日 (土)	八尾市教育委員会指導課より「平成30年度実施可能講座等」について「やおんど」の活動を情報提供	「やおんど」が「仕事とは、働くとは」をテーマに小学生に授業を行っていることを情報収集したため、八尾市教育委員会指導課の実施可能講座等に回答し、情報提供を行った。
15	3月8日 (木)	ソーシャルビジネス検討会議へ参加	八尾市市民ふれあい課主催、日本政策金融公庫、八尾市産業政策課、八尾市福祉指導監査課、「つどい」の5者で開催。ソーシャルビジネスについての共通認識を深めるために、「つどい」からは活動内容や市民活動団体の現状などを情報提供した。

## ■ つどいパンフレットの作成

学生スタッフを中心に「パンフレットづくりワークショップ」を兼ねながら「つどい」の存在理由・意義を再度考え、パンフレットを作成した。その結果、「つどい」で集い、出会うことの出来た方々の顔が見える、今の「つどい」らしいパンフレットが完成した。このパンフレットは今後、「つどい」について紹介する場面があった際に活用して行く予定である。

## (2) 相談

今年度は、昨年度よりも相談件数が増加し、144 件になった。相談者の活動主体は、市民活動団体が最も多く、次いで市民、行政、事業者、公共施設、地域活動団体、その他の順であった。今年度は教育機関からの相談がなかったが、行政の相談が昨年度の約 3 倍に増えた。

相談者の相談分類は、「NPO 法人の設立・運営相談以外」が 89.6%あり、NPO 法人の相談は「設立相談」「運営相談」を合計した 10.4%にとどまった。昨年度よりも、「NPO 法人の設立・運営相談以外」の割合が増えた。

相談者の相談内容は、紹介・提案が 81.9%と最も高く、レクチャー、助成金対応、その他の順であった（詳細は、次頁のグラフを参考）。

なお、相談業務記録は、前項（P.1）の「2.1.1. (1) 活動主体による公益的活動に関する情報の収集」業務の聞き取りも兼ねてデータベースに入力した。

専門家相談会は、特定行政書士の金光一輝氏に引き続きお願いし、5月に1件、2月に1件の合計2件があり、どちらもNPO法人の設立についての相談であった。

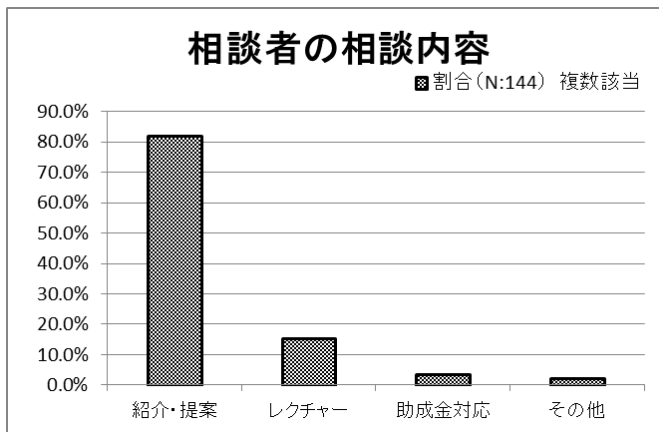
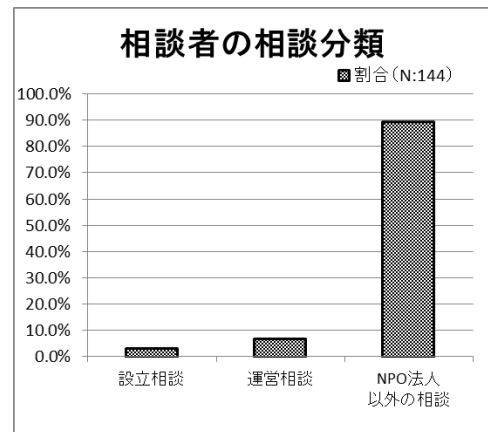
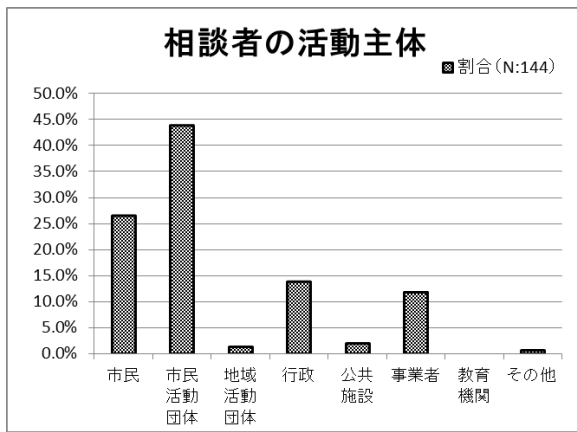
### ○ 相談内容・相談者の活動主体・相談分類

月別小計	相談内容 (複数該当あり)				活動主体								相談分類		
	紹介・提案	レクチャー	助成金対応	その他	市民	市民活動団体	地域活動団体	行政	公共施設	事業者	教育機関	その他	設立相談	運営相談	NPO法人の設立・運営 相談以外
4月	14	7	3	0	7	8	0	2	0	4	0	0	3	3	15
5月	9	2	1	1	1	7	1	2	0	1	0	0	0	1	11
6月	7	3	0	1	2	6	0	0	1	1	0	1	0	2	9
7月	4	2	0	0	1	3	0	1	0	1	0	0	0	2	4
8月	7	1	0	0	2	4	0	1	0	1	0	0	1	0	7
9月	7	0	0	0	2	4	0	0	0	1	0	0	0	0	7
10月	10	1	0	0	2	4	0	3	0	2	0	0	0	0	11
11月	13	0	0	0	6	1	0	2	2	2	0	0	0	0	13
12月	13	0	0	0	3	7	0	2	0	1	0	0	0	0	13
1月	16	4	1	0	5	11	0	3	0	2	0	0	0	1	20
2月	8	0	0	1	3	3	1	2	0	0	0	0	0	0	9
3月	10	2	0	0	4	5	0	2	0	1	0	0	1	1	10
小計①	118	22	5	3	38	63	2	20	3	17	0	1	5	10	129
合計②	148				144								144		
①②(%)	81.9	15.3	3.5	2.1	26.4	43.8	1.4	13.9	2.1	11.8	0	0.7	3.5	6.9	89.6

※ 相談件数は、144 件。相談内容は、複数該当する場合があるため、合計数が相談件数よりも多くなる。

※ 相談内容の％は、相談件数を分母にした計算。複数該当もあるため合計が 100%を越える。

※ 四捨五入のため、合計のパーセントが 100%にならない場合がある。



## 相談記録

No.	日付	リンク	活動主体	相談内容	相談対応
1	4月5日		行政	子どもからの提案・夢を実現するため、今年度はウイングでNHKのEテレで放送されている「ピタゴラスイッチ」を再現しようと考えており、その関連でクラフトづくりなどを行う団体があれば紹介してほしい。	下記の団体をお伝えした。 ・工房夢祭(登録№319):紙クラフト・木エクラフト ・大阪森林インストラクター会阪奈会(登録№52):どんぐりなどを使ったクラフトづくり ・こっとんきやんでい(登録№401):スノードーム また具体的に開催の準備に入ったら連絡先等をお聞きすることになった。
2	4月6日		行政	市民スポーツ祭で当日開催・準備のお手伝いいただける方(人員)をさがしているので、市民活動団体でどなたかいないか紹介してほしい。	市民活動団体に人員で募集するのではなく、市民活動団体を持つ特技やノウハウを現地で活用する内容であれば声はかけやすい。 翌日、電話したが不在であったため、翌週に再度又、連絡することになった。 4/12(水)相談者から電話があり、これまで携わっていた地区の八尾市青少年育成連絡協議会が6~8人、市民スポーツ祭の役を降り、その代りの人を個人や志紀のために何かしたい人がいれば、市民活動団体から、そのような方がいないかという相談であった。 つどいハンドブック2014と志紀で活動する団体がデータベースソフトから4団体見つかったので、情報提供を行った。なお情報開示がされているのもあるのと、突然、活動内容とちがう依頼でお電話されると各団体も驚かれるので、相談者から連絡したい団体があれば、こちらからご連絡を行う旨をお伝えした。 また、八尾市の職員ボランティアやサポートやおなどもコンタクトをとってみてはと提案した。つどい登録団体はテーマ別の団体なので、マジックやクラフトといったテーマで依頼をいただいた方が探しやすいと説明した。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
3	4月7日		市民活動団体	昨年度、法人の関係者の頑張りで事業に携わった方へ実費の交通費以外にボランティアで携わった分をお礼として会計を執行したが、費用の科目はどれがふさわしいかアドバイスがほしい。	お礼なので、諸謝金という費用科目がふさわしいと回答。 (すでに実費の交通費を以前から支給しているのと、誰も法人と雇用契約を結んでいないため。) また諸謝金は、これまで執行したことがないので、源泉徴収税の徴収が必要になることを説明した。 ただし、国税庁のWebでは、原則謝金は源泉徴収の対象になるが、別紙の入選者の賞金・新聞・雑誌の投稿の謝金は、一人に対して支払う賞金・謝金の金額が一回5万円以下であれば、源泉徴収をしなくてもよいことになっていると説明した。 (後日、年末調整をした年収2000万円以下のサラリーマンが給与所得以外の所得が20万円以下ならば、確定申告が不要であることをお伝えする。)
4	4月7日		事業者	就労支援B型として事業を行うNPO法人を設立したいと依頼があり、NPO法人の設立は携わったことがないので、教えてほしい。	依頼主は、八尾市大窪に事業場を設け、事務所を八尾市神立で考えておられるため、八尾市にNPO法人格の申請を考えているため、つどいに来られた。 相談者は、日常取扱いの多い業務は、宅急便のトラックといった事業用自動車に営業ナンバー、ナンバープレート(緑ナンバー)を申請する業務が主であり、NPO法人格の申請は行ったことがない。 依頼主は、知り合いが就労支援B型事業を行っており、「ええなあ!」と思われ、就労支援B型には法人格が必要のため、今回NPO法人格の申請を考えたそうである。昨日、依頼主から聞かれたとのこと。 つどいとしては、就労支援B型でどのような公益を産み出したいか。将来はグループホームも行いたいと定款のその他事業に記載しているが、その他事業は、公益活動ではないため、グループホームを考えるならば株式会社でもよいのではないかと説明した。営利目的か非営利でミッションを達成したいかで、取得する法人格も要検討と説明した。(NPO法人格を選ぶ理由) 相談者から数点質問があり、PCの寄贈を受けることはできるかについて、設立後寄贈できることをお伝えした。 出資金は社員から出してもらわないといけなにかについては、非営利組織なのでNPO法人は出資金なしで立ちあげられることを説明した。 就労支援B型を行うのに、市役所の窓口で先に手続等をお聞きした方がよいかについては手続きされたことがないのであれば、NPO法人格の申請と平行に進めた方がよいと回答した。
5	4月8日		市民	定年退職し身辺整理で出て来た鉛筆を国際飢餓対策で取組む団体に寄贈したいので、「つどい登録団体」でそのような団体があればご紹介してほしい。	つどい登録団体(登録№260)の日本国際飢餓対策機構があるがWebでは文房具の寄贈は行っていないようである(書き損じハガキは取り扱っている)。電話番号をお伝えし、一度お問合せいただくようご案内した。 またWebで調べてみた中で、国際社会支援推進会「ワールドギフト」のWebでは、鉛筆やノートの文房具の寄付が行われていることをご案内した。 寄贈する鉛筆は30本程であり、ワールドギフトの寄付ではダンボール詰めで金額もかかるので、よろしければ「つどい」で活用させていただくことも付け加えご案内を行った。
6	4月9日		市民活動団体	NPO法人の運営について赤字決算になるとNPO法人格の認証を取り消されることがあるのか教えてほしい。	・相談の質問については、認証を取り消されることはない。 ただ、毎年度、赤字決算が続き資産よりも負債が多い、債務超過になれば、理事たちで赤字を補填出来なければ、運営が出来ないので、NPO法人を解散しないといけなくなることをお伝えした。 ・次の質問で資産は物品も含まれるかについては、1品10万円以上で購入した物品は備品として資産計上される。備品は、毎年度、減価償却費で費用計上し、資産(備品)の価値を減らしていく。 ・別の質問で校区まちづくり交付金で校区まちづくり協議会から依頼が来るようにすることは、難しいと回答。会計の執行が容易ではないこと、公金で公益性のある事業で使う交付金であることを説明した。 校区まちづくり協議会と行政とのつながり、協議会の構成と特徴を説明した。 最後に地域につながることも大切だが、電気量販店でPCやiPadの使い方がわからないお客様をターゲットに電気量販店とつながりをつくった方がよいのではないかと提案した。
7	4月12日		市民活動団体	八尾の歴史・文化を多くの人に関心、興味をもち、知識を得ることに加え、自分自身の心・感情を育むために講演会を開催したいが、その進め方などをお教えいただきたい。	講演会の開催は、9月3日に皇室にゆかりもあり、古事記にも造詣が深い竹田恒泰氏をお招きし、プリズムホールで行うことで進めている。 講演会を機会に観光や宿泊や食事など産業化・八尾市外から人が来るまちにつなげていきたい考えである。 自分自身の心・感情を育む心の教養・倫理は、目には見えない部分であるが、例えばマナーなど形では表現しているものも、本来の目的も目には見えず後世に伝えたいといけなことを発信していきたいと考えている。 開催趣旨をお聞きし、行政にも後援いただきたいとお聞きしたので、公益性のあるものであれば、申請は出来るかと回答した。申請用紙の様式を提供し、また申請先の窓口を現地までご案内した。(教育委員会は総務人事課、八尾市は総務課)専門の窓口がない場合は、総務課になることがわかった。 どちらも公益性として入場制限にならないように無料入場を薦めていることもわかった。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
8	4月12日		市民	若い世代が多く集まっている市民活動団体があれば紹介してほしい。	相談者は、人のお役に立ちたく、また他の人に相談すると、同年代の人ともつながり友達になればと考えている。 World Seedの代表を紹介した。(つどい登録 No.332) 彼は、上記団体以外に、「いきいき八尾環境フェスティバル学生事務局」の運営や「ハッピーアースデイ」にも携わり、多くの学生・若者とのつながりがあることをお伝えした。岡見氏に電話したが不在であり、情報開示されているE-mailアドレスを相談者に提供した。相談者からE-mailで代表へ連絡を行うことになった。
9	4月19日		市民	ボランティアがしたいので紹介してほしい (サポートやおに行っただが、若い人なら、つどいの方が良いのではと言われた)	特に何がしたいということはないようなので、若い人が集まる団体が載っている、合同新歓のパンフレットをお渡しした。 World Seedを紹介した。 (相談 No.2017-008を参考にした)
10	4月19日		事業者	NPO法人格の申請で引き続き、書類を作成したので、内容を見てほしい。	NPO法人格を選んだ理由として、官公庁とつながりやすい(契約等)、市民には法人格を取得の方が伝えやすい。企業は仕事や協力をもらいやすくなるため理由であると聞きした。また相談者は行政書士で、依頼者が別であり、その依頼者は、他のNPO法人においてボランティアやアルバイトで就労支援に携わり、ノウハウを身に付け、生き甲斐を見つけ自立していく障がい者を見て来たことで、自分自身でも就労支援を立ちあげたいと思ったとお聞きした。 設立趣意書では、申請までの経過として、依頼主の上記のことが始まりで、仲間が出来たことや、他の活動に携わり課題等を感じ取り組むべきものを見つけたことを書くように説明した。また、企業に就職して精神疾患で退職した方を、再度就労支援を行なうかも依頼者に確認してほしいとお伝えした。 定款は、3条・4条・5条が要であることを述べ、目的・活動種類・事業種類が関連していないと説明。活動の種類が福祉分野と職業能力分野以外は関連性がわからないと説明した。 定款6条以降も含め、全体的に八尾市のサンプルではないので、法改正前で古いため、NPO法人設立・運営の手引きの定款サンプルに整えてもらうようお伝えした。(別紙)。障がい者の用語は人物である際は、自治体では「障がい者」と記載すると説明。障害名は、従来のみで良いと説明した。
11	4月19日		市民活動団体	団体の活動や目的を知ってもらい、経営改善を図るためにもつながるので、ぜひ八尾の事業者へ訪問して広報していきたい。 八尾の事業者を紹介してほしい。	直接、事業者は数社知っているが、同じように環境負荷を低減して経営改善を図ることを行っている取組みがあり、経営改善で共通しているので、つどい登録団体である「NPO法人グラウンドワーク八尾」を紹介した。貴法人は、上記を図るための環境マネジメントシステム「O-KES」の普及をとりまとめている担当理事をご紹介し、一度、担当理事の会社へ訪問することを提案。 4月26日(水)に相談者数名と担当理事の会社へ訪問し、相談者の団体が行う「純粋倫理」を学び経営改善を図ること、環境負荷を低減し経営改善を図る「KES」の団体同士の共通点など話合った。(大半はKESの取組みや担当理事の会社の3S実践や仕事内容も拝見した。)
12	4月20日		市民活動団体	史跡をまとめた冊子を作成するのに助成金を活用したい。 市民活動支援基金に応募したいのでアドバイスがほしい。	相談のあった基金の助成金の趣旨を説明した。冊子を作成し無料配布を行うだけでは、助成金の趣旨である自立のための事業の助成や組織基盤強化には合致しないので、応募しても助成金を得るのはむずかしいと回答。 10年近く前にも同様の内容で申請され助成金を得たことがあるため、今回も応募が出来ると思われた様子であった。当時の指導が行き届かなかったことが今日まで影響していることを説明。当時も冊子を作成し定価よりも例え安くても冊子を販売した収入も使って新しい冊子を作るのであれば、まだ応募も出来るが、単発で冊子を出すだけでは継続性がないため助成金を得るのは難しいと回答。 また今回冊子の印刷代は28万円かかり、300冊を白黒印刷で作成される。(1冊120頁)。冊子のデータは完成していることから、インターネットで入稿することでとても安く印刷できることを紹介。 相見積もりを行って10万円以下であれば、関係者で出し合ったり協賛してもらうことで資金調達を行うことが出来る場合は、助成金を応募しないことにした。
13	4月22日		市民	精神障害の方が活動できる団体があれば教えてほしい。 活動先を見に行きたいと考えている。	次の団体を紹介した。ハンドブック2014「つなぐ」をお渡しし、掲載していない団体は、インターネットで相談者がホームページをさがすと言われた。 ○みのりコミュニケーション ○NPO法人テラーズギルド(縫製) ○NPO法人河内農業福祉普及会(小松菜栽培で就農支援) ○一般社団法人(児童デイ)(ちらしお渡し済) ○(株)インクルージョン(パンフレット・ちらしお渡し済) ○知的障害児者の余暇支援活動 親と子の居場所づくり はなはな ○社会福祉法人 未来波 障がい福祉サービス「きっと」 相談者は、東大阪市にお勤めであり、精神障害の患者さんが通い、バザー・カフェ・外来を行っている。近大通りに近い場所も今後借りの予定で他の活動をみて自分たちの活動を考えたいとのことだった。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
14	4月26日		市民活動団体	八尾市市民活動基金に応募を考える際に考え方・書き方について、アドバイスがほしい。	相談者は、八尾空港(旧大正飛行場)の戦争遺跡をまとめたパンフレットA2用紙を4ツ折りにして、A4サイズにしたカラー印刷で作成を考えている。また2年目は八尾空港以外の場所も紹介したい【久宝寺緑地、恩智狙撃場？跡、穴太交差点の道路(滑走路のために出来た)】。 パンフレットとあわせて戦争遺跡がある現地を歩く見学会の際にガイドマップを作成したい考えももっておられた。シンポジウムか講演会の開催も考えたいというお話もあった。開催案内のちらしづくりも行いたいと考えている。 相談のあった助成金の趣旨を再度説明。まず自分たちで資金調達できるかを考えて、資金不足があれば助成金を考える事を説明。見学会等で参加費の収入やパンフレットの販売収入など考えることが大切であると説明した。相談者からは平和啓発の人権や観光の視点では特に人権では収益の見返りが見込めない世界だと意見された。ただ助成金の趣旨と異なる申請を行うと助成金を得ることは難しいと説明を行った。
15	4月27日		市民	引き続き、NPO法人格の申請について教えてほしい。	今回は行政書士さんと初めてNPO法人を立ちあげたい設立代表者と2名でこられた。定款の第4条の活動の種類について設立代表者から事業内容で関係する活動の種類を記載しないといけないと勘違いされていたので、法人の目的に關係する活動の種類であることを説明した。 またグループホーム事業は就労支援で来てる方が将来年齢を重ねて親たちが世話をするのが大変になるので、グループホームを考えていたことがわかった。 行政書士さんが事業計画書を作成する際に、就労支援の具体的な内容等を相談中に行っていたが、相談者の設立代表者があまり具体的なイメージや考えをもっていなかったことから、設立代表者も他団体のことも調べながら考え・イメージをもってもらうように説明した。 就労支援事業は法人格がないと事業が出来ないので、詳細を詰めていくが、NPO法人の設立申請は、ある程度具体的に書面にまとめていかないと申請時にチェックが入ることも説明した。また会員の種類と年会費の意味も説明した。今後もより具体化していかないとNPO法人設立の申請には時間を要する印象であった。
16	4月27日	1	市民活動団体	NPO法人の財務状況が思わしくないで、人件費に近い扱いで費用計上していたのを見直したいので、アドバイスしていただきたい。	内容を聞くと、これまでパソコン講習での講師や準備等で携わる関係者に最低賃金に時間数をかけた額をお渡ししていたが、これの費用を見直したい相談であった。 これについて、給与手当の費用で計上していたが、諸謝金の費用科目に変更し金額を変更することを提案した。 その際に源泉徴収を行うことを付け加えたが、給与手当での費用計上の時からすでに源泉徴収を行っていることを確認した。
17	4月27日		市民	ボランティアがしたいがどのようなものがあるか？できれば、ゴミ拾いなど週1~2回参加できる、アドプロードのような活動に参加したい。	アドプロードは個人ではなく、団体での参加しかできない。 登録団体では希望に添えるところはなかった。 (八尾市路上喫煙マナー向上推進員連絡会に問い合わせたが、啓発活動が主で趣旨が違った。) 八尾市ボランティア連絡会の中に、環境美化活動をしている団体があるようなので、サポートやおボランティアセンターの連絡先を伝えた。
18	4月27日		事業者	プロレスイベントで河内音頭まつりに参加し、防災体育館でも開催するにあたり、助成金を申請したいと思っているが、応募できる内容であるか話を聞いてほしい。	これまで正木建設の駐車場をお借りし、2年位プロレスイベントを行った。昨年は、元曙関も来た。 今回は会場が手狭になり、防災体育館で開催することになった。(8月11日予定) これまで自主事業として協賛金や当日の入場券収入で行って来た。子どもには無料で行っていた。今年度9月に開催される八尾河内音頭まつりで無料プロレスショーを開催するため、協賛を2回お願いすることが難しいので、田中市長のブログから市民活動支援基金事業助成金を知り、市民ふれあい課へ問い合わせ、つどいを紹介された。 この基金の趣旨(自立のためと組織基盤の強化)を説明し、すでに自立して事業を行っていることを説明した。ネックになるのは、プロレスイベントでどのような公益を生み出すのかを説明。(スポーツ、格闘技で健康な社会づくり、スポーツ文化の推進など)以上から応募ではなく協賛を募る方がよいのではとアドバイスした。また公益性のある事業を行う時に協賛、賛助会員など仲間あつめで収益を出す内容になると説明。 プロレスの成り立ち・起源・はじめは何かも振り返り原点を知ること大切であることも説明した。(相撲は神社の神事からはじまったことを例え話として説明。)
19	4月28日		市民活動団体	指定管理している施設の職員が退職した。退職一時金についての出す際のことで教えてほしい。	相談者のNPO法人と元職員だった方との雇用契約書には退職金については何も交わしていなかった。 しかし、指定管理者としてNPO法人が施設管理を行う業務を定めた仕様書には、退職時に退職一時金を出すことが定まっている。 これまで退職金の積み立ては仕様書では退職一時金を出すことになっているが、年度を越えるため積立はNGであり、資金はない。 そのため今ある資金で資金繰りの状態を考慮して、退職者と話し合うことで進めたいという相談であった。 こちらの感覚としては進め方に誤りはないと思うが、専門性をもっていないため、以前に相談者の法人に紹介した税理士さんは、つどい登録団体「NPO法人て・と・て」の事業のメンバーが多いので、NPO法人て・と・てを通じて社会保険労務士さんに確認と助言をいただいた方がよいとアドバイスを行った。



No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
20	4月28日		事業者	子どもを楽しませるイベントを行うのに、「八尾市こどもの居場所づくり補助金」の申請を考えている。その際にどこか団体を紹介してくれないか。	補助金申請と団体紹介と案件がふたつあるので、事情をお聞きするため改めて電話連絡することになった。 5/3(水・祝)に相談者(男性)へ電話(新福)を行った。 趣旨は、池内呉服店の1階にある英会話スクール(就学前の子どもが通う)で、学習支援を行なう際に、上記の補助金を申請することを考えている。 英会話スクールへ参加しやすいように別途小学生までを対象にワークショップを室内で開催をし、少しでも英会話スクールへ参加するきっかけづくりを考えたいとのことだった。 ワークショップは、すぐに急いで行う訳ではないので、急いで団体を紹介してほしいわけではない。 ワークショップを行う団体は、すぐできるワークショップ(キャンドルづくり、クラフト等)で、また「つどい」と一緒に催しが出来るようにつながりのある団体を「つどい」から紹介してほしいということがわかった。
21	4月29日		市民	「アートやっちゃお！」に出展した時に同じく出展していたメダカを提供していた団体を紹介してほしい。	相談者の家で飼育をしたいとのことだった。 つどい登録団体「華めだか彩鱗庵」の代表者の連絡先をご紹介した。
22	5月10日		市民活動団体	市民活動支援基金事業助成金へ応募するので、作成した申請書類を見てほしい。	相談者から質問があった。大正飛行場の戦争遺跡をまとめたパンフレット(案)も提出した方がよいかについては、提出は不要だが、プレゼンテーションの時にパンフレットをお見せしたらいかがかと提案した。申請書類の記入例の広報方法について、「ブログ」と記載していたが、ブログとは何かの質問は、インターネット上で日記形式で文字や写真を掲載できる方法・広報媒体であると説明した。 目標の数値・指標の数値も記入例ではわかりにくかったので、自分たちの申請する事業で成果を数値で示す方法として、参加人数やアンケート回答の満足度を指標に目標の数値を示すことを説明した。 最後に予算書の中で、パンフレットがA4サイズ縦を4枚分横に並べたパンフレットが1部14円で10,000部作成印刷で140,000円であるのが内容がわかりにくい点と、お金の収入でシンポジウムの実費収入でパンフレット費用にあてる考えであったので、反対にシンポジウムにかかった費用にあてた方がお金の収入の種類と使い道が明確でよいとアドバイスした。 今回の助成金の趣旨は資金調達をつくりだす事なので、パンフレットを例え実費に近い額でも購入してもらい、次のパンフレットの資金づくりやシンポジウムの参加者数、協賛・会費収入をふやすようにつなげていく事業にしていくのが重要だとお伝えした。 連携・協力団体等は、つどい登録団体は、小学生などの子どもへお話をしたいというはなしだったので、NPO法人 KARALIN さんのお話をした。
23	5月11日		市民	これから行商に八百屋さんをしていこうと考えている。地産地消として、無農薬の野菜をつくっている八尾の方を探しているのを知ったら教えてほしい。	高安小学校区の郡川で畑で無農薬野菜をつくっている方をご紹介した。 郡川にある義理の祖父の家を独学でリフォームして、薪ストーブや糞・尿を分離したトイレを備えつけ畑の肥しで活用するなど、本格的な里山暮らしを実践している方である。
24	5月11日		行政	出張所管轄内の久宝寺小学校や美園小学校に校庭キャンププログラムを提案して、防災につながる野外体験を行う団体やお絵かきを教える団体があれば紹介してほしい。	お絵かきを教える団体については、つどいのホームページ、ニュースつどいの表紙やトップページの絵を見て、ひらめいたそうである。(夏休みの宿題対応にもつながる) NPO法人108奏(登録No.383)をお伝えした。 防災につながる野外体験は、校庭キャンプを担っている方と各小学校区の八尾市青少年育成協議会では、野外体験は出来ても防災については詳しくないため、他に団体がないか知りたいとのことだった。 日本ボーイスカウト大阪連盟八尾第7団(登録No364)の担当者を紹介した。 紹介する前に、担当者に連絡し、つどいから予め相談した。担当者からはあそびをかねて、アウトドアで出来ることの延長で「火おこし」「担架づくり」「水難時救出の際のロープの結び方」「三角巾を使った救急対応」「ペットボトルをつかったうきわの代用」を教えているので、お求めの防災につながる野外体験であるかを相談者から直接お話を聞くことで先に調整した。 ボーイスカウトの取組みを取材してまとめた「つどいブログ」をEメールで参考資料としてお伝えしている。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
25	5月12日		市民活動団体	市民活動支援基金事業助成金の応募を考えていた。中環の森での活動を行っているので、八尾市内の中環の森活動との連携やつどいの施設など教えてもらいたい。	本来の相談内容は、助成金の申請書類を見る予定であったが、相談者が「つどい」の場所を市役所本館3階市民ふれあい課だと勘違いして行かれていた。結果、団体の構成員が東大阪市民が大半で、つどい登録団体に申請するか登録を完了しないと応募資格がないため、構成員が八尾市在住・在勤・在学の過半数でないことから、応募できないことがわかった。 東大阪市内の中環の森がモノレールの延伸で、活動場所が移転となり、3月から八尾市内の中環の森に変わった。これまでは観賞用の稲田桃を育て、ジャムにしたり、シイ、カシ、サブの木(楠の木の種類)、タブ(府)の木の植樹や、司馬遼太郎記念館やその周辺に菜の花のプランターをおき、菜の花忌イベントで、菜の花を栽培したり、河内木綿の栽培を行っている。どんぐり保育園も参加している。第2、第4土曜日が活動の定例日で10時～12時まで行われている。つどいの業務内容やつどい体験会での中環の森活動などを説明し、今後の連携も考える機会となった。また「環境アニメイティッドやお」の八尾市の環境協議会の話や「楽しい環境活動支援金」の助成募集も情報提供した。 また「八尾北ビオトープ活動」もお話し、今後の連携先についてもお話しした。
26	5月13日	1	市民活動団体	街かどデイハウス「茶の間」を知ってもらう機会を増やして行きたいので、つながりなど今後紹介してもらえたらうれしい。	利用者の減少もあり、以前からPR等もしてきた。地区福祉委員会や校区まちづくり協議会の地域活動団体があるが、どのようにつながればよいと思う。 地域活動団体とのつながり方などを相談者が示されていたので、協働の考えとして正しいことをお伝えし、今後も取材や広報などで協力・支援出来ることをお伝えした。 また街かどデイハウスでパフォーマンス等をされる団体を知りたいので、後日、教えてほしいとお伝えした。とりあえずは、話の中で落語のはなしが出たので、落語会をされている方を紹介した。
27	5月13日		市民活動団体	街かどデイハウスでパフォーマンスやおはなしをされる団体があれば教えてほしい。 また「つどい」の登録はされているか確認したい。	まず「つどい登録団体」であるか調べ、登録されていたことがわかった。 また10年程前に登録されて以来、更新がなかったため、代表者の変更を行った。 団体紹介については、ハンドブック2014「つなぐ」をお渡しし、直接団体の連絡先が掲載されているので、つながりたい団体に問合せされるようお伝えした。 また、つどいにはつどい登録団体のちらしの掲載も行っているため、見てもらい、必要なちらしを持って帰ってもらった。
28	5月19日		地域活動団体	住民活動災害補償保険が八尾市市民ふれあい課が窓口で行われているが、7月で終わるため他の保険があれば、教えてほしい。	大阪府社会福祉協議会が行っている「ボランティア・市民活動行事保険」や主催者が無償でボランティア活動中の傷害保険や、賠償責任保険がセットになった「ボランティア活動保険」をご紹介した。また保険申込の際に事前に下記まで電話し、下記まで提出するようお伝えした。 八尾市立社会福祉会館 TEL:072-991-1161(直通) 後で、子ども会主催なら「八尾市青少年課」が窓口の安全共済会の保険も八尾市育成連絡協議会に入っているならば、保険申込が出来ることもお伝えしたが、すでに存じていた。 安全共済会 八尾市青少年課 青少年係 TEL:924-3874
29	5月19日		市民活動団体	つどい登録団体の変更手続きについて教えてほしい。	相談者は、代表者が保育園の活動に注力するため、代表を降りる。 また団体名称は、元々、代表者が個人事業主としても同じ名称で行っていたので、個人事業主と市民活動団体との見分けが世間からは分かりづらいのもあり、名称も変更を行う旨があった。 団体の目的・活動内容が加わることに変更手続きを行う際には問題がない。しかし、目的や活動内容が根本的に変わる際は、登録を廃止し、新規で登録を申請することになると説明。今回は、変更手続きだけでOKであることを説明。 変更手続きは、名称が変わる7月初旬以降になることもお聞きした。
30	5月19日		行政	コミュニティセンターで夏休み講座としてマンガやアニメを描く事を企画したいが、以前に「つどい」でつながった絵を描く方々とのコンタクトや進め方があれば教えてほしい。	NPO法人108奏の代表者の連絡先を知っており、直接連絡を取ってよいか知りたかったとのこと。 つどいは案件によるが基本は当事者同士で連絡を取るようお願いしていることをお伝えした。また「つどい」が仲介マージンも取らないこともお伝えした。
31	5月23日		事業者	八尾市産業政策課から商店街活性化のイベントの提案があり、隣のファミリーロード商店街と一体となってやっていく話があった。かつて七夕のイベントで竹を取りに行った時のノウハウなどをご協力いただきたい。	竹を切りに行った場所は、地主さんの了解で切りに行かせてもらったので場所をご紹介できる。 次に以前から法人の自主事業として商店街で行事を開催して来たが、昼以降に来場者が少なく苦労したことがある。 そのため広報を行い多くの来場者が来ようように八尾市教育委員会の後援名義をいただき、近隣の小学校へ広報が出来る。 もしくは、小学校の正門前でちらしを配付するなど広報の方法(後援名義の申請)でご協力、ご紹介出来ればと考えていると回答した。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
32	5月24日		市民活動団体	「いきいき八尾環境フェスティバル」の企画として「エクステンジ」を今年する予定なのだが、過去に携わっていた方に相談したい。	過去に2013年の「いきいき八尾環境フェスティバル」で企画した「エクステンジ」の写真と、実施した際の内容の引き継ぎ、衣服の最終的な扱いを伝えました。 最終手段として「アートやっちゃお！」でエクステンジをしている一般社団法人 ANSHINH の代表者を紹介しました。
33	5月25日		市民活動団体	NPO 法人を解散するのに、手続きが大変で出来ない。費用を出すので、手続きをされる行政書士さんを紹介してほしい。	元つどいの専門家相談員であった大依和也氏に相談した。ご兄弟で事務所をもち、兄さんは司法書士でもあるので登記してもらえろと思ひ電話した。現在、つどいの相談会で携わる金光一輝先生に、NPO 法人の解散手続きを学んでいただきたいことから、金光一輝先生を相談者に紹介した。 かずき行政書士事務所 特定行政書士 金光一輝氏
34	6月3日		市民活動団体	これから屋外でも出展して活動していきたいが、出展時に食べ物を提供する際は、何か届出があるのか教えてほしい。	届出については、保健所に食べ物・調理内容について書面提出になることを説明。衛生上、届出であっても受理が厳しくなっていると聞いている。出展時に完成品(加工不要)を提供するとか、来場者自ら手を加え体験して提供するなど工夫の余地があることも提案した。 また、貴団体はクラフトなど体験できる内容を行う方々が多いので、それを出展した方が届出も不要になるのではないかと提案した。 「太陽の広場ふれあいまつり」が8月5日・6日と開催しているので、出展できることを提案した。
35	6月7日		市民活動団体	NPO 法人の定款変更について教えてほしい。	①平成29年4月の NPO 法改正による変更 ・公告の掲載の内、賃借対照表の公告について定款で定めることになったと説明。 ・定款変更後、法務局への資産総額の変更が不要になることを説明。 ②平成24年4月の NPO 法改正による変更 ・変更点を説明した(資料「定款のチェックポイント」の1～6を参照) ・定款の変更する条文を説明 ・定款変更手続きについて説明 ③その他 ・最近の活動状況を聞き取った。
36	6月8日		市民	お芝居の中で女性が護身術をするのに空手を習いたいのので団体を紹介してほしい。	NPO 法人 KARATE 宮崎道場の代表者を紹介した。 (相談記録シート No.2016-119) 貴法人は、ウイングで10年以上、空手教室を実施している。 貴法人代表の名刺を相談者へお見せし、スマホで名刺を撮影してもらった。
37	6月9日		市民活動団体	子育て中のお母さんや子どもさんが孤独な子育てにならないようにお出かけしてもらうためにハンドメイドの行事を開催している。出展してくれる団体があれば、紹介してほしい。	創作する楽しさを広めたいという趣旨もあり、思いつく団体をご紹介した。 ①登録 No.228: 特定非営利活動法人 にじいろのクレヨン: 木のおもちゃを使ったモンテッソーリ教育 ②登録 No.380: 華めだか彩鱗庵: メダカの観察・飼育など ③登録 No.323: 一般社団法人 AN SHIMH: おもしろ科学実験 ④手芸はおきやんびい★(登録団体ではない): 手芸関係 上記④のご連絡先・お名前をお伝えした。
38	6月10日		市民	仕事で出来る端布(はぎれ)をもらってもらえないか。	仕事上、端布が出るので、どこかで利用できないかと思い、八尾市に相談したら「つどい」を紹介されたので、たまたま通りかかったので、持って来た。どこか活動される団体などで利用してほしい。 各色の様々な種類があるので、連絡をもらえれば持参する。 適当な使い道は思いつかないが、ありがたく頂戴した。
39	6月15日		市民活動団体	来年度からプリズムホールを借りて、地域活動を推進するボランティア養成講座を開催するにあたり、カリキュラムの講師などを紹介してほしい。	①認知症サポート養成講座(10月1日予定分) ・精神保健福祉士を計画中だが、他に講師でお願い出来る方がいれば紹介してほしい。 →つどい登録団体(No.374)の「えだまめの会」を紹介した。すでに認知症サポート養成講座の講師として経験がある。 ②社会福祉協議会へ講師依頼したが、いい返事ではなかった。(1月16日予定分) 福祉でお願い出来る講師はいないか。 →八尾市生涯学習スポーツ課作成の「出前講座情報」を活用して、社会福祉協議会が、この情報に掲載しているので、活用してはと提案した。また、テーマが地域活動ならば、「つどいスタッフ」が経験者として体験を話してもらうことになった。 ③大和川の防災を教えられる方について(11月12日予定分) →相談記録 No.2016-027 で水防団の仲間づくりで NPO 法人をつくりたいと相談 ④八尾まちづくりとラウンドテーブルについて(9月19日予定分) →八尾まちづくりは、校区まちづくり協議会について、講師として山本小学校区まちづくり協議会の会長を紹介した。 ラウンドテーブルを提唱された近畿大学の久隆浩氏を紹介したが、教授で身構えてしまうということから、「つどい」から講師で何うこととなった。

No.	日付	ライター	活動主体	相談内容	相談対応
40	6月15日		事業者	「八尾のかあちゃんを元気にする！」をコンセプトに社会貢献として健康講座を開催したいのでどのように社会貢献していけばよいか教えてほしい。	コンセプトの意味は、かあちゃんが元気なら、家族が元気になり、地域が元気になると考えている。 身体を動かす健康講座が世間では多いのだが、心と体をつなげた健康講座を考えている。(体からアプローチし、コミュニケーションも取り入れる) この取組みを考えたいきっかけは、東日本大震災の復興支援で、ガレキで作ったキーホルダーなど東北の商品を「コムスタ神戸」のチャリティーイベントで義援金として販売し、その義援金を使ってフィットネス関係者(ビヨンドザボーダー)が東北で仮設住宅の人々へ健康体操を行い、体を動かしコミュニケーションをとり、心を元気にしてきたのがきっかけであった。 「つどい」としては、社会貢献活動を大きく銘打って行き、八尾の女性問わず不特定多数を対象に行うことを説明。また八尾市製作のDVD「河内健康体操」を取り入れたり、市民活動団体と一緒に講師や共催などで協働すると、「つどい」としても支援しやすいと説明した。 相談者は事業者として「ビーライン近鉄八尾店」を経営され、相談者込みでスタッフ3人、150人の会員がいる。最近シニア層より50才前後の利用やニーズがマッチしターゲットを50才前後に今後変える予定。女性専用のフィットネスクラブ。 相談者は、スカイプでメンタルコーチを行ったり、東大阪市の八戸ノりのアリーナやスタジアム天王寺細工谷のタックにもレッスンを教えにいっている。
41	6月16日		その他	「八尾市地域福祉推進基金事業助成金」でAコースの応募が1件しかない。どこか応募できる団体があれば紹介してほしい。	「はなはな」(登録No.346)と「えだまめの会」(登録No.374)を紹介した。 相談者とは、助成金の担当部局の熱意や営業努力(広報や助成金の認知や声かけ)、問合せや窓口相談対応について意見交換を行った。 また基金の助成のあり方として、安易に助成金を提供するのか、自立のための助成金として、厳しく扱うのか、助成金額で考え方に幅をきかせるのかを意見交換して、各担当部局が一緒になって意見交換をする交流の場を設けて横断しを行う必要性なども話し合った。八尾市の助成金基金のあり方を統一していくこと、連携をしていく必要性を共有した。
42	6月17日		市民活動団体	NPO法人の会計で専門家に相談を随時出来るように税理士を紹介してほしい。	相談者はNPO法人にじいろのクレオンの理事長である。 法人内での総会で会計についてよく指摘する会員がおり、専門家に見てもらうように要望があった。 つどい登録団体「NPO法人てとて」(登録No.343)は、士業の方々を法人の構成員になっており、税理士さんもいることを説明した。 「NPO法人てとて」は、NPO法人寺内町久宝寺の特に「八尾市まちなみセンター」を中心とした事業等の会計での相談・アドバイス等をされている。
43	6月25日		公共施設	地域包括支援センターとして「高美フェスタ」に初めて出展することになった(対象校区が変わったため初出展)。出展内容が単なる行事のお手伝いで思われているので、業務として参加が難しく困っている。どこに相談すれば良いか助けてほしい。	大石さんという福祉委員会が行事の責任者になっているとのこと。相談者は直接お話ししたい意向だった。 焼きそばを焼くお手伝いでは困り、地域包括支援センターとして出展をしたい旨をお聞きし、主催者が高美小学校校区まちづくり協議会であることもわかったため、八尾市のコミュニティ推進スタッフが行政側の窓口になっているため、安中人権コミュニティセンターのコミュニティ推進スタッフ(以後、「コムスタ」)をご紹介した。「つどい」からもその旨をコムスタへご相談させていただき、取り次いだ。 後日、コムスタから連絡があり、相談者、高美小学校校区まちづくり協議会と、コムスタの3団体4名で話し合いを行うことになった。後日、地域包括支援センターとして出展が出来るようになった。
44	6月28日		市民活動団体	明るい社会づくり運動 YK ホットフォーラムを母体として活動している団体でNPO法人の設立を考えているが、NPO法人とはどんなものかわかりやすい資料が欲しい。	市民ふれあい課のホームページから「NPO法人お助けチラシ」を出力して、お渡しした。 他に「NPO法人設立・運営の手引き」もお渡しした。 つどいの登録についても聞かれたので、説明を行った。
45	7月2日		市民活動団体	定款変更で貸借対照表が公告として告示することが定款に盛り込まれるようになった(NPO法改正により)。公告のひとつとして、内閣府のNPO法人ポータルサイトに告示することもひとつの選択肢になっている。NPO法人ポータルサイトは新規で登録すると既存の掲載している分と重複しないか心配になり、どうしたらよいか教えてほしい。	何度か対応者が過去の内閣府の書類や内閣府のWebを見ながら対応。 結論としては、内閣府のNPO法人ポータルサイトは、各法人について掲載されているが、大きく二つに分れていて、「行政入力情報」と「法人入力情報」にわかれている。法人入力情報の中に公告を告示(掲載)することになるので、各NPO法人が新規登録しないといけない。 また留意点としては、これまで通り八尾市に事業報告書等の提出を行えば、自動的にNPO法人ポータルサイトの「行政入力情報」の「閲覧書類等」で貸借対照表が見れるが、これは「公告」にはならない。登録後、ログイン情報が届いて手続き完了後、自らログインし、「行政入力情報」の「公告」に貸借対照表をPDFファイルに変換して、アップロードすることになると説明した。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
46	7月2日		市民活動団体	NPO法の改正により、貸借対照表の公告について教えてほしい。	NPO法の改正で定款の公告の条文の改正が必要になった。公告の方法は従来の官公庁の公告、内閣府のNPO法人ポータルサイト、貴法人のホームページの掲載の三つから選び定款の条文で定められることを説明。 内閣府のNPO法人ポータルサイトにはすでに八尾市の提出している事業報告書の中に貸借対照表も事業報告書として掲載されているが、公告は別途自ら(貴法人)でNPO法人ポータルサイトにログインして公告の中に貸借対照表をupしていくことを説明した。 定款変更して以後、法務局の登記事項の内の「資産総額の変更」の申請手続きが不要になることを説明した。
47	7月5日		市民活動団体	笑いヨガのグループで会議室を借りたい。登録するにはどうすればよいか。活動はこれから始める。つどい登録団体で笑いヨガのグループがあると聞いたので、情報がほしい。以前つどいに来た時に「つなぐ」(ハンドブック)をもらったとのこと。	登録用紙一式をお渡しして、説明した。 データベース登録情報を印刷してお渡した。 No.306 YAO笑いヨガクラブ No.325 笑い歌エクササイズ
48	7月22日		事業者	八尾マジック同好会の連絡先を教えてください。	開示された連絡先をお伝えした。
49	7月22日		市民	子どもが野外活動などを体験できる団体があれば、紹介してほしい。	「少年少女組織を育てる八尾センター」を紹介した。 以前に取材にいった「青空少年少女学校八尾教室」についてお話し、今年度も開催されるので開催ちらしをお渡した。
50	7月26日		行政	曙川東地区をまとめたまちづくりマップは作られていないか教えてください。	まちづくりマップがあれば、弓削道鏡の関係で活用したいと考えておられる。「つどい」(委託運営団体が別事業で行っている八尾市まちづくり教室も含めて)では、マップを作成していないことを説明。また歴史・観光面ではNPO法人観光ボランティアガイドの会にもお聞きしてはと提案した。
51	8月2日		市民活動団体	O-KESの取組みテーマのひとつに八尾市内の事業者「河内木綿」を取組みテーマとして、掲げている。「河内木綿」に取り組む団体を紹介してほしい。	NPO法人河内木綿藍染保存会(登録団体No.351)の担当者名と連絡先をお伝えした。
52	8月2日		市民	孫が自閉症であり、放課後デイや子育ての相談先などがあれば、教えてください。	パンフレット建てに思い当たる団体のちらし・パンフレットなどを相談者が持って帰られながら、毎月第4金曜日に開催している「子育て支援井戸端会議」があることをご案内した。また参加してみたい様子であった。 (8月19日開催の「つどい体験会 紙灯ろうづくり」の申込みで来館)
53	8月2日		市民活動団体	NPO法人格の取得をしたいと考えているので、アドバイスがほしい。	申請に必要な書類を作成しており、設立趣意書の作成の意味などを説明した。(事務所を借りる契約などで、急いでおられた様子であった。また、相談者のご家族のこともあり、より急いでいる印象をもった。) 相談者は発達障がいのお子さん(10才)がおられ、発達障がいのお子さんが集い、遊び、子どもの好きなことや得意なことを見つけ出す場に行きたいので、就労支援A型を取得するのにNPO法人格を取得したいとのことだった。また心理士さんに来てもらい、親御さんが子育ての勉強会として子どもとの関わり方を学ぶ場も設けたいとのことだった。 利用者にはワンコインを徴収するが、それだけでは費用を工面できないので、コスト回収のための補助のための就労支援A型の取得である。相談者へは、法人格の意味(権利と義務)、役員について、総会等の意思決定機関についてなどNPO法人の基礎を説明。ボランティア(提供と見返り)、公益について、収益についての説明も行った。 設立趣旨書の事業内容による公益性の書き方のレクチャーを求めているので、定款の目的・活動種類・事業の整理を行うようアドバイスを行った。 すでに自宅で活動はされており、来年2月の開所をめざしてNPO法人格の取得を考えている。 心理士の方の講師費用(JSSからの派遣で依頼するのも法人格が必要)やスタッフの雇用も考えておられた。 また広島県で就労支援A型を取得したNPO法人のアドバイスを受けて法人格の取得に動き出している。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
54	8月13日		市民活動団体	マジックを行う団体とリトミックを行う団体のそれぞれの有志が集まって「M's」を結成した。結成にあたり団体紹介のちらしをつくりたいので、ちらしを作れる方がいればご紹介してほしい。	つどいスタッフでもある学生スタッフを紹介した。つどいの「チラシづくりワークショップ」の企画・講師のひとりである学生スタッフと相談者のM'sで話し合い、10月末にちらしのデータが出来上がり、11月上旬には印刷物として完成した。印刷物は当初はちらしサイズだったが、話し合いの中で、情報量が少ないためハガキサイズ(ポストカード)に変更された。
55	8月17日		市民	「成法せせらぎの小径」(八尾商工会議所から成法中学校へ向かった水路と歩道)をウォーキングするついでに、水路にごみが落ちていたり、遊歩道のごみ拾いをしているが、どのようなことをすればよいか教えてほしい。また、具体的に「つどい」に登録したいので、教えてほしい。	相談者は、これまで医療・介護の世界で仕事をされてこられた。自身のトレーニングとして、「せせらぎの小径」や長瀬川を歩き、体づくりのためにウォーキングをしているが、至るところにごみが落ちており、楽しくないので、散歩しながら、色々なお役に立てたらと思い、そのひとつでごみ拾いを始められた。「成法せせらぎ小径」の八尾市詳細図(八尾市自治振興委員会区域図)に存在する町会名を紹介し、町会の方と一緒に掃除できないかを提案した。つどいの業務内容・つどいへの登録方法を説明した。またデイサービスが久宝寺にあることから、9月10日に燈路まつりでまぶね保育園で参加型のキャンドルナイトを行うので、お誘いし、来年、デイサービスの利用者も参加できるようお声掛けも行った。
56	8月25日		行政	日本赤十字奉仕団の募金活動で芸能部会へ紹介できるような団体があればご紹介してほしい。	サポートやおボランティアセンターや、八尾市シルバーリーダー養成講座の卒業生の団体等に問合せはどうかとご提案を行った。
57	8月30日		市民活動団体	11月末から、12月にかけての土曜日の午前中、小学校で低学年と高学年に分けて、各1時間くらい折り紙を教えてもらえる団体・人がいないか？	翌8月31日「熟年サークルなごみ」代表に連絡。「小学生は人数が多いからねえ〜」ということだったが、人数等の詳細は、相談者の携帯番号を伝達して、直接聞いてもらうように依頼した。また、相談者の方には、「熟年サークルなごみ」という団体を紹介。相手に相談者の携帯番号を伝えたので、直接電話がある旨を伝え、詳細等の話をしてほしいと依頼した。2団体の話し合いで、9/29に会って詳細を詰めることになった。「熟年サークルなごみ」11/25 別紙のちらしのとおり開催されコラボが実現した。
58	8月31日		事業者	認知症カフェを相談者が所属する施設の地域交流スペースで行うにあたって、認知症カフェをサポートしたり、認知症カフェに関する講座をされる方がいれば、紹介してほしい。	11月から第3土曜日14:00から考えておられる。つどい登録団体「えだまめの会」をご紹介した。えだまめの会から後日、電話でヒアリングを行ったが、どうやってよいかわからないことから、みあわせた。「つむぎ」は、きりん第2保育園の跡地に出来た施設である。
59	9月6日		市民	「すみれ」での講座講師として、リハーサルをしたいので、お借りできる場所があれば、紹介してほしい。	「子連れママ～ママのリフレッシュ&リラクセス～」というテーマで講師を務められる。つどいの登録団体になっていないので、つどいの会議室は利用できないので、委託運営団体の事務所(ティアモ共同事務所)をお貸しした。貸出日:9/16(土)19:00～21:00
60	9月13日		市民活動団体	スイミングの講師を探しているので、紹介してほしい。	「みんとくらぶ」では、「ドレミント」という放課後デイを運営している。ひとつのプログラムとしてスイミングを教えている。スイミング・水泳を教える団体が、データベース検索では、つどい登録団体の該当がなかったので、八尾市体育振興会を紹介した。また、つどい登録団体の「3B体操」で水泳をやっていないかお聞きくださいとご紹介した。No.187(社)日本3B体操協会大阪府支部河内班 後日、上記団体の畑中氏から電話をいただき、水泳はやっていないと連絡があった。
61	9月16日		市民活動団体	10月28日(土)、10月29日(日)にアリオ八尾でオクトーバーフェスタというイベントが開催される。昨年は顕証寺で行った。主催は音楽系・芸術系ネットワーク団体のPRIMAL。2～3階の子ども向けのコーナーを主催者から相談者に任された。子ども向けの団体があれば、紹介してほしい。またハロウィンパレードも行いたいので、子ども向けのクラブを行う団体も紹介してほしい。	スタッフに子ども向けのクラブ(サッカー・バスケット・ダンス)を行う団体とクラフト系の団体をデータベースから検索してもらった。なお、出展については、2日間で5,000円の出展料が必要。検索結果から、案内出来るような所へ対応者が、TEL・LINEで行った。(思い浮かんだ団体も含む) ●出展(クラフト系) ・工房夢祭 ・こっとんきやんでい ・World Seed ・NPO 法人にいろいろのクレヨン ●パレード参加 ・長池つばさ FC フューチャーズ(返答:低学年が出たら返事する) ・八尾南山本 JSC ・竹淵ミニバスケットボールクラブ ・八尾太陽リンクス SC ・八尾市ダンス協会
62	9月20日		事業者	介護の入所者対象に娯楽として、「八老劇団」さんに来てほしいので、連絡先を教えてください。	10年程度前に、ボランティアとして「八老劇団」に来てもらったことがあるそうで、連絡先の八尾市福祉会館に連絡し、団長の連絡先を聞いて、相談者に伝えた。また、団長にも連絡し、問合せ内容を伝達した。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
63	9月20日		市民	家の雨戸が開かなくなり困っている。(17日から閉めている) 高齢で足が悪く一人暮らし。真っ暗な中で動くことができない。市政だよりを見て他にも電話したがだめだった。助けてほしい。	ご近所や町会の方などに連絡できないか聞いたができないとのことで、住所から南高安出張所と、市役所高齢介護課にも対応できないか問い合わせた。 結果、高齢介護課から地域包括センターに連絡してもらい、ケアマネージャーの方に行ってもらえることになった。ご主人は施設に入所しており1人暮らし。
64	9月21日		市民活動団体	デザイン学校で子ども向けに研修を行うことを考えている。つどいで展示している「紙灯ろう」を活用・提案したいと考えているので、製造元をご紹介してほしい。	㈱森川紙器製作所 八尾市大田新町 2-88 TEL:072-948-2190 FAX:072-949-2519 春ごろに企画がかたまるので、また結果はお聞きする。 相談者の団体の詳細は別紙のとおり。
65	9月30日		市民活動団体	つどい主催「チラシづくりワークショップ」を知って参加したかったが、日があわず参加出来ないので別途講師をお願い出来ないか。	つどいスタッフが講師を務める「チラシづくりワークショップ」は、近畿大学の「はちのじ」という団体であり、紹介した後日、打合せを行った。
66	10月7日		市民活動団体	①「第2回チラシづくりワークショップ」で作成途中だったチラシを、第3回に参加できないので確認してほしい。②新しく結成したユニットM'sの紹介カードを作成したので、入稿方法のレクチャーをしてほしい。	①チラシに対するアドバイスをを行い、各種パワーポイントで使用できるショートカットキーについてお教えした。 ②プリントバックでの入稿方法をレクチャーした。
67	10月7日		市民	手話の基礎を学んだので、さらなるステップアップをしたいので、教えてもらえる団体があれば、紹介してほしい。	八尾市ボランティア連絡会(登録No.177)の代表が、手話サークルどんぐりに所属しているので、ご紹介した。
68	10月11日		行政	人権に関する法律が3ヶ施行され、多くの人々に周知・広報いただくための手段があれば教えてほしい。	周知なら、「ニュースつどい」の挟み込みを紹介し、検討することになった。またデータベースから、「人権・平和」に該当する団体で情報開示されている団体の連絡先等はお伝えできることを伝えた。 「ニュースつどい 2017年11月号」に「みんなでつくる人権が尊重されるまち」のちらしの封入を行った(つどい登録団体へ送付)。
69	10月20日		市民活動団体	恩智にある旧家をカフェやシェアオフィスなどにリノベーションをされている最中と聞いたので、見学に行きたいので紹介してほしい。	以前に㈱SORASIAを「やお地域クラウド交流会」で配布されていたちらしで知り、当法人が企画・運営する「八尾市まちづくり教室」へお誘い・参加してもらいつながった。 また「Yao mania 2017年秋号」4ページで紹介されていたので、その情報・連絡先をお伝えした。 11月10日(金) 13時半から㈱SORASIAが手掛けている萩原家住宅の現地見学を行うことになったと連絡があった。
70	10月25日		行政	市政70周年記念事業として、高安小学校区の歴史に関する講演会とひと昔前の当校区の写真展を開催できればと考えている。その時にどなたか、紹介が出来れば教えてほしい。	歴史と写真は「高安城を探る会」「やお歴史友の会」を、写真だけでは「神立里山保全プロジェクト」をご紹介した。また写真は地域の方にお問い合わせすることも、出来るのではないかと提案した。
71	10月25日		事業者	厚生労働省の雇用等促進に関する助成金セミナーに、市民団体も含めて経営者の方で興味がある方がいれば、ご紹介してほしい。	以前に「つどい」受託団体のNPO法人として参加したことがきっかけとなり、今回の相談があった。 同様の他社の助成金セミナーに受講したことがある一般社団法人ANS HINHに、対応者からご案内を転送した。 後日、「子育て支援井戸端会議」に参加されたので、主旨を説明した。
72	10月26日		市民活動団体	知合いのガラス屋が、大きな鏡を提供したいと相談され、どこか必要な方がいれば紹介してほしい。	ダンス教室などで必要な所があるかもしれないので、聞いてみると回答した。 後日、相談者のFacebookで大きな鏡を設置していた。
73	10月26日		事業者	相談者の社会福祉法人の評議員を探している。福祉関係で携わっている方をご紹介してほしい。	一般社団法人ANSHINHをご紹介した。「里の風ポポロの会」の運営にも携わっている。
74	10月26日		市民	八尾市議会議員大星氏とともに来館。 女性の支援、女性福祉、暴力、性暴力、DV、貧困等への対応・援助・被害防止にかかわる活動をさせて頂けたらと思っています。	当館登録団体の中には、希望されるDV関係の登録団体はなく、ハンドブック「つなぐ」と、女性の支援を目的に活動されている数団体の紹介カードをお渡した。例：八尾助産師の会 (妊娠・出産だけでなく、女性の性についてのテーマも取り上げている) ただ、仕事を退職してDVの支援をしたいという目標をお持ちなので、あまりご本人が望まれている結果ではなかったようだ。 大阪市内でのDV支援などはご存知で、八尾で活動したいとのことだったので、対応者としては、もっと広い範囲で八尾市内でどういった女性支援の団体があるのか、どういった活動をされているのかを知ってもらいたいと思った。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
75	10月27日		行政	山本図書館で12月22日(金)にクリスマス行事を行うにあたり、出張所としても別の行事を主催して、同じ建物内の図書館と出張所が連携して盛り上げられたいと思っている。出張所主催で、何か披露する団体があれば紹介してほしい。	主旨を理解し、以前から子ども向けに披露し、つどいがコーディネートした「M's」を紹介した。リトミックとマジックを披露する団体であるが、リトミックの方の都合が悪く、マジックのみの披露になることを説明した。後日、相談者から今年の企画・実施はもう少し煮つめていくことになり、開催自体がなくなると連絡があった。
76	10月27日		市民活動団体	空き家(古民家)を活用して、市民や市民活動団体が集う場づくりを行いたい。古民家での空き家活用をされている方がいれば、紹介してほしい。	以前相談があった「相談記録 No.2017-058」と同じ案件であったので、㈱SORASIA をご紹介した。
77	11月1日		行政	「八尾市民まつり」が11月3日に行われる。そのことについて市民から問い合わせが来ているが、「つどい」の関係が教えてほしい。	この行事は、八尾グランドホテルの北側の八尾木の大きな公園で行っている。以前につどいがFM ちゃおの取材日記「web」で知った内容だったので、詳細は知らないが、FM ちゃおなら知っていることをお伝えした。(ちなみに、政治団体の方々が主催でされているとお聞きしている)
78	11月2日		市民	森のプレパーク八尾に参加したいので、連絡先を紹介してほしい。(子どもと参加を検討)	連絡先の情報開示を確認し、データベースソフトから別紙を印刷しお渡しした。また対応後、主催の子どもと遊びのねっとわーく八尾の代表者に電話し、つどいに相談があったので、連絡先をお伝えしたことを連絡した。
79	11月8日		市民	つどいのホームページを見て「日韓友好協会」に連絡を取りたいので、連絡先を教えてください。	情報開示をされていたので、お伝えした。
80	11月9日		公共施設	相談者の団体の受託事業で、実行委員会形式で「八尾市青少年交流団」が、中国の上海市嘉定区(八尾市友好都市)に海外派遣研修に行く準備として、会議室を借りたい。提供先を紹介してほしい。	相談を受けた日は対応者から、つどいの登録団体ではないので、つどいの会議室は貸せないことを伝えた。また市役所の会議室は満室で空きがなかった。ただこの事業の主催者は、八尾市なので、つどいの休館日に利用したい場合は、八尾市市民ふれあい課に相談する方法があるとご提案した。翌日に相談者からTELがあり、文化国際課が再度、市役所本館会議室の空き状況をしらべ、空き室があったので、予約し場所を確保できたと報告があった。
81	11月10日		市民	女性対象にオイルセラピー、カラーセラピー、マンダラなどを提供できるメンバーが個々で活動しているが、団体として活動したいと考えている。その際にNPO法人の設立を考えているので、設立方法等も教えてください。	4人で活動をしていこうと考えている。オイルセラピーなど、カウンセリングの提供をすると費用がかかり対価を徴収すると、例えば¥10,000以上かかるので、シングルマザーなどには提供しにくいので、助成金などはないか知りたいようであった。八尾市の助成金制度ではそれに合ったものはないと回答。東山本町の地域食堂「お結びころりん」の小鹿さんがお母さんとして、女性として、活躍されているのに影響を受けた。ご提案として、相談者たちの経験を活かすのであれば「お結びころりん」の様に、まず人が集う場所づくりを提案した。活動の認知をしてもらい、体験等で価値の認知をしてもらい、少しずつ実費を徴収されることなど活動の進め方を説明。活動や価値を認められた時に法人格の有無も検討されることを説明した。また活動の中で、箱庭療法もされており、心の内面を表現するカウンセリングもされている。すでにアクトランド YAO で個人でも活動をしているとのことなので、同じくアクトランド YAO で活動をしている、子育て支援を行なっている「NPO 法人にじいろのクレヨン」を知っておられたのでご紹介した。
82	11月10日		行政	西郡地区で活動する市民活動団体があれば教えてください。	データベースで「幸町」「桂町」「西郡」「桂中学校」で検索をかけたが、「活動地域」の項目で「桂小学校区」で1件該当があった。該当団体:長池つばさFCフューチャーズ(No.55) 該当団体の登録情報(別紙)を提供した。
83	11月14日		市民	知り合いの親が難病にかかったので、同じ境遇の方などと話せる機会があれば、団体を紹介してほしい。	別紙の登録団体を提供した(データベースで活動目的や活動内容でキーワード検索を行った)。登録 No.267:なかまの会八尾支部 登録 No.274:特定非営利活動法人みのりコミュニケーション 登録 No.352:先天性トキプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会 YAO」 登録 No.357:起立性調節障害(OD)家族の会～Snow～ 登録 No.376:いちようの会 登録 No.398:八尾柏原精神障害者福祉を考える市民の会
84	11月15日	1	市民活動団体	認知症サポート養成講座を開催する場所を探しているので、教えてください。	プリズムホールと生涯学習センター「かがやき」をご紹介した。利用料金もリーズナブルなのであるのと、プリズムホールは公共交通機関が近いので、両施設ともに駐車場完備であることを説明した。
85	11月21日		事業者	精神障害の方が、就労支援や生活支援を受けられる制度や団体の事業として支援しているなどあれば紹介してほしい。	相談者の経営するお店に勤める男性の彼女が精神的に障害や病気を患っており、男性がお店を辞めて彼女を看ないといけない状態になっており、相談した。つどいでは、同じ病や障害の方が交流したりする団体はあるが、生活支援や就労支援があるかわからないので、調べる状態でまだ回答は出ていない。



No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
86	11月22日		事業者	利用の方が、健康のために声を出したいので、コーラスの団体を探している。初心者でも入れるような団体を紹介してほしい。	ハンドブックにいくつかのコーラスの団体があるのでお渡しした。ハンドブックにない団体(コール・グランツ)はデータベースから出力してお渡しした。その他、つどいのホームページの団体紹介のページも案内した。
87	11月22日		市民	居場所に関する研究を卒業研究として行っていて、居場所についてアンケートを行いたいと考えている。アンケートを配付出来る所があれば教えてほしい。	つどい委託運営団体が別事業で行っている「八尾市まちづくり教室」で60名程、参加者が集まる予定なので、そこで配付してもらうようお願いした。
88	11月26日		市民	卒業論文で市民活動に関する研究をしており活動する方々の年代を知りたいので、登録団体の活動年代のデータが欲しい。	つどいでは、データベースで登録団体の主たる年代は申請時にもらった登録申請用紙に記入している分を入力している。Excelなどでデータの出力が出来ないので、現在の登録情報をプリントアウトして、お渡しした。
89	11月30日		公共施設	プリズムホールの事業で楽器づくりを行うにあたって、楽器の材料として木材を探している。森林整備を行っている「NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会」へ直接連絡を取ってよいか確認したい。また、楽器づくりで楽器を1ヶ月ほど保管する場所があれば、教えてほしい。	「NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会」へは、直接代表理事に電話か電子メールで連絡をされてもOKとお伝えした。「つどい」からも電子メールでお伝えした。後日12月8日にプリズムホールの担当者等が、直接現地に行き、楽器の材料を収集されたとお聞きした。楽器の保管場所としては、具体的な場所は紹介できていない。1月14日に今回の記録作成にあたり、対応者が相談者に電話を行った。4月から旧高安中学校が教育センターになると情報を得たことから、廃校になった旧高安中学校や旧北高安小学校など教育施設に保管できないか提案を行った。
90	12月6日		行政	つどい登録団体で、女性が活動されていたり、女性へ向けての活動をされている団体があれば紹介してほしい。	相談者の部署では、すでに校区まちづくり協議会で活動されている女性が集まるワークショップ交流会をされている。来年度は、市民活動団体が社会貢献を行う事業者など、各活動主体で活躍する女性の方々の交流会を考えたいとのこと。市民活動団体は、つどいに登録している市民活動団体を対象にどれだけの団体がいるか(ターゲット)を知りたいのが主旨である。思い当たるところ、読み聞かせ、人形劇、折り紙、リトミック、フラダンス、子育て、などテーマで探すと、データベースでつどい登録団体が見つかることをお伝えした。ターゲットになる団体はあると回答した。
91	12月7日	1	市民	来年6月17日(金)に、キングコングの西野さんをお呼びする講演会を開催することになった。プリズムホールは空きがなかったので、他の場所があれば紹介してほしい。	200人～300人入るホールを探しておられた。八尾商工会議所の3Fのホールをご紹介した。また、詳細は八尾商工会議所のホームページで閲覧や問合せいただくようお願いした。
92	12月10日		市民活動団体	4月1日にシンポジウムを開催するにあたり、遠方の関係者が宿泊できる場所があれば、教えてほしい。	以前に、つどい業務が「八尾市まちづくり教室」でのつながりで空き家を訪問した方の空き家を紹介した。また、以前訪問した時の写真や資料を提供した。
93	12月13日		市民	市民活動をはじめたいので、紹介してほしい。	12月10日に「かがやき」で開催された「体験型ワークショップマルシェ」で参加されていた方で、当法人が出席した時に「つどい」のちらしをお渡ししたことで来館された。次の団体情報が欲しいと名刺カードから探されたので、紹介した。 No.20 : 八尾市アマチュア無線非常通信連絡会(無線がないと参加できないとのこと) No.145 : 八尾山の会 No.14 : NPO法人河内四国県人会 No.147 : 阿波踊り連すばる
94	12月14日		市民活動団体	iPad 講座を開催しているが、受講者が多くiPad が足りなくなっている。iPad を購入する助成金があれば教えてほしい。	相談者は、八尾市市民活動支援基金事業助成金で応募出来ないか相談があったが、消耗品は1万円以下での購入しかできないので主旨に沿わないことをお伝えした。シルバー(高齢者)対象の講座なので、IT 推進のための助成金が福祉の面での助成金などないか一度、つどいで調べることになった。
95	12月15日		市民活動団体	フラダンスのサークルがあり、指導してくれる方がおれば、紹介してほしい。	指導はできるかわからないが、下記(別紙)の団体を紹介した。 No.369: ひまわりの花 No.372: フラ・ウィーナス 以前にフラダンスを教えておられた「クーピカケ」の連絡先もお伝えした。12月22日(金)にフラ・ウィーナス代表が別件で来館され、相談者から連絡があったが、指導できる人が団体にはいないので、いつも団体で指導をしていただく先生がいるので、その先生を紹介したとご報告があった。
96	12月15日		市民	視覚障がいの方が、民話などのお話を聞いて、それを覚えて、子どもたちに聞かせる。おはなしを読んでくれるような団体があれば教えてほしい。	読み聞かせをしている登録団体を紹介。ハンドブックの「つなぐ」を提供。データベースをプリントアウトし情報提供した。(下記の団体) ・川の会 ・かぶの会 ・花咲きの会 ・MOCHIKI ファミリー ・14 ころろ会 ・ぼこの会 ・絵本のじかん 「つなぐ」より ・おはなしばすけっと ・読み聞かせ連絡会 他にサポートやおの冊子もお渡しした。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
97	12月16日	●	市民活動団体	行事中の保険を探しているのですが、教えてほしい。	昔からあるのは、社会福祉協議会の「ボランティア・市民活動行事保険」をご紹介した。(FAXにて送信)
98	12月17日	●	市民活動団体	1.「ハッピーアースデイ大阪」を開催するにあたり、会場である久宝寺緑地公園周辺を清掃したいと考えている。過去に「ハッピーアースデイ大阪」の事業のひとつとして公園周辺を清掃していた実績もあるが、「ハッピーアースデイ大阪」だけで清掃を行うのももったいないので、ぜひ清掃を行っているボランティア団体等あれば紹介してほしい。 2.「ハッピーアースデイ大阪」ではリユース食器を導入しており、その回収拠点の運営を現在実行委員メンバーや当日ボランティアで回している。しかし、ロハスフェスタでは子ども達にその運営を任せることで、啓発や子ども達の健全育成に貢献しているとの事例があるので、「ハッピーアースデイ大阪」もそれに倣い、親子や子ども達にリユース食器の回収拠点運営を任せたいというアイデアがある。つどい登録団体に協働できそうな団体を紹介してほしい。	1.久宝寺緑地周辺の清掃に関しては、登録団体情報から「八尾市南木の本八丁目を清掃する会(ハッサーの会)」を紹介した。 2.リユース食器の回収を子ども達と一緒に行う件に関しては、「少年少女組織を育てる八尾センター」の中から特に「ひまわり少年団」を紹介した。 以上2団体の登録情報をpdf化し、ハッピーアースデイ大阪担当にLINEにて伝えた。 そして、2名から特に上記2.に関しては前向きに検討したいとお返事をいただき、詳細な企画が決まれば団体に伝えるとのことと連絡を取り合った。
99	12月19日	●	市民活動団体	八尾市制70周年記念事業に位置づけて、ベースボールの試合としてグラウンドをお借りできないか教えてほしい。	八尾市政70周年記念に位置づけたからといってグラウンドの使用ができるかは、わからないが、一度、八尾市教育委員会生涯学習スポーツ課に相談されてはいかがかと、提案を行った。
100	12月20日		事業者	「施設のディサービスで、30分から1時間位何か催しものをしていただける団体を紹介してもらえますか」	どのような催し物を希望されるのか、聞いたところ、ディサービス方対象に、30分から1時間位で、参加型ではなく、ダンスが好きな方が多いので、ダンスか何か観賞できるものをボランティアでとのこと。 開催時期が来年1月だったので、やお市民活動ハンドブック「つなぐ」と、そこに掲載されていない新しい団体の中からフラダンス・河内音頭の団体の登録情報を送付した。 また、八尾市社会福祉協議会・八尾市ボランティア連絡会の冊子とボランティア一覧表も同封した。 「つどい」登録団体に関しては直接連絡が可、ボランティア連絡会の登録団体に対しては、やおサポートセンター・ボランティア連絡会を通して連絡する必要があることを送付状で案内した。 また、電話で地域の校区まちづくり協議会や福祉委員会への相談もよいのではないかとアドバイスした。  1/18 その後の状況を知る為、「おんじなかまち」に連絡。 1/23 「はなもくらぶ」によって、オカリナその他の催しを開催することになったとのこととです。
101	12月21日	●	行政	八尾市の新しい介護サービス、生活援助サービス従事者研修を受講された方が、ボランティアで参加できる団体を紹介してほしい。	研修を受講された方の中で、仕事としてはハードルが高いのでボランティアでの活動を希望される方が何名かおられるが、特に何がしたいか決まっていない方が多いので、配布用にハンドブック「つなぐ」を10冊と、つどい紹介ちらしをお渡しし、ホームページからも登録団体を探せることとお知らせした。 音訳や読み聞かせを希望されている方がおられるとのことと、下記の団体の登録団体紹介カードもお渡しした。 ・絵本のじかん ・ぼこの会 ・'14こころ会 ・おはなしばすけっと
102	12月28日	●	市民活動団体	「コタツ会議」を来月1月に開催するにあたって、どなたかご紹介できないか。	コタツシェアは、八尾市環境保全課が行っている「チャレンジやお」の一環としてコタツを活用することで、団らんとなり、消費電力の削減(省エネ)につなげ、二酸化炭素の排出量の抑制につなげようという取り組み。 コタツシェアを行っている場所の一角を借りて、環境アニメイティッドやお主催で市民環境講座として「コタツ会議」を1月27日(土)に龍華出張所の1階ホールで開催する。 開催地が龍華なので紹介出来る方も近場が良いかと考え、一人は「ハリケーンランプ」の別所氏をご紹介した。クラウドファンディングで寄附金が集まったお話などが聞けると思うと提案した。 旧植田家住宅の安藤氏も提案した。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
103	1月4日		市民活動団体	先月、つどいに来館した時に、玄関前の壺が気に入りお尋ねしたら、市民活動団体が提供しているメダカを飼育していることを知ったので、メダカを活用した市民活動団体と連絡を取りたいので、教えてほしい。	つどい登録団体 No.380「華めだか彩鱗庵」の団体紹介カードとデータベースの登録情報を印刷した用紙を提供した。
104	1月10日		市民活動団体	カラオケを施設に慰問する団体があれば、教えてほしい。	つどいのデータベースで「カラオケ」で検索を行ったが、見当たらなかった。八尾市社会福祉協議会 サポートやお ボランティアセンターの「ボランティア一覧」にカラオケの項目があったので、情報提供を行った。(別紙のとおり)
105	1月11日		市民	八尾市のOTS会議の1グループで「やおのええとこ発信しまくり隊」として、メンバーを募集している(通称:神 <sup>∞</sup> )。応募の集まりが悪いのでSNSで発信している市民活動団体の方がいれば、ご紹介してほしい。	「神 <sup>∞</sup> (かみエイト)」として、お声掛けできそうなところを、対応者のフェイスブックの友達一覧から探し出し、下記の方をご紹介します。 ① 八尾バル実行委員会 川瀬英樹氏 ② タカヤスタイル 町田弘氏 ③ 健康子育て支援団体 thanks to child 西田伸恵氏 ④ 一般社団法人 AN SHINH 武谷 宗氏 ⑤ 関西大学交友会 中尾達夫氏 ⑥ PRIMAL 上垣氏 ⑦ フィットネスクラブ カラダイロ 小椋 翔氏 ⑧ コピーライター 西村由希子氏 あと、広報の支援として、フェイスブックの非公開グループ「八尾」の管理者も提案した。
106	1月13日		市民活動団体	許麻神社で宿泊が出来る「ニュースつどい」の挟み込みされていた市民活動団体の情報紙に掲載していたので、詳しく教えてほしい。	「つどい」業務委託団体である特定非営利活動法人やお市民活動ネットワークが発行する「NPO やお通信第 34 号」で取材した記事である。 許麻神社の宿泊について、神社の役割等を理解して施設利用をしてくれる方で、地域に貢献できるのなら、許麻神社として施設を貸出すことは協力的であることをお伝えした。 また、過去に子ども会の活動で和室の宿泊利用を許可したこともあると、以前の取材内容も相談者にお伝えした。 許麻神社と相談者の仲介を「つどい」が行った。 相談日翌日の1月14日に対応者が許麻神社へ取材記事を見た方から問合せがあったことを電話でお伝えした。 相談者へは許麻神社の連絡先をご紹介した。
107	1月13日		市民活動団体	うたごえ喫茶のような演奏をして、みんなで歌い、ふれあいたいので、披露できる場所があれば、紹介してほしい。	山本小学校区まちづくり協議会で、地域ふれあい喫茶を5カ所で開催している。直近では18日(木)13:30～に「上之島ふれあいセンター」で「上之島ふれあい喫茶」をしているので紹介した。 18日(木)に「上之島ふれあい喫茶」で歌声喫茶を披露した。 (別紙:開催ちらしを参照) 「上之島ふれあい喫茶」は、毎月第3木曜日13:30～「上之島ふれあいセンター」で地域ふれあい喫茶を開催している。
108	1月17日		市民	高安ドッジボールクラブの連絡先を教えてください。 小学1年生の男子のお母さん。クラブ入会を希望されている。	登録NO.233「高安ドッジボール」の代表に連絡し、電話番号を開示許可をもらい、相談者に連絡した。1/18「高安ドッジボール」代表より、見学に来てもらう運びになったとの連絡があった。 その時新たに、団員数が減っているので募集をしたいが広報手段として、図書館や公共施設にちらしをおいてもらえるのかという相談があった。 「つどい」正面の掲示板、ちらし配架を案内。また、「ニュースつどい」の挟み込みも紹介した。図書館などの公共施設への配架は、「つどい」登録団体ということだけではできないことも、説明した。当方「つどい」として、出張所等への配架が出来るのかどうか、確認する必要がある。
109	1月17日		市民活動団体	八尾児童合唱団の卒団生で昨年結成した。会場費等を賄いたいので助成金に応募したい。何かふさわしい助成金があれば、教えてほしい。	八尾市市民活動支援基金の助成金について知りたかったようなので、情報を提供。自主運営できるための助成なので、コンサートの会場代や出演者謝金が必要なので申請するのでは、趣旨に合わないので助成金を得ることは難しいと回答。コンサートの目的をお聞きすると、現在、高齢者施設への慰問など年4回ほど実施していることから地域福祉の事業を対象ならば、八尾市地域福祉支援基金ならば応募が可能ではないかと情報提供を行った。また子ども対象であると「八尾っ子元気・やる気アップ提案事業」についても情報提供を行った。上記は八尾市のふるさと納税などが財源であり、公益(不特定多数)につながる提案でないといけなことを伝えた。高齢者施設への慰問ではなく、高齢者施設周辺にお住まいの高齢者も対象にするなど、地域ぐるみのコンサートを行うための会場代と、構成メンバーの仲間づくりにつなげる提案ならば、八尾市市民活動支援基金には応募が出来ることを伝えた。また仲間づくりにあたっては、音楽関係者でのつながり、知合いの関係があるが、一緒に演奏する機会が少ない現状を知り、アーティスト関係が集う井戸端会議などを実施する等、アーティストがつながる意識提供も行った。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
110	1月17日		行政	「地域安全八尾市民のつどい」の演奏部等の出演をしてもらっている。「つどい登録団体」の中で出演してもらえる団体があれば、紹介してほしい。	「地域安全八尾市民のつどい」は、春と秋の年2回、防犯の啓発として、八尾市防犯協議会と八尾市と八尾警察で開催している。秋はアリオ八尾で開催しており一日署長がトークショーを行っている。 今回の開催日は、4月15日・16日か21日・22日の土日のどこかで検討している。旧高安中学校 体育館で開催する。駐車場はグラウンドに設ける。グラウンドは高安コミセンが管理している。相談者は、大阪経済法科大学の防犯隊との協働を意識している。出演としては、子ども・女性向けの防犯を大学に、警察の防犯教室(寸劇)を考えている。 「つどい」がコーディネートした、マジックを行う団体とリトミックを行う団体がコラボした「M's」という団体を紹介した。「M's」の代表に、日程の候補日を連絡し、返事をいただければ、すぐに連絡することをお伝えした。 相談者は、つどいのホームページの「つどい登録団体紹介」のページを閲覧しており、読み聞かせの「クレヨン」や、リトミックの「河内昭和音劇団」や他にも「八尾八老劇団」などを調べていた。
111	1月17日		行政	「春の地域安全運動 八尾市民のつどい」で出演いただく団体を紹介してほしい。	防犯・詐欺被害について、パフォーマンスを行える団体がなかった結果、「M'S(エムズ)」をご紹介した。詐欺の手法などをパフォーマンスの中に取り入れながら、発表してもらうことを期待してご紹介した。 対象者は、子どもの参加が少なかったが、4月14日(土)の開催日となり、会場の旧高安中学校の地域の方など高齢者が中心ではあったが、会場を盛り上げ、楽しい雰囲気づくりに貢献することが出来た。
112	1月18日		市民活動団体	①助成金事業のちらしを「ニュースつどい」に挟み込みたい。 ②「つどい」登録団体の中で「人権・平和・教育」を活動分野にしている団体が約20数団体あるが、その団体の構成員全員にちらしを配付したい。「つどい」でそういう団体を集めた場を作ってもらえないか？ または、「つどい」から紹介連絡をしてもらえないか？ ③市関係以外で、定期的に冊子等を配架してもらえないか？「ニュースつどい」配架先など。	①次回「ニュースつどい」の発行予定が、2月23日頃であることをお知らせし、封入するためには、市民ふれあい課の許可が必要であることを伝えた。少なくとも1週間くらい前には、市民ふれあい課提出用のちらしを「つどい」に届けてもらう必要があることも、伝えた。(ただ今、ちらし作成中とのこと。2月の挟み込み希望なので、間に合うようにすること) また、封入時、団体から1名お手伝いしてほしいことを伝えた。封入範囲などはまだ、おききしていません。 ②「つなぐ」に掲載されていて、住所などの連絡先が開示されている団体には、直接連絡してもらって構わないとお伝えしたが、「知らない団体から連絡やちらしが送られてきても、あまりみてもらえない。」との事で、「つどい」からの働きかけを希望されている。上司に相談して返事をするのを伝えた。(場をつくることまでは出来ないが、「つどい」から電話で紹介してもかまわないとのこと) ③「ニュースつどい」の配架場所を伝えることは構わないが、配架は、団体が直接相手様と交渉してもらうことになる。 ②③に関しては、あずかって後日返事することにした。 相談者は、1/19,1/20 のどちらかで「つどい」に寄せてもらうとのことなので、来館時に、直接お返事することになった。
113	1月18日		行政	八尾市文化国際課の事業「やおみせアート」の広報として「つどい登録団体」で学術・文化・芸術に該当する団体を情報提供したいので、教えてほしい。	「つどい登録団体」で「学術・文化・芸術・スポーツ又はスポーツ振興」の活動分野をデータベースから絞り出した。 絞り出したリストの中から、明らかにスポーツ振興に該当する団体を除いたExcel リストを一旦、相談者へ電子メールで提供した。 Excel リストの出力にあたり、担当者については情報開示がされていないので提供できなかった。
114	1月19日		市民	子どもに関する活動で、どのような活動や団体があるのか知りたい。	4か月の赤ちゃんと一緒に来館された。出産してから、八尾で活動している団体がいろいろあることを知って、興味を持ち、子どもがもう少し大きくなったら、何かやってみたいと思っているとのこと。 八尾市の「子育ておうえん BOOK」とハンドブック「つなぐ」をお渡しして、つどいの広場や、子どもの健全育成分野の団体があることを説明。また、つどいWeb でも団体を探せることを伝えた。つどいの子育て支援井戸端会議の案内もした。
115	1月19日		事業者	高齢者が楽しめるような活動をしている団体を紹介してほしい。地域包括センターの地域の中で、介護保険の対象にはならないけれど、家に引きこもりがちの方がおられるので、外に出て楽しんでほしい。	受け入れてくれる団体ならどんな活動でもよいとのこと、希望の活動が特になく漠然とされていたので、つどいホームページに各団体の活動内容などが掲載されているので、見てもらって希望の活動を絞っていただいた方がよいのではと、伝えた。 他に、サポートやおボランティアセンターの冊子をお渡しして、そちらにもいろいろ活動をしている団体が登録されていることを伝えた。 対象の方が何名かおられるので、どんな活動がよいか検討してまた伺いますとのこと(市民ふれあい課からつどいに来られ「つなぐ」冊子は持っていた)。
116	1月19日		市民活動団体	おむつフィッターの活動紹介ちらしを作ることを考えており、手書きのラフは作っているが、これからPCでデザインしていくにあたり、デザインやちらし作りに役立つ情報が欲しい。	◆対応 Web サイト: フォントフリー、吹き出しデザインを紹介し使い方をレクチャー。 PowerPoint で図形の頂点を編集する方法をレクチャー。プリントバックの発注額を紹介。ちらしの作り方は情報をどこに配置するか決め、参考になるちらしを基にデザインしていくことをお勧めした。八尾図書館にちらし作成の参考本があることを伝えた。 ◆追加対応 PC でちらしができあがってきたら、デザインについて細かいアドバイスができるよう、作成中のちらしデータを持ってきてもらうようお願いした。 ※ おむつフィッター: 高齢者の排泄の困り事を解決するため相談や助言を行う。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
117	1月21日		市民活動団体	こども食堂の事業を大阪市平野区で行っている。子ども達が喜ぶ出し物で披露できる団体があれば、紹介してほしい。	「つどい」がコーディネートをしたのをきっかけに団体同士の有志で結成した「M's(エムズ)」を紹介した。「M's(エムズ)」はマジックを行う方とリトミックを行う方が一緒に披露を行ない、子ども達を楽しませている。連絡先も記載しているハガキサイズのちらしがあるので、お渡しした(別紙参照)。相談者が行う子ども食堂は、大阪市の助成金事業で実施している。
118	1月21日		市民活動団体	そろばん普及会のホームページを作成したいのでアドバイスがほしい。今HPは持っておらず、八尾・奈良支部では大和高田コスモプラザで掲載している。	リタワークス株式会社資料をお渡しし、説明を行った。本部の方へ相談者から説明を行い、タイミングがあればリタワークスのほうへ連絡をいれるとのこと。 (同じくそろばんを教えている団体がたくさんあるのでHPを作って営利的だと思われるので、市役所や学校園にもっとそろばん普及会の名前を広めてからHPを作った方がいいのではという時期を探っている気持ちはある。)
119	1月24日		市民活動団体	NPO法の改正により、公告の掲載方法を定款で定められるようになった。定款変更の手続きにあわせて、定款変更時に法務局へ提出する必要があるか教えてほしい。	今回の定款変更後については、公告の掲載方法を定款で定めた後は、法務局へ提出していた「資産総額の変更登記」が不要になるが、定款変更手続き後に法務局に提出する書類があるかについては、定かでなかったため、大阪法務局 東大阪支局(06-6782-5106)へ問合せた。法務局へ定款変更の手続きで提出するものはないことを確認し、相談者へ説明を行った。
120	1月24日		市民活動団体	会議室を借りたいのだが、どのようにしたら借りれるか教えてほしい。	「つどい」の会議室を利用したい旨あった。会議室などの利用には、「つどい」への登録が必要であると説明した。登録への条件として、まず市民活動団体であるかをお聞きした。バレーボールでチームを作り活動しているのを、バレーボール大会の開催もしていることをお聞きした。次に団体の目的をお聞きした。具体的な質問として「バレーボールを行うことで何を目的にされていますか?」と質問した。主催者やバレーボールをされる方達の健康増進であると言う答えだったので、「市民活動団体の定義」について説明(公益的・自発的・非営利)。お聞きしていると自発的に非営利で活動をされているが、公益的であるか確認した。上記を提供したい方、団体に賛同する方はどなたでも構成メンバーになれるが、子育て世代以上の女性を対象にしていることを確認した(八尾市内全域を対象であれば年代を制限していても公益としてOKだと伝えた)。さらにバレーボールを通じて、健康増進なのか、お母さんが元気になることでさらに子育てしやすい環境づくりに貢献するのか、元気なお母さんが増える事で他の市民活動を行う人を生み出すのかなど、八尾のために何に貢献できるかを検討してほしいことを説明した。現在、公益的な目的はないとのこと、持ち帰って検討するという答えだった。登録申請時に規約が必要なので、規約の目的も公益的な文面を追加することにも説明した。最後に申請条件と必要書類について説明を行い、協働意識・つながりを意識しているから、人とつながるための会議室利用であることも説明を加え、協働意識があるかが登録申請前にまず検討してほしいことをお伝えした。
121	1月26日		市民	仕事を退職して時間を持って余っているので、ボランティア活動のようなことがしたいが何かないか? 特に希望の分野はなく、何をしたいのかかわからない。気軽にできる清掃活動などがあれば、とのこと。	環境保全課で清掃ボランティアを募集しているとの情報があり問い合わせたが、公園清掃ならみどり課でやっているかもしれないとのことだった。サポートやおボランティアセンターの冊子をお渡しして、いろいろなボランティア活動の団体が登録されていることを伝えた。ボランティア以外にも、いろいろな市民活動があることをお伝えして、ハンドブック「つながり」をお渡しし、興味のある団体があれば問合せてみられては、とお話した。また、清掃ボランティアの情報があれば、連絡しますとお伝えした。「冊子を見て、やりたいことを探してみます」と言って帰られた。後日、市役所市民ロビーで、社協のボランティア活動展があり、ボランティアの相談も受けつけているようだったので、お電話をしてお知らせした。(2月1日)
122	1月31日		市民	地域の団体で定期的にランドゴルフをやっていて保険に入りたいが、市民ふれあい課で加入できる保険が廃止されるので、つどいに相談するように言われた。	自治会の活動やボランティア活動ではないので、つどいにあるパンフレットの中から、該当する保険として、「スポーツ安全保険」「レクリエーション保障プラン」「ボランティア・市民活動行事保険」を紹介、資料をコピーしてお渡しした。スポーツ安全保険のパンフレットは市役所生涯学習スポーツ課へ取りに行ってもらおうようお願いした。
123	1月31日		事業者	高齢者の介護をされている方から、体の起こし方など教えてくれたり、介護の講習をしているところはないかと問い合わせがあった。つどいの登録団体でそのような団体があれば紹介してほしい。	登録団体「つどい場げんごろう」を紹介。連絡先をお知らせした。ちらしが配架されていたので、2月18日につどいで集まりがあること、定期的に勉強会が開催されていることなどをお知らせした。
124	2月2日		市民	芸術の普及場所が欲しい。ex.展示場の場所があれば嬉しい。	「やおみせアート」について情報提供を行った(別紙のとおり)。一度作品は「おおはしまさのり」で検索し、インターネットからつどいが見るようになった。場合によっては、本町7丁目の光専寺をご紹介するかもとお伝えした。(相談者が本町2丁目在住で、地元の方が地元のお寺で展示するのは、お寺の方の主旨にも合っていると感じたため。)相談者は絵本もかいている。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
125	2月8日		行政	文化国際課で毎年、中学生・高校生を海外研修で派遣しているが、その募集の広報先として中高生が集まるような団体があれば紹介してほしい。	若い人が活動している団体として、ガールスカウト・ボーイスカウト・少年少女組織を育てる八尾センターとグループ団体・八尾レオクラブなどを挙げたが、中学生と高校生主体という団体は、思い浮かばなかった。 もう少し調べてみて、あれば連絡すると伝えた。海外派遣のちらしやポスターはいつも同じようなところに広報しているが、これからは中高生の集まる場所に絞ってみようかと思っているとのこと。 翌日、データベース検索で10団体ほど見つかったので、連絡先等プリントしてお渡しできることを電話でお伝えしたところ、それはいいです、とのお返事でした。相談者の意向は、つどいによく来ている中高生の団体ということのようでした。
126	2月14日		市民活動団体	高齢者支援をやっている団体があれば教えてほしい。	八尾市社会福祉協議会から問合せがあり、「ねやがわ愛の会」から八尾市に市民活動センターがあると相談者がお聞きして、八尾市社会福祉協議会に連絡があり、「つどい」を紹介された。相談者からは「大阪ええまちプロジェクト」の資料案内をいただき、お話を聞かせていただいた。 「大阪ええまちプロジェクト」は、大阪府下で高齢者の積極的な社会参加を促し高齢者の生きがいづくりと介護予防への機運を醸成することをめざしている。そのネットワーク形成として今回の活動を知ってもらうことも含めてお話をお聞きした。また高齢者支援を行なう団体があれば、紹介してほしいというお話であった。
127	2月14日		市民	高齢者に関する活動の資料がほしい。 ケアマネージャーの資格試験に合格し、これから実習に入る。ケアプランを立てるにあたっての資料集めをしている。	表の掲示板にあった、笑い歌エクササイズの木瓜帽のちらしがほしいと言って、入ってこられた。館内の配架も見て、関心のあるものを持ち帰られた。 ちらし: 木瓜帽子舞踊団・えだまめの会・河内銀友会・つどい場げんごろう団体紹介カード: 八尾いきいき歌体操グループなど ハンドブック「つなぐ」とサポートやおボランティアセンターの冊子もお渡しして、高齢者向けの活動団体も掲載されていることを伝えた。つどいホームページ登録団体紹介の説明もした。担当するのが八尾の方なので、八尾の資料をいろいろ集めて参考にしたいとのこと。相談者は東大阪市在住。
128	2月16日		行政	「八尾市子ども・子育て支援助成事業の成果報告会」で交流会をやりたいので、交流タイムの進行をお願いできないか。 またこの成果報告会のご案内を昨年度開催した時にご案内をしたいが、どのように行えばよいか教えてほしい。	「八尾市子ども・子育て支援助成事業の成果報告会」での交流タイムの進行は、「つどい」でお引き受けすることになった。 交流会では、つどいの役割は、次の2点であることを打合せした。 ①「取り組みをやってみよう!」と気づきを提供する。 ②助成団体以外にも、楽しいからやってみようと思えば、試してみようと思うように意識向上を図る。また要望大会ではないことを強く押ししてほしいというリクエストがあった。 上記成果報告会のご案内は、昨年度のご案内を行った経緯を、相談者はお忘れになっておられた。そのためニュースつどいの挟み込みについて相談をされたので、当初は挟み込みについて説明した。 昨年度は、相談者より「子どもに関する団体と取り組みに関する調査」で回答した「つどい登録団体」の代表者の連絡先等の情報開示している団体について情報提供をつどいが行い、その情報から相談者が上記成果報告会のご案内を行ったことを説明した。 【相談記録 No.2016-113 を参照】 またニュースつどいの挟み込みよりも直接郵送を行う方が、郵便物を見てもらえる可能性は高いだろうと加えて説明を行なった。最後に、この1年で登録した団体の情報を提供した(下記の登録団体 No.)。「つどい登録団体」No.401~406、No.408~409の8団体。上記対応から、ニュースつどいの挟み込みの依頼はしないことになった。
129	2月17日		市民活動団体	現在「旧中高安小学校」や「アクトランド YAO」を使用して練習を行っているが、4月以降の練習場所が決定していない。できれば山手側で練習を行いたい。何かいい場所の紹介は受けられないか。	大阪経済法科大学の八尾キャンパスができてからは打診をしたことがないとのことだったので、大阪経済法科大学の花岡キャンパスの使用ができないか問合せはどうかと提案した。
130	2月25日		市民活動団体	3月9日~11日まで開催される「フェスタかがやき2018」に参画し、「まちの中の達人」のコーナーで太極拳を行う。そのための広報としてちらしを印刷したいのだが、「つどい」で印刷することは可能だろうか。	「つどい」としては、登録団体でないため、印刷はできない。 市民活動団体として登録をしてもらう必要があるが、「フェスタかがやき2018」の開催日まで時間があまりないので、有効な手段はないかもしれないと回答。 また「フェスタかがやき」は八尾市生涯学習センター「かがやき」も主催者に参画されているので、一度相談することを勧めた。 相談者は主催者側ではないので、印刷が難しいということであった。 「つどい」から八尾市生涯学習センター「かがやき」へ問合せ、ご対応いただくことをお願いした。
131	2月25日		地域活動団体	4月1日(日)に大竹会館で「大竹おしどり会」の総会を開催する。 総会後の懇親会の余興で出てくれる団体を紹介してほしい。	11時から総会を開催し、12時から13時までの1時間の内、30分×2団体で紹介してほしいという内容だった。これまでに和太鼓・大正琴・落語を前回までに行ってきた。それ以外の取り組みで紹介してほしいことから、つどい登録団体からフラダンスを行う「フラ・ヴィーナス」とお琴演奏を行う「宥慈会」を紹介した。どちらの団体にも所属する構成員もいるため、連携して行えることをお伝えした。後日、開催の時に、「フラ・ヴィーナス」のフラダンスにウクレレ演奏を行う「ウクレレ・ハウス」も協力いただいた。参加される方は平均年齢が82才で20~30名である。 この相談は高安出張所 コミュニティ推進スタッフの紹介で「つどい」に相談に来られた。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
132	2月28日		市民	ボランティアがしたいので、活動先を探している。以前は仕事をしてしたが、出産後は子育てに専念。下の子が小学生になったので、昼間の時間を活用して何かしたいと思った。週2~3日、できれば子ども関係の活動が希望。	「お帰り処 お結びころりん」のボランティア「お結び母さん」を紹介。八尾市の「子育ておうえん BOOK」をお渡しした。つどいの広場などの子育て支援の場所が掲載されており、ボランティアを募集しているところもあるかもしれないので、問い合わせしてみても、とお伝えした。ハンドブック「つなぐ」もお渡しして、子どもの健全育成分野の団体があることを説明。つどいホームページでも団体を探せることを伝えた。また、NPO やおで計画している光専寺でのふれあい喫茶を手伝ってもらうことも提案。もう少し具体化したら連絡させてもらうことにした。相談者は以前、管理栄養士の仕事をされていた。ご自分でも、子ども関係のボランティアを探されて、放課後教室や子ども食堂などの募集は見つけたが、時間帯が夕方なので無理だったとのこと。
133	3月1日		市民活動団体	2月16日に「つどい登録団体」である八尾市倫理法人会主催の「経営者の集い」に参加した時にいただいたお弁当屋さんを紹介してほしい。	対応者がNPO 法人として八尾市倫理法人会の会員で主催者側で携わっていたため、ご紹介出来た(お弁当の手配も担当していたため)。お弁当屋:一清(大阪市此花区に会社があるため、お弁当ガラの処分は、発注者で対応することを相談者には予め対応者にはお伝えしている。)
134	3月1日		市民	子ども関係の活動に興味があり、いろいろな資料が欲しい。どんな活動があるのか知りたい。	八尾市の「子育ておうえん BOOK」とハンドブック「つなぐ」をお渡しした。つどいには子育て分野の団体がたくさん登録していて、つどいのホームページからも探せることを伝えた。他に「八尾読み聞かせの会」の資料がほしいと言われたので、えほんライブのちらしと、データベースの登録情報を出力してお渡しした。相談者は学生さん(大学生)で、子どもに関することを勉強しているとのこと。
135	3月7日		市民活動団体	法務局の手続きをしたいので、どのようにしたらよいか教えてほしい。	相談者は法人設立時から、全く登記が出来ていないと言われたので、「登記とは何か」から説明した。NPO 法人の登記にも、毎年または最大2年に一度の手続きとして、主に資産総額の登記変更(毎年)と、役員変更の登記(最大2年)の2種類があると説明。相談者から、司法書士に任せたいと言われたので、法人の定款や運営のルールを相談者は理解したうえで、かつ現状を説明できるようにならないと任せられないとアドバイスを行った。何がわかって、何がわからないか。何が出来て、何が出来ないかを、当事者が整理しないといけないとアドバイスを行った。そのために一度自分たちで書類を作成するようアドバイスを行った。また八尾市へ提出する事業報告書と役員変更等届出書についても質問があったので、意味や法務局の手続きとは別であることを説明した。また法人のおかれている現状や今後の展開をお聞きした。5月20日に専門家相談で再対応。別紙(つどい委託運営団体が法務局に提出した役員変更登記申請書と添付書類)の資料を相談者に提供し、加えて再度説明を行った。
136	3月9日		市民	一緒にイベントをお手伝いしてくれる人がいればご紹介してほしい。	たまたま来館していた「学生団体 はちのじ」をご紹介した。連絡先を交換され、当事者同士で話し合われた。
137	3月9日		市民活動団体	「はなはなマーケット」のイベントでワークショップで出展してくれる団体を紹介してほしい。	「はなはなマーケット」は5月27日(日)10時~15時【雨天中止】買い物支援のイベントであり、子どもたちにも楽しんでもらえるワークショップをおこないたいというコンセプトである。子ども向けに該当するつどい登録団体をデータベースで検索し情報提供した。【別紙】を印刷し手渡した。 折り紙 登録 No.104:「熟年サークルなごみ」 手づくりおもちゃ 登録 No.319:「工房夢祭」 読み聞かせ 登録 No.321:「八尾読み聞かせの会」 ※ 読み聞かせを行う団体の取りまとめ役・連絡会である。 人形劇 登録 No.37:「八尾人形劇連絡会」 ※ 人形劇を行う団体の取りまとめ役・連絡会である。
138	3月10日		市民活動団体	会計の簿記で給与支給と源泉徴収の納付ならびに雇用保険料・労働保険料の仕訳について、考え方ややり方を教えてほしい。	1.給与の支給・源泉徴収税の仕訳について【考え方】 ① 社員 A へ支出として、簿記(仕訳)を行う。 ② 社員 A から給与支給した月分の源泉徴収税を事業主が預かる。 → 負債の預り金が増えるという簿記(仕訳)を行う。 ③ 半年に1度、源泉徴収税で預かった6ヶ月分を納付する。 → 負債の預り金の内、半年分が減るとい簿記(仕訳)を行う。 2.雇用保険料・労働保険料【考え方】 ① 雇用保険料も労働保険料も科目は「法定福利費」になる。 ② 上記1.と同様に給与で支出として、簿記(仕訳)を行ったあと、社員 A から給与支給した月分の雇用保険料を事業主が預かる。 → 法定福利費が減ったという簿記(仕訳)を行う。 ③ 年に1回(7月上旬まで)に労働保険料を納付する際に、預かっている雇用保険料も加えて、労働保険料の計算を行い、書類を作成し、納付する。 → 法定福利費が増えたという簿記(仕訳)を行う。 ④ 上記2.②と上記2.③の差引が法定福利費の計上結果になる。

No.	日付	リポーター	活動主体	相談内容	相談対応
139	3月10日		市民	実業団でハンドボールを行っていて、八尾市の子どもたちに普及させたい。登録はどのように行えばよいか、教えてほしい。	大阪の社会人リーグとして活動している寄せ集め。サッカーとかボールを投げたりしない子どもが多く、運動能力を危惧している。市民活動はハンドボールを行うだけではなく、ハンドボールを通じて、どのような公益性を生み出すことを目的に活動をしているかが大切であると説明した。 以前にテレビで放送されていたが、小学生はスマホなどゲームを行うことが増え、腕全体を使った動作が減った事で、筆圧が落ちており、HBの鉛筆では字が薄くなるため、現在はB・2Bの鉛筆を使用する小学生が多くなっている話題を提供した。 そのような話題提供から子どもたちが運動能力の低下が、生活にどのような影響があるか、非常にわかりにくく、見えにくい。その社会問題になりかねない見えにくい点を、市民活動で表現し、多くの方に気づいてもらう活動であることを説明した。 そのためには、まず子どもたちにハンドボールをツールとして運動してもらう場を提供することで先に活動の実践を行うことで、気づいたことから、さらに目的を明確化して活動を進めていくことをお薦めした。活動をしてから、つどいに登録申請を行うことを説明した。(先に活動を行うことで、どのような公益的な目的をめざして活動をするかが、わかった団体に登録に来てほしいことを説明した。)
140	3月15日		市民活動団体	5/27(日)に行われる「西郡はなはなマーケット」で、ワークショップをしてもらえたい団体を探していて、以前に4団体「工房夢祭」「熟年サークルなごみ」「八尾絵本の会」「人形劇連絡会」を紹介してもらったが、その内の2団体(工房夢祭・人形劇)は、こちらの希望と相手様の時間等があって出展してもらえなくなった。後、2団体ほどワークショップをしてもらえたい団体を紹介してほしい。	・健康子育て支援団体「すまいる」 ・にじいろのクレヨン 久宝寺コミセンで活動されているボードゲームの団体を紹介。 「すまいる」は、登録カードを渡し、「にじいろのクレヨン」は、電話番号が開示OKになっていたので、電話番号を伝え、2団体は直接連絡してもらうように伝えた。 ボードゲームの団体は、久宝寺出張所に連絡、出展が可能かどうかを聞いてもらえるか、又は、その団体の連絡先を教えてくださいと聞いてもらった。久宝寺出張所より連絡があり、30代の方達を中心になって活動されている団体で、最近仕事等で忙しかったり、メンバーの移動もあり、週1回の活動も出来ない時もあるとのこと。 また、出展予定していた3月に行われる「ハッピーアースデイ」にも出展する人数が3人から2人になるという連絡があったそうで、5月の出展は難しいのではないかとのことです。西郡出張所とハッピーアースデイのつながりもあり、相談者の希望に応えたいので、一応その団体にオファーがあることは伝えるが、期待しないでほしいとのこと。以上の事を相談者に電話連絡を実施。
141	3月21日		行政	相続の相談に来られている方があり、4月からはじまる出張所の無料相談会の予定とNPO法人て・と・ての連絡先を教えてください。	4月4日に山本出張所で行われる相談会が司法書士さんが当番なので、その事を伝えた。 また、その日に間に合わなければと思い、NPO法人て・と・ての連絡先を相手様に伝えてもらった。
142	3月21日		事業者	久宝寺緑地で「Happy Earth Day」を取材したい。「Happy Earth Day」HPに問合せ先として、「つどい」が載っていたので連絡した。	「Happy Earth Day」担当者の携帯電話、Eメールアドレスを連絡した。
143	3月22日		行政	「ミセルバヤオプロジェクト」という共同体を作ろうを考えている。設立総会を開催するにあたって、どのような組織体として進めていけばよいか、アドバイスがほしい。	相談者としては、立上げを市役所が携わり、立ち上げ後は、特別会員として残り、運営には直接携わらない考えをもっている。現在の構成員(藤原電子、谷本樓、金城ゴム、中田製作所、友安、アーテックなど30代から40代の八尾市内の中小企業の経営者)が中心となって、共同体の運営を行う考えをもっている。テーマ解決に向けた社会貢献活動(CSR活動)で産業創造をめざされる。将来は平成31年度末を目途にNPO法人格の取得を目指す考えである。規約等を作成されていたが、NPO法人格の取得を目指すならば、NPO法人の定款サンプルを基に規約を作成することをお薦めした。
144	3月29日		市民	志紀周辺で活動しているコーラスの団体があれば紹介してほしい。	志紀で活動しているコーラスの登録団体はなかった。 志紀出張所の講座にもコーラスはなかったが、参考に講座の案内をプリントしてお渡しした。ハンドブック「つなぐ」もお渡しした。

## ■ 出張相談会の開催の検討

出張所など地域拠点施設へのヒアリング訪問を機会に、出張所機能再編後の出張所での機能提案も兼ねて、つどい登録団体と地域拠点施設を絡めた企画ができないか検討を行った。

検討の際に、つどい登録団体であり、士業の専門家が構成員である「特定非営利活動法人て・と・て」に相談した結果、来年度4月から、出張所で士業による出張相談会をつどい共催で実施することとなり、各施設との日程調整を行った。

それに先立ち、2月4日(土)にセンター「つどい」で、弁護士・会計士・司法書士・社会保険労務士・建築士などの専門職に相談出来る場を設けた。当日参加されたのは1名だった。今後は、来館者に相談事がないかヒアリングをしながら、ひとりひとり見つけだし、次回開催の際にはお声掛けが出来るようにしたい。



### (3) スキルアップの支援

#### ■ 「みんなで学ぶ」チラシづくりワークショップの開催

平成 28 年度に、つどいが登録団体向けに実施したアンケート調査にて、つどいに求めている支援に「広報」と回答した団体が多いことが分かった。そして、同時期、つどいに新しく入った学生スタッフが、デザインに関心のある学生であることから、市民活動団体である参加者と共に広報物を作ることで、ちらし作りを楽しいと感じてもらい、広報活動の活発化・活性化によって新しい仲間づくりにつながっていくことをめざして開催した。

開催企画・実施は、学生スタッフが中心に講師としてワークショップ行うことで、学生スタッフも含め全スタッフのスキル向上もめざした。また、市民活動団体が、自分たちで広報物を作成するスキルを身につけることで、専門家にちらしの作成依頼が不要になり、また目を引くちらしを作成することで、活動に参加する人が増え、講座参加者自身もちらしづくりへの興味・関心が増えるのではないかと考えて実施した。

日付	開催内容	人数
9月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生スタッフが講師となり下記の3点について座学を行った。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 デザイン・レイアウトについて</li> <li>2 ちらしづくりの考え方</li> <li>3 参考になる本やサイトについて</li> </ol> </li> <li>・ 参加者同士で広報やちらしづくりに関する情報交換を行った。</li> <li>・ 参加者同士で持参した自団体の広報制作物を添削し合った。</li> </ul>	13名 (つどい スタッフ含む)
10月7日	参加者にはノートパソコンを持参してもらい、プレゼンテーション用ソフト (Power Point) を触りながら操作とちらし作りのポイントをレクチャー。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前回の講義を基に、ちらしの方向性をワークシートに書きこむ。</li> <li>2 参考資料を見ながら、ラフを書いてみる。</li> <li>3 ラフに書き出した情報を Power Point で作ってみる。</li> </ol>	9名 (つどい スタッフ含む)
10月28日	参加者にはノートパソコンを持参してもらい、ノートパソコンを触りながら、操作とちらし作りのポイントをレクチャー。	4名 (つどい スタッフ含む)

#### ■ つどいの技を盗め！みんなで決めて、みんなで作る「つどいのパンフレットづくりワークショップ」

八尾市市民ふれあい課や出張所などから、市民に「つどい」について尋ねられた際、「ニュースつどい」以外に配布して説明できるものが欲しいという声が挙がり、つどい内部でコンセプトメッセージを考えたこともあり、新しく「つどいのパンフレット」を作成することになった。それに際して、1月19日につどいだけでなく、内部でパンフレットに関する打ち合わせを行ったところ、つどいだけでなく、各団体にとっても役立つアイデアが出てきたので、それらのアイデアや知識等を共有する場をつくりたいとのことで、「つどいのパンフレットづくりワークショップ」を実施した。

ワークショップの開催によって、つどいは多様な人材と一緒にパンフレットを作ることで、ターゲットに合ったパンフレットを作ることができ、一方で参加者はつどいのパンフレット作りの場に来ることによって、パンフレットを作る流れや考え方、広報物をみんなで作る技を知ることが出来た。

日付	開催内容	人数
2月3日	「考える：誰に？何を？なぜ？どこで・いつ？」	6名
2月10日	「図解：どこに何を載せる？」	2名
2月17日	「中身をつくる：文章・色はどんなのにする？」	3名
2月24日	「整える：細部に宿るこだわりで、他との差をつける！」	2名
3月3日	「完成：総ふりかえり」	4名

### 2.1.3. 公益活動への参加支援業務

#### (1) 体験会の開催

平成 29 年度は、体験会を 6 回開催した。平成 29 年度の体験会は、3 ヶ月に 1 度開催の「つどい体験会関係者連絡会」で出てきた意見を参考に、つどい体験会関係者が主体的に活動内容を見出しことで、「つどい体験会」が活性化した。中環の森での「つどい体験会」の取り組みは、菜の花で燃料化を行う NPO 法人自然環境会議八尾と地域活動団体で美園小学校 PTA 部会である「エコロジー美園小」が中心になって企画し、後継者・次世代につなげることを意識した「つどい体験会」を実施していただいた。次年度は、参加する子ども達がやりたいことを見つけ出すことや、団体全体が主体性を持ち取り組むようにして行くことをめざす。

また、「つどい体験会関係者連絡会」で出てきた協働のアイディアで、中環の森で廃食用油をつかって作るエコキャンドルと、「夏休みの宿題応援！紙灯ろうをつくろう！」の時に作る紙灯ろうをかけ合わせ、9 月 9 日開催の「第 9 回 久宝寺寺内町 燈路まつり」でエコキャンドルと紙灯ろうの展示を実施した。その結果、「夏休みの宿題応援！紙灯ろうをつくろう！」の開催も初めて会場が満杯になるほど、大盛況であった。

今後は、市民活動が地域課題・社会問題の解決だけではなく、生き甲斐や楽しさ、達成感などを産み出す場であることを知ってもらうような体験会を実施していきたい。そのためにも「つどい体験会関係者連絡会」の参加者がさらに主体的に活動できるような工夫をしていきたい。

#### ○ 体験会開催記録

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
1	4 月 8 日 (土)	菜の花のつぼみとり 菜種油で菜の花などのてんぷらづくり	中環の森	20 名
2	5 月 27 日 (土)	菜の花の収穫(引抜) & エコカルタづくり (エコカルタづくりはエコロジー美園小の提案)	中環の森	30 名
3	6 月 24 日 (土)	菜の花の種と茎を分ける体験&綿菓子づくり (綿菓子の電力は菜種油や、太陽光発電を使用。)	中環の森	40 名
4	8 月 19 日 (土)	夏休みの宿題応援！ 紙灯ろうをつくろう	センター「つどい」	30 名
5	9 月 9 日 (土)	河内木綿栽培見学&河内木綿で棉遊び！ キャンドルづくり！ (アロマキャンドルの芯は、河内木綿を燃って使用。)	中環の森	30 名
6	12 月 2 日 (土)	菜の花の植えかえ体験&搾油体験 リースづくりと綿繰り&キャンドル芯づくり (6 月に分けた種取り後、干したものを搾油体験。)	中環の森	21 名
年間開催回数: 6 回				171 名

※「志紀ふれあいの森 整備活動」や「就農支援の農園で栽培と収穫体験」は、今年度も開催企画を行わなかった(引き続き、志紀ふれあいの森は子ども会・自治会の参加が難しいため)。

## (2) その他 参加支援業務

「なつやすみボランティア事前研修会」では、引き続き講師でボランティア・市民活動・公益について話をし、テスト問題に受講生に答えてもらいながら解説を行い、理解を深めてもらうことができた。

9月9日開催の「第9回 久宝寺寺内町 燈路まつり」では、開催会場のひとつである「愛の郷・八尾の杜」会場で、8月19日開催の「つどい体験会」や、つどい登録団体である「ガールスカウト大阪府第16団」や「エコロジー美園小」の協力により作成した紙灯ろうを展示し、地域活動・市民活動の行事に参加する機会を提供した。

加えて、今年度は「愛の郷・八尾の杜」会場に来られた方に実費提供で紙灯ろうをつくる体験会を行い、5組の家族が参加をし、作成した紙灯ろうを会場に置き、火を灯し展示を行った。会場に来られる参加者も主催者と一緒になって、行事に参加できるツールとして紙灯ろうづくり体験を行った。行事に参加する仕組みを提供したことで、主催者の意識を変えることが出来た。この行事によって、今後、子ども達や家族など紙灯ろうづくりを体験する方とのつながりをつくり、行事の担い手づくりにつなげたいという主催者の意欲の向上に寄与することが出来た。

### ○ その他 参加支援業務

No.	日付	開催名称／開催場所	開催内容	人数
1	7月9日 (日)	平成29年度 なつやすみボランティア事前研修会 かがやきボランティア講座 人のため地域や社会のお役に立とう！ ／生涯学習センター「かがやき」	講師として情報提供。自分を磨くための生涯学習で得たノウハウを、今度は人に喜んでもらい、みなさんのお役に立つための市民活動につなげようと情報提供を行った。	30名
2	9月9日	第9回久宝寺寺内町燈路まつり	燈路まつりでの8月19日開催の「夏休みの宿題応援！紙灯ろうをつくろう」で参加者が作成した紙灯ろうを展示し、燈路まつりに参加協力した。	—

## 2.1.4. 活動主体の連携・協力促進業務（コーディネート・マッチング）

### (1) 交流会の開催

平成 29 年度は、計 19 回開催した。子育て支援井戸端会議を毎月 1 回開催し計 12 回開催した。「つどい体験会関係者連絡会」は 3 ヶ月に 1 度の開催で計 4 回、それ以外に、市民活動支援基金関係の交流会を 2 回、つどいスタッフと登録団体が企画した「みんなの学校・みんなの地域を考える！」の交流会を 1 回開催した。これらの中で参加した市民・市民活動団体などの団体同士の意見交換や考え・課題の共有化などを図った。

市民活動支援基金の交流会では、応募団体との連携と支援を深め、市民活動支援基金の趣旨・意義などを意見交換する場づくりが出来た（3 回開催：4 月 15 日・6 月 17 日・3 月 18 日）。

「つどい体験会関係者連絡会」では意見を出し合うことで、参加者同士の活動の現状を知り、共に出来ることを模索してもらった。また、次年度に向けて「つどい体験会」としての持込企画を考える方もあらわれ、少しずつ企画の段階から「つどい体験会関係者連絡会」の参加者同士で一体感が始まっている。

さらに、「子育て支援井戸端会議」では、井戸端形式の交流会として、参加者の普段の活動や体験などから、活動の目指す方向性・目的を再認識し、共有し、そして目的などに気づくことで、活動のあり方など、参加者の志の向上の場になって来た。

#### ○ 交流会開催記録

No	日付	開催内容	開催場所	人数
1	4 月 6 日	つどい体験会関係者連絡会	センター「つどい」	10 名
2	4 月 15 日	市民活動交流会	八尾市役所本館 6 階 大会議室	23 名
3	4 月 28 日	子育て支援井戸端会議	センター「つどい」	20 名
4	5 月 26 日	子育て支援井戸端会議	センター「つどい」	12 名
5	6 月 17 日	助成金応募者交流会	センター「つどい」	10 名
6	6 月 23 日	子育て支援井戸端会議	センター「つどい」	8 名
7	7 月 8 日	つどい体験会関係者連絡会	センター「つどい」	6 名
8	7 月 27 日	子育て支援井戸端会議	センター「つどい」	14 名
9	8 月 25 日	子育て支援井戸端会議	センター「つどい」	11 名
10	9 月 22 日	子育て支援井戸端会議	センター「つどい」	7 名
11	10 月 14 日	つどい体験会関係者連絡会	センター「つどい」	6 名
12	10 月 27 日	子育て支援井戸端会議	センター「つどい」	14 名
13	11 月 24 日	子育て支援井戸端会議	センター「つどい」	10 名
14	12 月 10 日	みんなの学校・みんなの地域を考える！	センター「つどい」	7 名
15	12 月 22 日	子育て支援井戸端会議	センター「つどい」	12 名
16	1 月 13 日	つどい体験会関係者連絡会	センター「つどい」	6 名
17	1 月 26 日	子育て支援井戸端会議	センター「つどい」	7 名
18	2 月 23 日	子育て支援井戸端会議	センター「つどい」	7 名
19	3 月 18 日	市民活動支援基金 助成団体懇談会	センター「つどい」	8 名
20	3 月 23 日	子育て支援井戸端会議	センター「つどい」	8 名
年間開催回数: 20 回				206 名

## (2) 連携・協力のコーディネート

大正小学校区まちづくり協議会構成団体「魚の泳ぐ大正川をつくる会」の仲間募集のためのちらしと、大正川の水質向上のため下水道接続工事の協力お願いちらしの2つのちらしを作成出来る団体の紹介について、依頼を受けたことで、つどい登録団体「学生団体はちのじ」を紹介し、新しい参加者・協力者を募るきっかけが出来るちらしが完成した。完成したちらしを活かし、「つどい」で近隣の事業者等に下水道接続工事についての情報や大正川の現状について情報提供も行った。ちらしづくりを機会に大正川の現状、活動団体のPRなどにおいて広報のコーディネートを行うことが出来た。

山本出張所管内にある7小学校区の校区まちづくり協議会の連絡会を開催した。これは八尾市市民ふれあい課が主催している「校区まちづくり協議会 連絡会」を参考に、出張所管内で近隣の小学校区同士の校区まちづくり協議会が集まり、ざっくばらんに井戸端会議が出来ることを提案して開催した。協議会同士で現状を知り、活動の進め方の違いや考え方の違いなどを知る貴重な機会になった。

八尾市市民ふれあい課主催の「八尾・高美地区地域内施設連絡会」において、参加する施設同士の交流が図れるようにコーディネートしてほしいと依頼があり、ワークショップを担当したことで、これまで主催者からの連絡事項で終わっていた連絡会を、参加者同士が交流を行う場として機能させる手助けが出来た。また同時に「つどい」も、参加されている各施設とつながることが出来た。

### ○ 連携・協力のコーディネート記録

No.	日付	名称/場所	開催内容
1	12月～ 3月	「魚の泳ぐ大正川をつくる会」の仲間募集及び下水道接続工事協力お願いちらし	左記の団体が、大正小学校区まちづくり協議会事業として位置付けられたことを、地域拠点施設へのヒアリングで知り、それを機会にちらしづくりを行う団体紹介について依頼があり、「学生団体はちのじ」を紹介したことで、老若男女の誰もが目に行くちらしを作成してもらった。
2	2月21日 (水)	山本コミセンラウンドテーブル/山本出張所	2月2日(金)に山本小学校区まちづくり協議会の来年度の方針について話し合いに参加した際に、校区まちづくり協議会と地区福祉委員会の違いが役員の中で認識がされず議論にならなかったことから、「つどい」で「地域の複合組織の比較」という比較表を作成した。山本コミセンラウンドテーブルで、比較表を情報提供した。そのことで、南山本小学校区まちづくり協議会には資料提供を希望されたので50枚印刷して提供し、東山本小学校区まちづくり協議会の総会では主催者が自主的に印刷をして配布をされた。
3	2月23日 (金)	平成29年度第2回八尾・高美地区地域内施設連絡会 P8 [2.1.2. (1) 活動主体が必要としている情報等の提供]と兼ねている。	参加者(施設等)同士が顔見知りになるために、「つどい」がコーディネータ進行を担当した。各グループに分かれて、お互いの取り組みとして、活動自慢、お悩みなどを、自己紹介を含めて交流を図り、「いいな」と思ったことからフリートークでお話をしてもらった。最後に各グループの発表時に、気づいた点を「つどい」からコメントし、まとめとして「他人事も自分事だと意識することで各参加者・地域に興味を持ってもらいたい」と考え方・発想を提供した。

## 2.1.5. 活動主体による公益的活動の活性化に向けての取り組みの検討

### (1) 活動主体からの意見収集

つどいが行ってきた事業成果の確認及び業務評価と、新たな事業企画の材料とするため、平成 28 年度から「つどい」登録団体を対象にアンケート調査を実施し、意見収集を行って来た。

平成 28 年 8 月～11 月に実施した第 1 回センター「つどい」アンケート調査では、「つどい登録団体」が、最も多く協働をしている活動主体は「地域活動団体」であることがわかった。

本年度は、さらに詳しく協働状況を把握するため 4 月～7 月に第 2 回センター「つどい」アンケート調査を実施し、つどい登録団体の「活動の重点」「協働のきっかけ」「協働された活動内容」「協働したい活動ジャンル」「活動にあたって必要としている情報」「つどいに求める支援内容」について把握することが出来た。

「つどいに求める支援内容」の質問に対して、広報の支援内容の回答が多かったことから、広報面でのスキルアップ講座を開催した。調査結果を活かして、これまで出来なかった支援を行うことが出来た。

また、第 3 回アンケート調査を年度末から開始した（調査票を発送）。第 2 回アンケート調査で「協働された活動内容」の質問項目に回答した「つどい登録団体」を中心に、地域拠点施設で協働できる内容について把握した。（P.45「2.4.業務報告及び評価（マネジメントサイクル）」を参照）

次に P.1「2.1.1. (1) 活動主体による公益的活動に関する情報の収集」で触れた、地域拠点施設へのヒアリングについて、地域分権の推進を担う出張所等の現状や、出張所機能再編後の地域拠点の役割、地域で必要となる市民活動やテーマなどをお聞きし、「つどい」で提案できる内容（出張専門家相談会）やコーディネート（魚の泳ぐ大正川をつくる会のちらし作成等の支援）などにつなげることが出来た。

P.33「2.1.4. (1) 交流会の開催」で触れた、子育て支援井戸端会議では、子ども支援を行う団体や子育てに悩む方など、多様な立場の方の深い話を収集することが出来た。家庭内の問題や子育ての社会問題に直面する意見や情報を得る機会となった。

また 2 月 20 日（火）には、コミュニティスタッフ会議へ参加し、地域拠点施設や校区まちづくり協議会に対し、市民活動団体が地域の事業に対してどのように参加協力が出来るかなど、意見を収集することが出来た。（市民活動団体の具体的な取組内容をキーワード別にリスト化してもらうことによって、コミュニティスタッフから地域拠点施設や校区まちづくり協議会へ紹介がしやすいといったご意見をいただいた。）

### (2) 他都市における先進的な取組事例の収集・分析

今年度は、先進的な取組事例の収集・分析は直接行わなかったが、つどいスタッフ研修等として他都市での講座へ参加することで広報の取り組みなどに活用することが出来た。

また、委託元から大阪市鶴見区の地域活動支援センターでの地域活動のコーディネートについての情報提供をいただいた。

### (3) 公益的活動の活発化に向けての取り組みの検討

3 年ぶりに「やお市民活動春の祭典」を企画した（平成 30 年 4 月 16 日～20 日開催）。

今回は人材発掘の目的を加えて、展示・体験会の開催を通じて、市民活動を行っていない方とのつながりづくりを意識して企画をした。また、3月21日に出展申込済及び出展検討中の「つどい登録団体」に対し、出展者説明会を開催した。

また2月に、来年度12月に八尾市制70周年記念事業を委託元と「つどい」が共催で開催するにあたって、近畿大学 久隆浩教授を訪問し、公益的活動の活発化に向けてのアドバイスをいただいた。

八尾市市民ふれあい課主催の「ソーシャル・ビジネス支援関係機関意見交換会」に3月8日（木）に参加し、ソーシャルビジネスについて八尾市での実施状況や支援内容を関係機関で把握し・共有し、今後の支援方法や関係機関のネットワーク化について意見交換を行った。

## 2.2. 「つどい」の管理運営業務・組織体制・業務報告及び評価

### 2.2.1. 管理運営の時間帯等

下記の曜日・時間において、年間 256 日開館を行った。

#### ■ 開館日時

平日（水曜日から金曜日）：10 時～21 時

土曜日・日曜日・祝日：10 時～18 時

#### ■ 休館日

月曜日・火曜日

年末年始（12 月 29 日から翌年 1 月 3 日までの 6 日間）

市長が特に必要と認める日

※ 本年度は、暴風警報発令により 9 月 17 日（日）は午後以降閉館、8 月 23 日（木）は夜間休館を行った。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期 小計
開館日数	21	21	22	23	21	22	130

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期 小計	年間
開館日数	22	21	20	20	20	23	126	256

### 2.2.2. 管理運営業務の内容

#### (1) 登録団体の募集・登録・廃止及び登録団体との連絡業務

	平成 29 年 3 月末 登録団体 ①	新規 登録 ②	登録 廃止 ③	平成 30 年 3 月末 登録団体 ①+②-③
団体数	343	9	7	345

上表の通り、平成 30 年 3 月末で新たな団体登録が 9 件あった。

その内の 3 団体は、これまで「つどい」登録団体として活動されていた方が、別途活動目的を見出し、新たな団体として活動を始め登録された。またその他の 3 団体は、活動先に取材に行く中でつながりが生まれ、「つどい」の業務内容などをご理解いただけたことが登録の要因である。また、その他の 1 団体は「つどい」主催の「子育て支援井戸端会議」に参加したことがきっかけで登録につながった。

登録廃止は 7 件あった。これは、現在活動していない団体が、登録団体へのアンケート調査をきっかけに登録廃止の旨の届出をしたことによる。新規登録は前年度と同じ 9 団体、登録廃止は前年度より減少したことから、平成 29 年 3 月末より 2 団体増加し、現在登録団体は 345 件となった。（団体名・登録番号は、P.55 の資料を参照）

登録団体へアンケート調査を行うことで、登録団体の活動現状がわかり、登録廃止があ



ったが、取材や交流会を通じて新しいつながりが生まれ、想定以上に登録する団体を増やすことが出来た。

これは年度下半期より、新しい活動者・活動主体とつながることを意識したことや Facebook での情報提供が「つどい」の認知につながったことが起因であると考えられる。

登録団体のデータ管理については、一括管理できるように、データベースソフトである FILE MAKER を使った独自のデータベースで実施している。今年度は試験的に活用を開始し、登録団体の活動がわかる内容（ブログの取材記事・ニュースつどいの掲載記事）のデータ蓄積を開始・完了し、活用を開始した。

(2) メールボックスの利用団体の募集・受付・廃止及び貸出等の管理業務

年度	利用 団体数	備考
平成 16 年度	10	10 月「つどい」が開設
平成 17 年度	13	
平成 18 年度	14	
平成 19 年度	16	
平成 20 年度	17	
平成 21 年度	20	
平成 22 年度	43	
平成 23 年度	17	
平成 24 年度	38	登録団体情報を印字した各申請書類等の投函サービスを開始
平成 25 年度	44	
平成 26 年度	38	
平成 27 年度	44	
平成 28 年度	47	
平成 29 年度	52	

上表の通り、現在 52 団体（前年度 47 団体）が利用。開設以来過去最高の利用団体数となった。平成 24 年度以来、利用時に提出する各申請書類等に、登録団体情報を印字した用紙を投函するサービスが好評で利用数を維持している。主には館内を利用する登録団体が利用しており、団体で使用するちらしや資料の保管、連絡ノートのやりとりなどでも活用をされている。

本年度は平成 30 年 3 月にメールボックス利用登録について、登録団体にご案内を行った。毎年度受付業務を行い、年度末まで貸出を行っている。



印刷室にある印刷用紙保管引出

メールボックスに関連して、引き続き、八尾市の償却された備品を譲り受けて9団体分の印刷用紙を保管できる引出を2台設置している。メールボックス利用登録申請の際に、お声掛けを行い、A3用紙まで保管できる引出の貸出を継続して実施した。

### (3) 会議室及び備品の貸出等の管理・保守業務

#### ■ 会議室の貸出等の管理・保守業務

会議室は、2階に会議室（大）・会議室（中）の2室が、1階には「印刷室」、「相談室」があり、予約制により「つどい登録団体」「校区まちづくり協議会」を対象に貸出を行った。

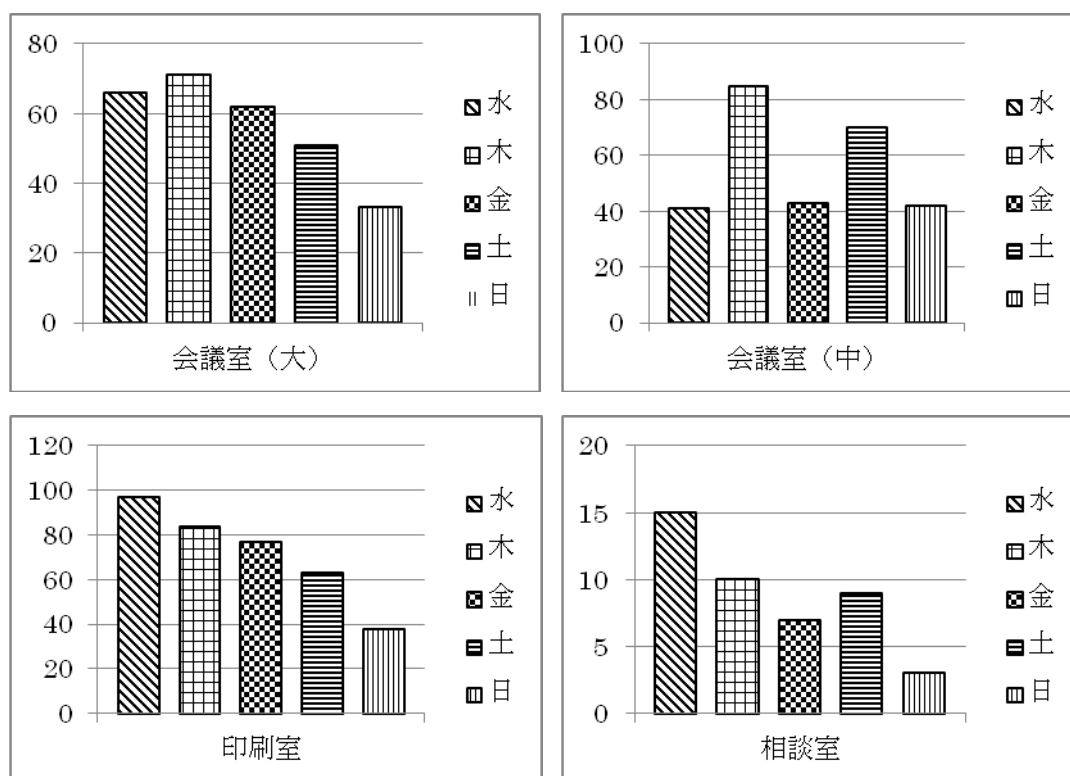


図 部屋利用状況（曜日別）

曜日別の利用状況を上図の通りにまとめた。

会議室（大）は平日利用が多く、土曜日は平日利用より若干利用数が落ちる。また日曜日は平日利用の約半分の件数であった。

会議室（中）は、木曜日が他の曜日より約2倍の利用があり、次に多いのが土曜日であった。土曜日・日曜日は開館時間が18時までで夜間利用がなく、平日よりも開館時間が短いなかでも、よく稼働していることがわかる。

印刷室は平日利用が多く、休日は若干利用数が落ちる。また日曜日は平日利用の約半分の件数であった。

相談室は水曜日、次いで木曜日・土曜日に相談や来館者の対応で利用する方が多かった。

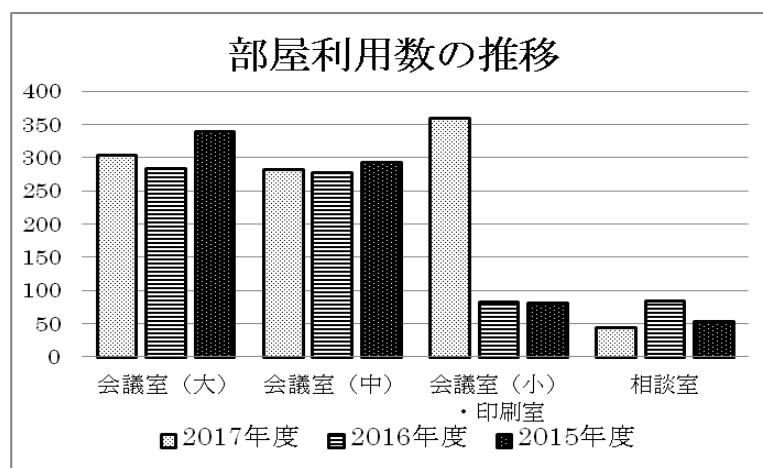
○ 会議室・印刷室使用団体数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度(大)	22	17	31	25	17	28	26	30	19	25	27	37	304
2016年度(大)	27	16	28	26	25	28	28	22	15	21	26	21	283
2015年度(大)	26	26	27	33	32	28	31	28	13	33	32	30	339
2017年度(中)	27	19	27	25	29	25	27	15	13	18	24	32	281
2016年度(中)	16	16	26	25	19	30	24	28	17	22	25	29	277
2015年度(中)	24	16	28	21	19	24	36	29	23	16	29	28	293
2017年度(印)	24	40	24	34	23	28	41	28	17	27	36	37	359
2016年度(印)	9	7	8	4	7	4	13	8	3	5	5	9	82
2015年度(小)	14	3	4	3	5	4	8	2	0	8	7	22	80

※2015年度までは、同室であったため、会議室（中）（小）の同時利用は、共にカウントを加えている。

○相談室利用団体数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度	7	5	4	2	3	2	2	0	3	10	4	2	44
2016年度	7	4	8	5	8	6	9	14	4	7	3	9	84
2015年度	5	3	2	6	6	6	2	3	8	3	4	5	53



上表から過去2年間と比較して、年間と月別の利用状況をまとめた。

会議室（大）は、前年度より件数が若干増加した。会議室（中）も同様である。印刷室は、平成29（2017）年度より1時間以下の利用時間でも設備利用があった時点で印刷室利用のカウントを取り始めたため、件数が大幅に増えた。相談室は、カウンター・電話・現地での相談が増えているためか、利用件数は減少した。

なお、作業スペースは、数年前から印刷室と統合となり、印刷機などの設備利用と集計が同じになることから、実態把握の指標になりにくいため、今年度より作業スペースの集計を廃止した。



会議室（大）



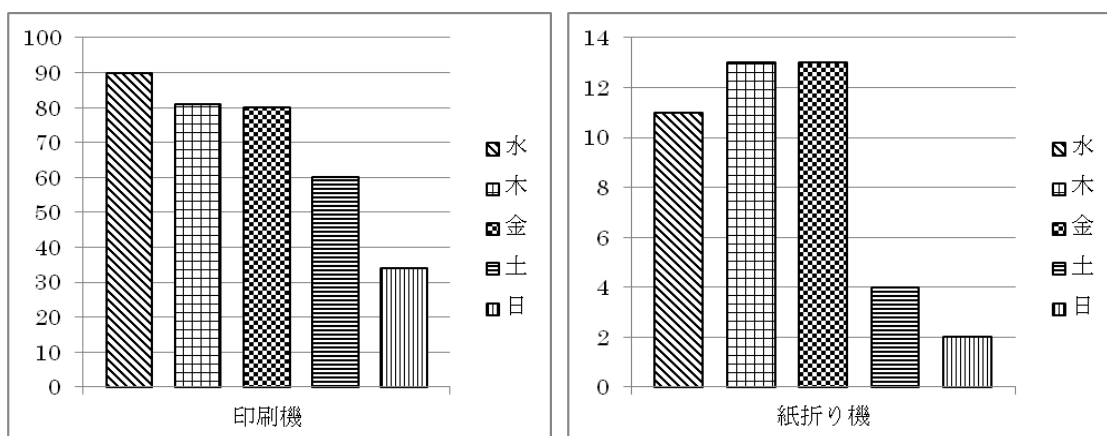
会議室（中）



印刷室

### ■ 備品の貸出等の管理・保守業務

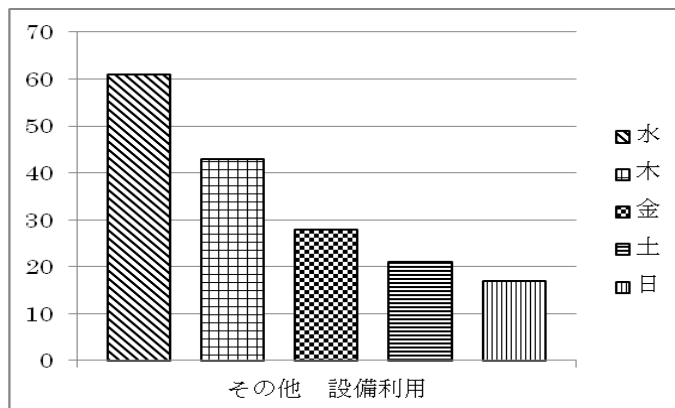
設備利用として予約制により「つどい登録団体」「校区まちづくり協議会」を対象に印刷機・紙折り機やその他設備（裁断機・ラミネーター・コピー機・パソコン）を貸出している。



上図より印刷機は平日利用が多く、一方で日曜日は平日利用の半分以下の件数であった。これは会議室（大）の利用状況と傾向が似ている。紙折り機は平日利用が多く、休日の利用が少なかった。

なお印刷機の利用件数は、本年度（平成 29 年度）は 345 件であった。平成 26 年度の 508 件に比べ 32%利用件数が減少、平成 27 年度の 468 件に比べ 26%利用件数が減少している。平成 28 年度の 393 件に比べ 12.2%利用件数が減少している。

これはちらしデータを作成し、インターネットでデータを入稿すると安価でカラー印刷が出来ることがプリントパックなどが普及したことが原因かと考えられる。



「その他 設備利用」とは、裁断機・ラミネーター・コピー機・パソコンの利用を集計し合計した件数である。上図の通り水曜日の利用が多かった。一方で日曜日は、水曜日の約1/3の利用件数であった。

○ 印刷機利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度	23	37	25	32	23	29	41	30	17	24	30	34	345
2016年度	33	39	40	30	30	31	49	30	28	25	24	34	393
2015年度	49	46	41	47	31	32	47	30	32	35	34	44	468
2014年度	45	47	50	48	29	50	46	43	30	33	39	48	508

○ 紙折り機利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度	6	9	2	4	3	5	1	4	2	2	0	5	43
2016年度	7	6	6	4	6	5	6	7	2	2	3	5	59
2015年度	13	12	5	7	5	7	8	5	11	6	4	11	94

○ その他利用状況（裁断機・ラミネーター・コピー機・パソコン）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度	18	22	14	14	5	11	15	17	9	13	20	12	170
2016年度	26	27	31	18	16	29	20	21	17	22	27	21	275
2015年度	29	21	20	33	15	27	30	19	12	24	29	21	280



印刷機



紙折り機



裁断機 (左)・ラミネーター (右)

#### (4) 印刷機・コピー機使用料の徴収・提出業務

印刷機の使用料徴収は、印刷機利用時に徴収し、利用団体に対し、金額計算書を発行した。また、事務の取扱いの見直しにより、7月より実施内容を変更した。水曜日・木曜日は各日の翌日に、金曜日から日曜日は翌週の水曜日に、印刷機の使用料と金額計算書（控）を委託元に提出した。

なお、印刷使用料現金出納帳については、これまで通り、月初に前月1ヶ月分をまとめたものを委託元に提出した。

#### (5) 各団体の掲示物・郵便物の受付・掲示業務

つどい登録団体の活動をわかりやすく情報発信し、必要な情報を必要な方に情報提供するために、また、多様な世代がセンター「つどい」に来館し、市民活動の理解を深めるため、引き続き下記の取組みを行った。

- ・ センター「つどい」玄関前に、活動スケジュール表（直近1週間分）を掲示
- ・ センター「つどい」1階外壁に八尾市関連・各登録団体のイベントポスターを掲示（ボードをA1サイズのポスターまで取り付けられるように新調した）。また河内音頭発祥の地の特大ポスターや、掲示板にモニターを設置し、市民活動団体を動画で見ることができるようにした。
- ・ 館内1階にイラストの展示や子ども達へ塗り絵の用紙を配布。塗った塗り絵の展示を実施。



1階外壁の屋外掲示板



館内1階の屋内掲示板



活動スケジュール表



館内1階のモニター設置

郵便物や登録団体のちらし・ポスター等の持込みを709件（平成28年度は765件）受付した。平成28年度に比べ約17%減になったが、行事案内等の情報が集まった。

#### (6) 「つどい」の備品の管理業務

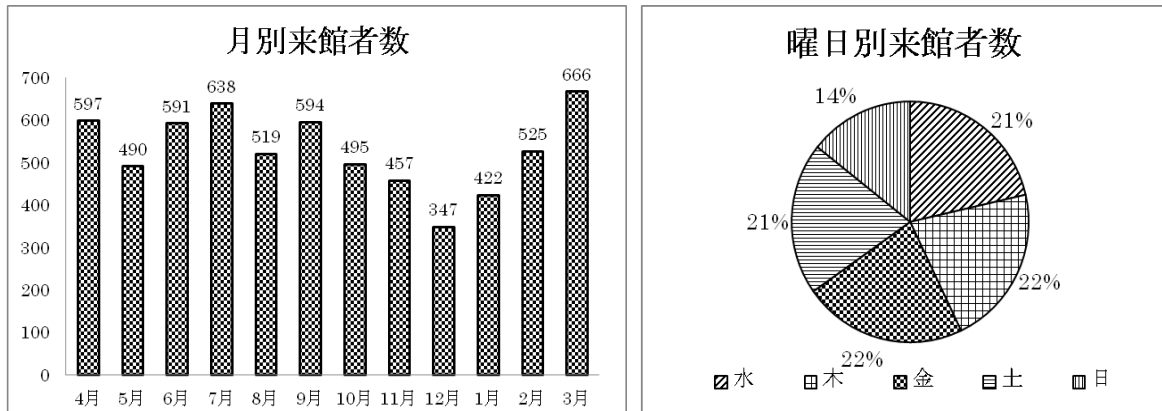
##### ■ 設備機能

空調の冷房・暖房の効きが悪かったため、1月に八尾市総務課にお願いして、空調を修理（ガス充填作業）いただいた。

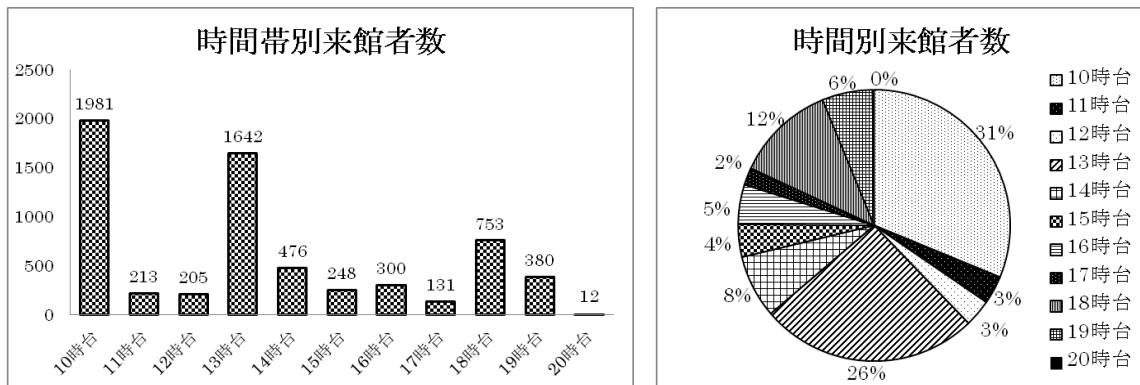
(7) その他、「つどい」の管理運営に付随する業務

■ 来館者数

来館者は、問合せ・相談等で来られた市民も含め、部屋利用や設備利用で来館される利用団体、センター「つどい」の催しで来館される方など老若男女問わず集計を行っている。



上図の通り、月別では、12月が300人台と最も少なかったが、それ以外の月は400人台から600人台であった。中でも、特に4・7・9・3月が来館者は多かった。理由として、年度初めや長期休暇前に何かはじめようと思いつ方が多いのではないかと考えられる。曜日別では平日および土曜日の来館者数が全体の21%~22%で差はなかった。日曜日の来館者数が全体の14%と比較的少ない要因として、会議室・印刷室など全体的に日曜日に利用される方が少なかったことが挙げられる。



上図の通り、時間帯別は10時台、13時台、18時台の順番で多く、例年通りの結果となった。

下表の通り、来館者が平成29(2017)年度と過去2年間を比べて少なくなったのは、小学生が下校途中で来館することが難しくなったことが、ひとつの要因だと考えられる。

○ 来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度	597	490	591	638	519	594	495	457	347	422	525	666	6341
2016年度	666	560	736	733	604	729	639	547	408	538	618	584	7362
2015年度	675	516	574	589	566	589	763	524	482	635	696	657	7266

## 2.3. 組織体制

中間支援センターとしての業務の企画・実施・評価及び「つどい」の管理・運営に支障のない組織体制を整えた。

勤務体制は、シフトを組み2名体制で常駐した。

### ■ 業務責任者

新福泰雅

### ■ 業務担当者

- ・ 管理担当：村上てるみ・大西正寛（7月から）・西田裕・新福泰雅
  - ・ 事業担当：鞠川美代子・田口洵平（12月まで）・江口佑人（4月まで）・西田裕・新福泰雅
  - ・ 連携担当：鞠川美代子・鄭重成・西田裕・新福泰雅
- ※ 理事長 西田裕は、全体の監督も兼ねる

### ■ ボランティア

- ・ 管理担当：大西正寛（6月まで）
- ・ 事業担当：岡田有加（3月まで）・大内涼加（5月から）・山崎史織（9月から）・古江晃也氏（12月から3月まで）
- ・ 管理&事業担当：武谷宗
- ・ ニュースつどい発送ボランティア（4名）：  
北野兼史氏・下重登志子氏・野瀬潤子氏・玉置永子氏

## 2.4. 業務報告及び評価（マネジメントサイクル）

本年度は、5ヶ年度の委託契約の2年度目であり、委託元の協力により、年間予定をスタッフと含めて検討し予定を組み、昨年度に引き続き、各種事業が実施出来た。

本年度より、ボランティアを含むスタッフが、つどいに詰めた際の業務内容を作業記録表にまとめ、委託元に提出し、業務状況の“見える化”が出来るようになった。

委託元に業務の進捗状況を四半期ごとに報告し、年度途中からは委託元によるヒアリング形式で報告を行った。

情報整理として、紙媒体の「文書保存年限」については、平成23（2011）年度に委託元と協議し実施しているが、以後、新しい紙媒体については保存年限を定めていなかった。重要文書を除き3ヶ月～1年間の保存を原則として適用し、不要な紙媒体を処分した。

アンケートの実施は、P35「2.1.5. (1) 活動主体からの意見収集」の業務も兼ねて実施。昨年度末に第2回アンケートを実施し、協働内容の把握を中心に情報収集を行うことが出来た。第2回アンケート調査の回答結果を8月にまとめ、9月に「つどい登録団体」に回答結果を送付した。また地域拠点施設に聞き取りを行う際に、このアンケート調査結果の情報提供を行った。第3回アンケート調査も年度末までに発送を終えることが出来た（地域拠点施設で協働できる内容を調査実施）。



### 3.成果と課題・方向性

#### ● 情報提供に力を入れた 1 年：情報発信ツール・スキルアップ講座・PR・相談対応等

「情報発信から情報提供へ」を近年のつどい業務の変化のメインとしてきたが、今年度は具体的に業務として出来た。また、委託元にも趣旨をご理解いただき、委託元を通じて「情報提供によるつどいの変化」として、情報提供での活動の活性化について、「平成 29 年度 第 3 回 校区まちづくり協議会 連絡会」で発表やコーディネートを行うことが出来た。以下にまとめる。

- ・ これまでの印刷物でのちらしやホームページ・ブログといった従来の情報発信ツールでは一方的な発信であったが、ツイッター・Facebook 等の SNS を活用した情報発信を行ったことで、必要とする方からの反応がわかり、SNS 上でのやりとりも出来ることから、スキルアップ講座として「チラシづくりワークショップ」や「パンフレットづくりワークショップ」の参加者増につながった。新しい情報発信ツールを活用し、ニーズがある企画を提案したことで、参加者に広報のスキルアップとして提供することが出来た。
- ・ 委託元を通じて、「校区まちづくり協議会連絡会」にて、校区まちづくり協議会の皆さんに対し、「情報提供によるつどいの変化」と題して発表を行った。発表の中で、SNS の活用や新しい人材と業務を行うことで、新しい取り組みに着手したり、新しく活動主体ともつながることが出来、結果として「つどい」自体が活性化したことを説明した。また、発表後には、つどいの変化を受けて、校区まちづくり協議会も SNS 等を取り入れたり、悩み事等あれば、いつでもつどいにお問合せいただきたいことをお伝えした。
- ・ 相談業務では、データベースより、つどい登録団体の基本情報（登録情報）や過去の「つどいブログ」や「ニュースつどい」の記事データをプリントアウトして提供することが出来、相談者が具体的な活動がイメージできるような情報提供が出来た。

#### ● 新しいコーディネート先（地域内施設連絡会・校区まちづくり協議会連絡会）

- ・ つどいが「八尾小・高美小地域内施設連絡会」にてワークショップを行い、進行役を担当したことで、校区まちづくり協議会や地域内施設が、互いに顔見知りの関係を構築するための手助けが出来た。ワークショップの進め方については、取材で「やおキラ交流会」へ参加した際に情報収集をしたことで、コーディネート業務で活かすことができた。
- ・ 校区まちづくり協議会連絡会での発表が、山本出張所管内の 7 小学校区の校区まちづくり協議会の連絡会を開催することにつながった。

#### ● 情報発信業務の体系化・位置付けを整理

- ・ 「開催ちらし（印刷物）」「ニュースつどい」「つどいブログ」「メールマガジン」「フェイスブック」「ツイッター」などの各種情報発信ツールの活用目的や情報発信先のターゲットなどを体系化し、整理することが出来た。また体系化を行う際に、「ニュースつどい」のあり方（発行の意義や対象者等）を引き続き検討した。各種情報発信ツールの体系化・位置付けたこともあり、パンフレット作成の内容にも活かすことが出来た。
- ・ 「ニュースつどい」にちらし等を挟み込みする「広報支援」は、「ニュースつどい」とは別に挟み込むツールを作る。挟み込むツールについては、「パンフレット」づくりでのアイディアの中でパンフレットの紙面の都合により、掲載出来ない内容を中心

に市民活動の始め方など新しく市民活動を始めたいと意欲が湧く内容の記事を掲載する予定である。

- ・ これまでの幅広い情報発信をはじめ、新たにターゲットを絞った情報提供を行うことで、スキルアップ講座の開催の様に、「つどい」が広報のスキルアップを求める対象者に必要な情報を提供することが出来た。今後は、他にも情報提供を行う内容を考えることが必要であり、多様な情報提供を産み出すことで、さらなる信頼関係や協力関係を構築して行きたい。

## ● 人が喜ぶことが自分の喜びと思う人材を探す：マネジメントを司るスタッフの確保

- ・ フルタイムで出勤するスタッフが「つどい業務責任者」1名だけであることに加え、マネジメント担当（管理担当）のスタッフが居るが、マネジメントを行うスキルが不足している。今後は、組織基盤を強化する側として、中間支援業務を行う素質のある人材を確保する必要がある。

## ● 「みんなの孫の手」「気づきや市民活動の入口を提供」「心をひとつに」を合言葉に業務を推進

- ・ 今後「つどい」が、みんなの孫の手として、活動主体の手が届かない部分のサポートを行う施設であることを、業務を行う中で色々な方に周知をして行きたい。
- ・ 相談業務などの中で、活動主体が認識していない運営や活動の問題点について、スキルアップの手法や運営のあり方、活動の目的やアイデアなどへの気づきを提供して行きたい。
- ・ 本年度は、「魚の泳ぐ大正川をつくる会」仲間募集のチラシと、下水道接続の勸奨活動のチラシ作りを行うため、地域活動団体に市民活動団体を紹介し、広報をテーマとした協働が生まれた。このように、地域活動団体と市民活動団体が企画から一緒に事業を行ったり、単なるイベント参加ではなく、地域活動の中に直に市民活動団体が入り込むという協働方法は、今までには見受けられなかった事例である。
- ・ 協働については、これまで「福祉」「文化」「環境」「子どもの健全育成」といった同じ活動分野の団体同士で行うものだと考えていたが、今後は「広報活動」という切り口など、違う視点から協働が生まれるようにコーディネートを行って行きたい。
- ・ 協働が生まれるには、大きく2つあり、一つは活動主体同士が同じ考えや価値観に共感し合い、共に活動する協働。もう一つは考えや価値観の方向性が違う活動主体同士が、お互いを理解しながら寄り添い活動をする協働である。私達「つどい」は、協働を始める環境づくりとして、各活動主体の考え方や価値観といった基底の共通認識が生まれる場や機会を創ることが役割である。さらに行事へのパフォーマンス参加以外の協働を提案するなど新しい成果を生み出したい。その役割をPRし、また新しい成果をめざすために、キャッチフレーズとして「心ひとつに」を合言葉に、さらに推進をして行きたい。

## 第2回センター「つどい」アンケート 結果

＝ご回答いただいた131のつどい登録団体の皆様、ありがとうございました！＝

八尾市市民活動支援ネットワークセンター「つどい」

## 【調査目的】

- ・ 第1回アンケート調査で「つどい登録団体」が一番多く協働をしている活動主体が「地域活動団体」であることが分かったため、「つどい登録団体」の活動の重点を把握し、「つどい登録団体」の協働の実施状況(現状)を把握する。
- ・ また「つどい登録団体」が今後協働を行っていききたい活動ジャンルの把握や、活動にあたり求めている情報や「つどい」に求めている支援内容を把握する。

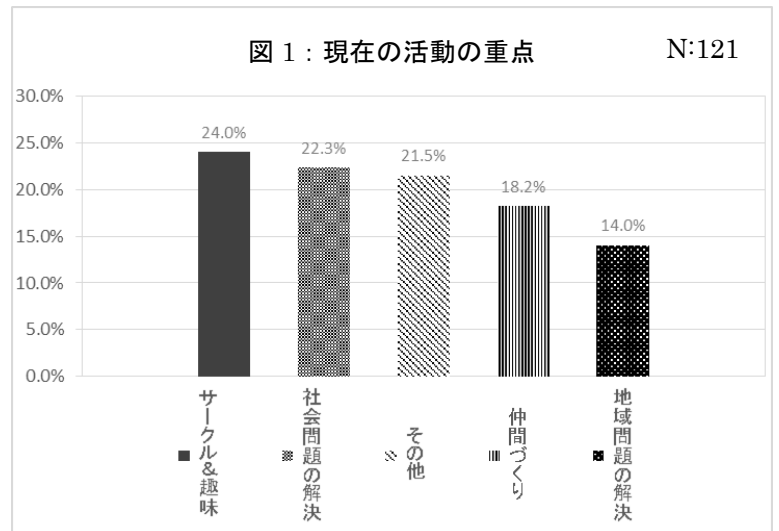
## 【調査概要】

- ・ 調査期間：平成29年4月～7月
- ・ 調査方法：①「ニュースつどい4月号」の発送時に調査票を同封。②Googleフォームを利用しE-mailで発信。
- ・ 回収方法：来館・郵便・FAX・Googleフォームでアンケート用紙を回収。
- ・ 調査対象：つどい登録団体(343団体)①
- ・ 回答団体：131団体②
- ・ 回答率：38.2%(上記②/①)

## 【調査結果(1部)】

## 質問① 現在、何に活動の重点をおいていますか？【図1】

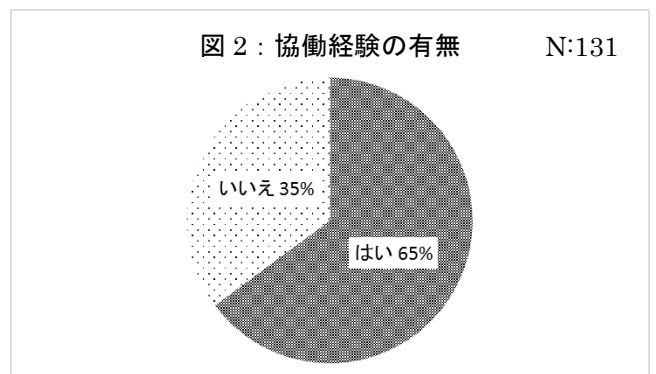
- ・ 最も多かった回答は24.0%で「サークル&趣味」、次いで22.3%で「社会問題の解決」、「その他」「仲間づくり」「地域問題の解決」の順で回答が多かった。
- ・ 「その他」回答の記述内容は、環境・自然保護活動、子育て支援、防災、高齢者や障がい者など福祉関係、ロボット教室及び産業育成等があり、社会問題や地域問題の解決に当てはまるような記述内容が多く見受けられた。



## 質問② 各種活動主体と協働した事がありますか？

## 【図2】

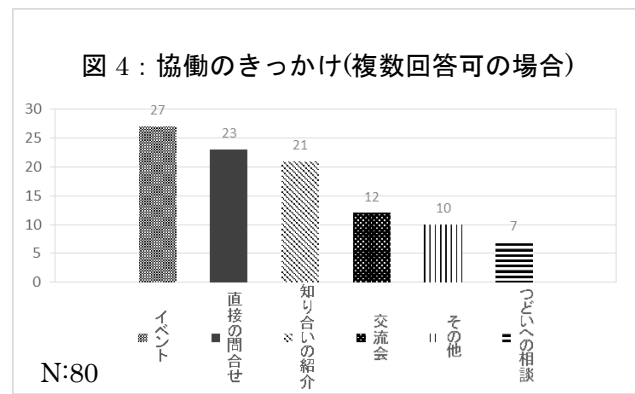
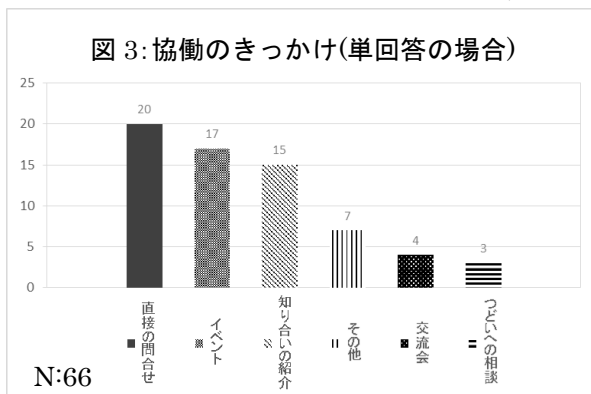
- ・ 回答のあった131団体中、65%(85団体)が各種活動主体との協働経験があり、35%(46団体)は協働経験がなかった。



★協働経験がある団体を対象に質問を行った回答結果★

質問②-Iア 各種活動主体と協働したきっかけを教えてください。【図3・図4】

- ・ 無回答や複数回答など誤回答を除いた、単回答のみを集計した場合、「直接の問合せ」が20団体と最も多く、次いで「イベント」が17団体、「知り合いの紹介」「その他」「交流会」「つどいへの相談」の順で回答が多かった（図3）。
- ・ 複数回答も含めて集計をした場合、単回答の場合と異なり、「イベント」が27団体と最も回答が多く、次いで「直接の問合せ」が23団体、「知り合いの紹介」が21団体と続き、「交流会」「その他」「つどいへの相談」の順で回答が多かった（図4）。
- ・ 「その他」回答の記述内容として、かがやきの活動を通じて知った、地域からの声かけ、元友人、サポートやお、つどいの依頼で、等の記述があった。

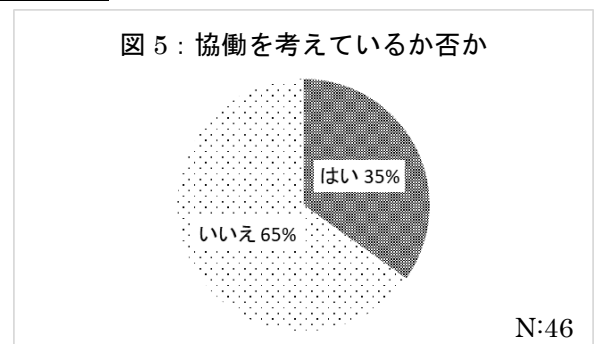


※ 質問②-Iイ 協働された活動内容の回答内容(記述)は6頁参照。

★協働経験がない団体を対象に質問を行った回答結果★

質問②-IIア 各種活動主体との協働は考えていますか？【図5】

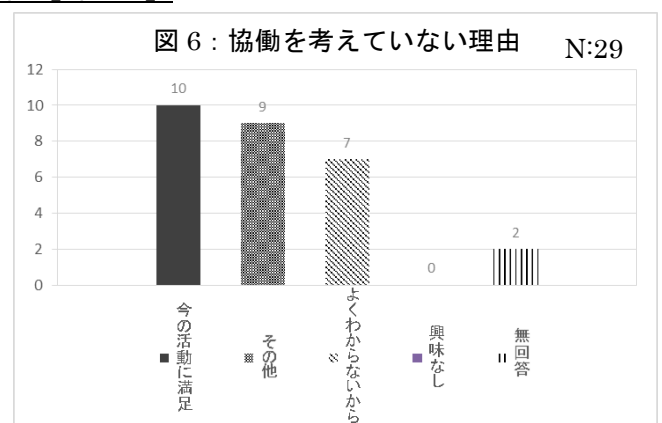
- ・ 質問②において、協働経験がないと答えた46団体中、協働を考えている団体は35%(15団体)であり、協働を考えていない団体は65%(28団体)であった。



★協働経験がなく、協働を考えていない団体を対象に質問を行った回答結果★

質問②-IIア 各種活動主体との協働を考えていない理由【図6】

- ・ 質問②において、協働経験がなく協働は考えていないと答えた28団体中、その理由を「今の活動に満足」と答えた団体が10団体と最も多く、次いで、「その他」が9団体、「よくわからないから」が7団体と続いた。
- ・ 「その他」回答の記述内容として、団体内に反対意見があるため、団体の趣旨に協働がふさわしくないため、メンバーの年齢が高いた

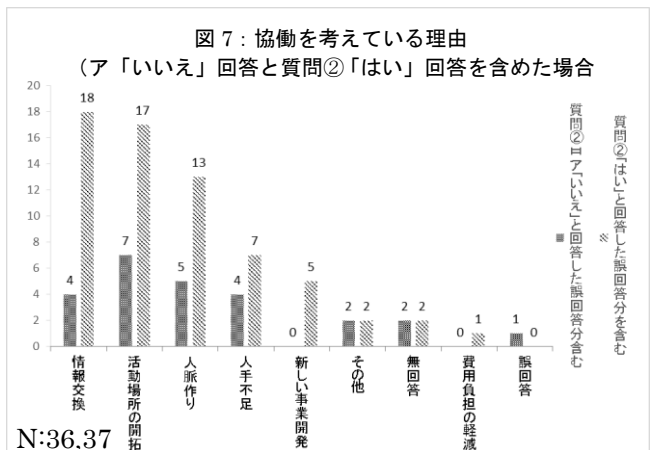
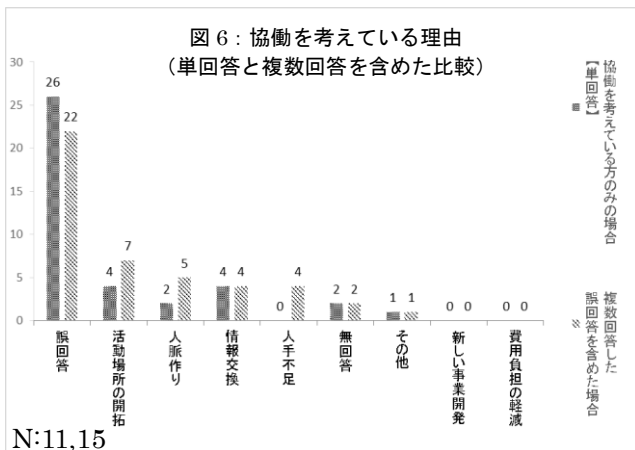


め、今の活動で手一杯のため、どう協働するのか分からないため、必要性を感じないため等の記述があった。

★協働経験がなく、協働を考えている団体を対象に質問を行った回答結果★

質問②-Ⅱア-1 協働を考えている理由を教えてください【図6・7】

- ・ 協働経験はないが、協働することを考えている 15 団体うち、単回答のみを集計した場合は、「活動場所の開拓」と「情報交換」が 4 団体と最も多く、次いで「人脈作り」が 2 団体と多かった（図 6）。
- ・ 同じく、15 団体のうち、複数回答も含めて集計した場合は、「活動場所の開拓」が 7 回答と最も多く、次いで「人脈作り」が 5 回答、「情報交換」と「人手不足」が 4 回答と続いた（図 6）。
- ・ 質問②-Ⅱアで「いいえ」と答えた、協働を考えていない団体の回答も含めて集計した場合は、「活動場所の開拓」が 7 団体と最も多く、次いで「人脈作り」が 5 団体、「情報交換」と「人手不足」が 4 団体と続いた（図 7）。
- ・ 質問②で「はい」と答えた、協働をしたことがある団体の回答も含めて集計した場合は、「情報交換」が 18 団体と最も多く、次いで「活動場所の開拓」が 17 団体、「人脈作り」「人手不足」「新しい事業の開発」「費用負担の軽減」の順で回答が多かった（図 7）。

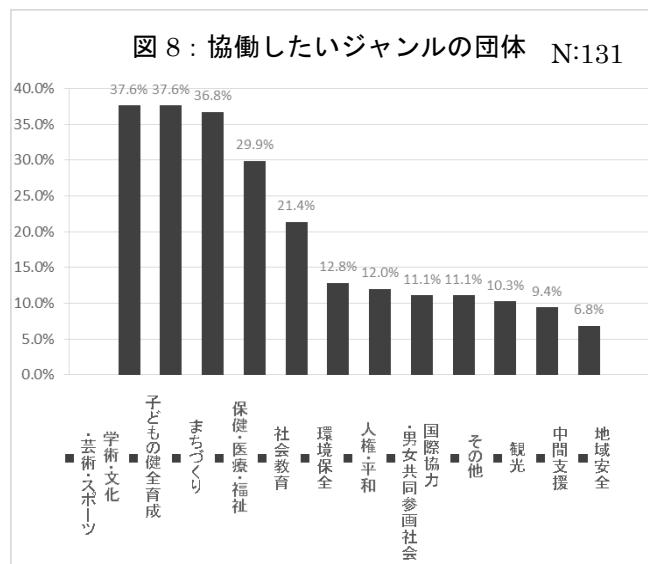


※ 質問②-Ⅱア-2 協働する際に提供できる回答内容(記述)については 5 頁を参照。

質問③ 協働したいジャンルの団体 (複数回答可)【図 8・図 9】

- ・ アンケート回答のあった 131 団体中、協働したいジャンルの団体は、「学術・文化・芸術・スポーツ」と「子どもの健全育成」が 37.6%と最も多く、次いで「まちづくり」が 36.8%、「保健・医療・福祉」が 29.9%と続いた（図 8）。
- ・ 質問①で答えた活動の重点別で、協働したいジャンルの回答結果を比較すると、下記の特徴があった（図 9）。

イ) 「社会問題の解決」に活動の重点を置く 27 団体



「保健・医療・福祉」の回答が 11 団体と最も多く、次いで「子どもの健全育成」が 10 団体、「社会教育」と「まちづくり」が 9 団体と続いた。また「人権・平和」と回答した団体は、「社会問題の解決」に活動の重点を置く団体が一番多い結果であった。

ロ) 「地域問題の解決」に活動の重点を置く 17 団体

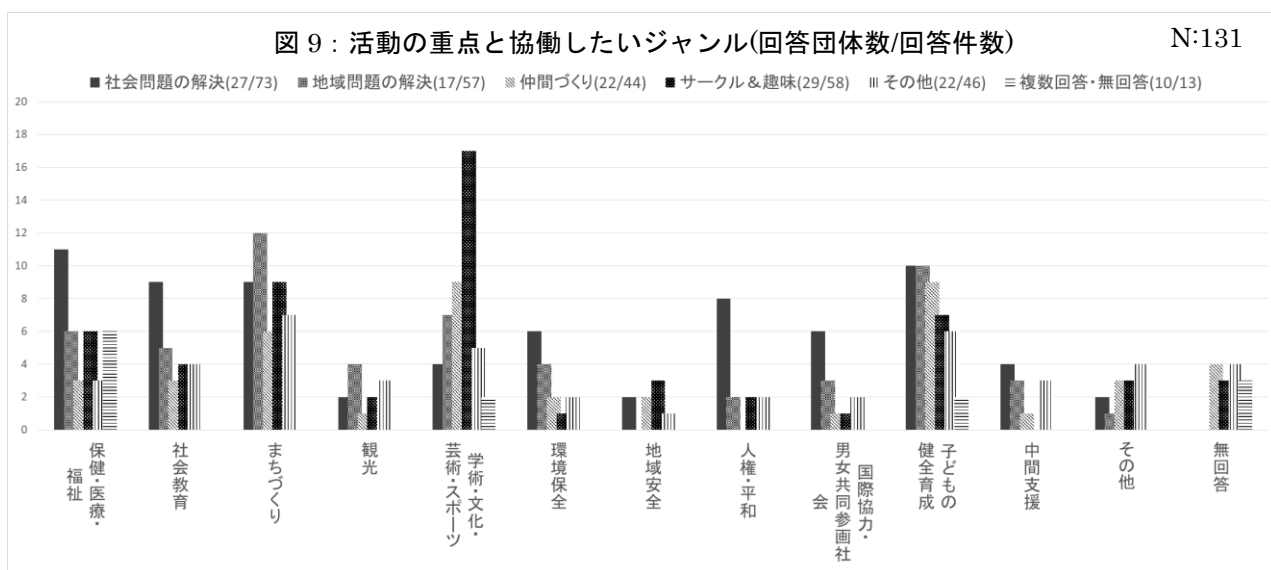
「まちづくり」の回答が 12 団体と最も多く、次いで「子どもの健全育成」が 10 団体と、過半数の回答団体が上記の 2 つのジャンルのどちらかに回答した。「地域安全」の回答はなかった。

ハ) 「仲間づくり」に活動の重点を置く 22 団体

「学術・文化・芸術・スポーツ」と「子どもの健全育成」の回答がそれぞれ 9 団体と最も多く、過半数の回答団体が上記 2 つのジャンルのどちらかに回答した。次に「まちづくり」の回答が 6 団体あったが、それ以外の選択肢の回答数は 4 団体以下であった。「人権平和」の回答はなかった。

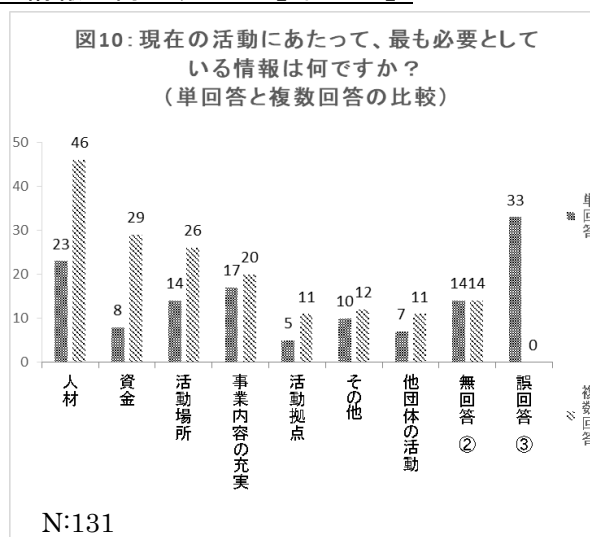
ニ) 「サークル&趣味」に活動の重点を置く 29 団体

「学術・文化・芸術・スポーツ」の回答が 17 団体と最も多く、過半数の回答団体が選択した。次いで「まちづくり」が 9 団体、「子どもの健全育成」が 7 団体と続いた。「中間支援」の回答はなかった。



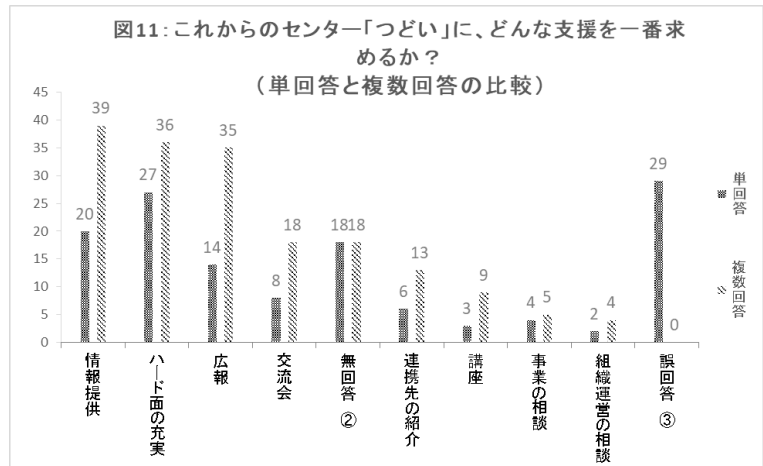
質問④ 現在の活動にあたって、最も必要としている情報は何か？【 図 10 】

- ・ 単回答の場合に最も多いのは「人材」で 23 団体。次に「事業内容の充実」が 17 団体、「活動場所」が 14 団体となった。
- ・ 複数回答も含めて集計した場合は、「人材」が 46 回答と最も多く、次に「資金」、「活動場所」と続いた。



**質問⑤ これからのセンター「つどい」に、どんな支援を一番求めていますか？【 図 11 】**

- ・ 単回答の場合は、「ハード面の充実」が27団体と最も多かった。次に、「情報提供」が20団体、そして「広報」が14団体となった。
- ・ 複数回答も含めて集計した場合は、「情報提供」が39回答と最も多く、次に「ハード面の充実」、「広報」と続いた。
- ・ 単回答及び複数回答のどちらも「交流会」「連携先の紹介」「講座」などの回答が少ない結果となった。



**質問③-Ⅱア-2 協働する際に提供できる内容 記述一覧（協働経験がない団体）**

- ・ 河内音頭健康体操、河内音頭
- ・ 特になし
- ・ ジャズ演奏
- ・ 命の授業・出産・育児に関する知識の提供、模擬体験
- ・ 河内音頭江州音頭泉州音頭伊勢音頭の踊り
- ・ 介護、福祉に関する勉強会、啓発
- ・ 作品展会場の設営、運営
- ・ 児童作品展、いけばな展
- ・ 地域歴史の公演活動
- ・ 居合道演式
- ・ 労務提供
- ・ 食・菜園・お花サークル

## 質問②- I イ協働したきっかけ別 協働内容 記述一覧

知り合いの紹介	直接の問い合わせ
高安能の公演(横浜にて)で屏風を提供、NPO やお文化協会と河内名所図会制作、「八尾の史跡」の中の各項目の絵制作、しおんじやま古墳を描き展示	地域のまつりでエコわたがしやアロマキャンドル体験、中環の森、菜の花栽培や収穫体験、黒谷畑でエコわたがし菜の花栽培収穫体験、学校での環境体験活動
八尾市の紹介、観光案内	行政による不当と思われる行為
「登校拒否を克服する会」等での団演奏	公演の際に①もめんの会様に保育をしていただいた
放課後児童デイでのワークショップ、PTA でのワークショップ、平町区役所とのイベント	②つどい様に講演会の運営に協力して頂いた
押し花の体験会	福祉マップの作成協力
その団体主催の文化祭に出展し絵画展示をした。	共に山歩きをした
地域団体との協働	成法中学校(八坂小学校、安甲小学校)で目玉教室イベント
各種団体との協働	地域触れ合い喫茶・イベントでフランダンスを披露
“地域活動団体とフリーマーケットイベントと一緒に活動協働の出来る場所の提供”	紙芝居講座
えんがわでの法律相談会	展示用めだかの貸出
協働で学習会の開催	各小学校への視覚障害者の啓発、すべての障害者と一緒になって災害設営支援の講習会を地域で開催
つどいの相談	交通安全啓発活動
マジックとリトミックの団体とのコラボレーション	沖縄の福祉について意見交換
【活動団体同士をつなげ・紹介】地域活動団体等各種活動主体からの依頼・相談により、市民活動団体を出展やパフォーマンス発表などを紹介。	すまいのミュージアム(天六)と協力して 2017 年 4 月町家再現大阪暮らし今昔館館長谷直樹氏に大阪の住まいの歴史を学びました。
交流会	八尾観光ボランティアガイドの会、社会福祉団体(市内外)、教員組合など
地域のまつりでダンス(社交ダンス=簡単ステップ)を踊りたい。みんなで。	中小企業のお悩み支援(販路開拓など)協力支援
イベント	市長・教育庁への表敬訪問。学校訪問。
プリズム H でのイベント年 2 回、講習会年 12 回、社協からの依頼で施設慰問	環境フェスティバルやお
八尾市育協子どもフェスティバル出演環境フェスティバル出演、その他	認知症サポーター養成講座、認知症講座の開催でサポーターの養成(夜間や休日に養成講座を受けてもらえるよう活動している)を行っている。認知症サポーターが活動できることを共有し助言支援している。地域での認知症カフェの開催のお手伝いや広報支援をしている。
志紀出張所における健康まつりにて。それぞれが活動を活かして参加	専門職集団でもあるため、専門職として求められる場や活動できる場面があれば活動していきたい
イベント会場作りの協働	元々は、地域包括支援センターの有志で、日々の業務の中で不足していることを自分たちの力で提供していきたいという思いを持った仲間の集団ですので地域で不足していることはたくさんあります。認知症サポーターの活動支援、認知症カフェや地域の方の振り所の場所づくり、など実際にやっていきたいし広報支援していきたいと思っています。
河内音頭の祭りのパレード参加	健康づくりや人づくり、地域づくりをしていくために市民活動団体として何が必要で何ができるのか情報交換しながらやっていきたいと思っています。
自然環境、自然保護、障がい者登山(ボランティア)指導。	今年度は、包括集団ではなく専門職集団として枠を広げて思いのある方を集めて活動していく予定です
野球大会・少年野球教室	地活動祭でダンスパフォーマンスやMCで盛り上げ、クリーン活動など
「みんなの学校」上映会、アートやっちゃお等…多種多様に協力	活動場所が有り
アートやっちゃお、販売店参加	コミセン、集会所
柏原ビエンナーレ、踊りと Jpop で参加	広く中小企業経営者との出会いの場が活用できた。
地域でのタロット占い	新たな活動の場所が広がった。
JA 中河内農協祭のイベント参加でダンスを踊る(キッズダンス)	
柏原市非情通信協力隊との協同訓練、八尾市総合防災訓練への参加。	
地域の防災ベンチづくりへの協力	
文化芸術芸能祭、フェスタ―輝き、パフォーマンス出演	
地域活動団体と一緒に啓発活動	
その他	その他
協力団体として講演などの開催	ディサービスへの折り紙、河内音頭
地域団体と一緒にいろんな遊びを通じて子供とのふれあい(礼儀礼節を感じてもらう)放課後子ども教室等での工作、各種遊び	手作り市でのお話会(絵本の読み聞かせ)
環境フェスティバルや市民環境講座、森林整備など環境アニメイテッド八尾の活動そのもの	フォークダンスの披露と指導と一緒に踊る
	地域のイベント、祭りでの活動紹介・写真の展示



# ～ センター「つどい」アンケート vol.2 〔資料①〕 ～

今後の市民活動へのさらなる支援向上のため下記のアンケートにご協力よろしくお願い致します。

**- 5月10日（水）までに来館・郵便・FAX等で必ずご返信ください -**

登録団体名		代表者名		回答者名	
TEL		E-mail			

**① 現在、何に活動の重点をおいていますか（主なものを1つだけお選びください）。**

[社会問題の解決・地域問題の解決・仲間づくり・サークル&趣味・その他（ ）]  
（社会貢献） （地域貢献）

**② 各種活動主体（市民活動団体・地域活動団体・事業所等）と協働した事がありますか？**

[ はい ・ いいえ ]

**I：「はい」とお選び頂いた方にご質問です。**

**ア：各種活動主体と協働したきっかけを教えてください。**

[知り合いの紹介・直接の問合せ・つどいへの相談・交流会・イベント・その他（ ）]

**イ：協働された活動内容を教えてください（※ 裏面参照）。**

[ \_\_\_\_\_ ]

**II：「いいえ」とお選び頂いた方にご質問です。**

**ア：各種活動主体との協働は考えていますか？**

[ はい ・ いいえ ]

↓  
 「いいえ」を選ばれた理由：[今の活動に満足・興味なし・よくわからないから・  
 その他（ ）]

**ア-1：「はい」とお選び頂いた理由を教えてください。**

[新しい事業開発・人脈作り・情報交換・人手不足・活動場所の開拓・  
 費用負担の軽減（物品の共有も含む）・その他（ ）]

**ア-2：協働する際には具体的にどのようなものが提供できますか（※ 裏面参照）。**

[ \_\_\_\_\_ ]

**③ 協働したいジャンルの団体に○を付けて下さい（複数回答可）。**

[保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、観光、学術・文化・芸術・スポーツ、環境保全、地域安全、  
 人権・平和、国際協力・男女共同参画社会、子どもの健全育成、中間支援、その他（ ）]

**④ 現在の活動にあたって、最も必要としている情報はなんですか？**

[人材・資金・活動場所・活動拠点・事業内容の充実・他団体の活動・その他（ ）]

**⑤ これからのセンター「つどい」に、どんな支援を一番求めていますか？**

[組織運営の相談・事業の相談・ハード面（印刷&会議室）の充実・広報・連携先の紹介・交流会・講座・情報提供]

**⑥ 上記以外で書きたい事を書いてください。**

[ \_\_\_\_\_ ]

アンケートにご協力ありがとうございました。  
 ご記入いただいた内容は、当センターにおいて  
 適切に管理いたします。

送信先：八尾市市民活動支援ネットワークセンター「つどい」  
 FAX：072-928-3850

## 参考

※ 今回のアンケートで回答いただいた問②Ⅰの「協働された活動内容」や問②Ⅱの「協働する際には具体的にどのようなものが提供できますか」は、今後データとして整理し、情報発信を行いたいと考えておりますので、下記の記入例をご参考に具体的に記入いただきますよう、お願い致します。

### 【協働の事例（記入例）】

- ・ 地域のまつりで似顔絵コーナーの出展
- ・ 学校園でニュースポーツの体験授業を開催
- ・ 地域ふれあい喫茶でフラダンスを披露
- ・ 地域活動団体と一緒に清掃活動

### 【協働する際に提供できる内容（記入例）】

- ・ マジックの披露
- ・ 介護に関する勉強会
- ・ ミニトランポリン体験
- ・ 未就学児・小学生対象の工作
- ・ コーラスでみんなで歌う
- ・ 農業体験
- ・ 障がい児者のための運動プログラム

# ～ センター「つどい」アンケート vol.3 ～

今後の市民活動へのさらなる支援向上のため下記のアンケートにご協力よろしくお願い致します。

**- 5月13日(日)までに来館・郵便・FAX 等で必ずご返信ください -**

登録団体名		代表者名		回答者名	
TEL		E-mail			

① 次の協働に関する八尾市の事柄・出来事についてお聞きします（各質問1つだけ丸印を記入）。

- 「地域分権」※という言葉について

※ 地域分権：暮らしに身近な小学校区単位を基本に、行政、地域、市民、事業者等が役割を分担して、みんなが主役のまちづくりを進めていくこと。

【 知っている ・ 聞いたことがある ・ 知らない 】

- 出張所の証明書発行及び届出の取り扱いが終了

【 知っている ・ 聞いたことがある ・ 知らない 】

- 出張所などが地域拠点施設※に機能を拡充している

※ 地域拠点施設：地域のまちづくり、コミュニティの推進・生涯学習、健康づくりや介護予防、子育てなど、総合的な支援を行う施設。

【 知っている ・ 聞いたことがある ・ 知らない 】

② 現在、「つどい」では、八尾市市民ふれあい課や出張所などの地域拠点施設を通じて、地域に向けて、次のような内容で「つどい登録団体」をご紹介します、連携を図っています。

- 「あっそうだ、あのこと聞いてみよう・・・」出張！専門家相談会を4月から開催（「つどい」が土業の専門家団体を出張所へご紹介し、実現しました。）
  - 「魚の泳ぐ大正川をつくる会」へチラシ作りを行う団体を紹介し、協働でチラシを作成。（上記の団体は、大正小学校区まちづくり協議会の構成メンバーです！）
- ※ あわせて同封のちらし【「つどい」の紹介で行事が盛況に！】もご参照ください。

そこで皆様にお聞きします！上記のように、みなさんが、出張所などの地域拠点施設や地域活動団体（例：校区まちづくり協議会・町会等）と一緒に出来ることや、やりたいことはありますか。

【 ある ・ ない 】

③ 上記で「ある」と回答した方にお聞きします。

同封のちらしや、前回のアンケート調査の結果内容などを参考に、出来ること・やりたいことを具体的にご記入ください。

アンケートにご協力ありがとうございました。  
ご記入いただいた内容は、当センターにおいて適切に管理いたします。

送 信 先：八尾市市民活動支援ネットワークセンター「つどい」

FAX：072-928-3850

## 八尾市市民活動支援ネットワークセンター「つどい」登録団体名

登録団体数：345 団体（平成 30 年 3 月 31 日 現在）

	通し No.	団体名	登録 No.
あ	1	あ～いあいひろば	381
	2	IT バーチャル八尾	344
	3	あおばの会	290
	4	赤い実	342
	5	特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動 Y.K ホットフォーラム	206
	6	アクアフレンズ	116
	7	曙川東地区講念仏踊り保存子ども教室	171
	8	あじあんりれいしよん	320
	9	A SO BO 塾 大阪 in 八尾	284
	10	アムネスティ・インターナショナル日本支部 なにわグループ	202
	11	あゆみ会 押し花	94
	12	アロハ de 河内音頭	378
	13	阿波踊り連 すばる	147
	14	アンサンブル ひびき	251
	15	一般社団法人 AN SHINH	323
い	16	いきいき健康フェスティバル in 八尾	162
	17	育甫 はなみずきの会	282
	18	いちご会	358
	19	いちょうの会	376
	20	一般社団法人 日本国際飢餓対策機構	260
	21	いなほパソコンクラブ	303
	22	犬の家 アッシュ・ヴィー	102
	23	NPO 法人 108奏	383
う	24	特定非営利活動法人 ウェルエイジレス協会	11
え	25	Aの会	247
	26	エスピス	179

	通し No.	団体名	登録 No.
え	27	えだまめの会	374
	28	絵手紙 いまが青春	122
	29	絵手紙 たんぽぽの会	278
	30	絵手紙&造形サークル きらきら	286
	31	絵本のじかん	402
	32	絵本プロジェクト	73
	33	MOA美術館八尾児童作品展実行委員会	164
	34	M's (エムズ)	410
	35	Ellie,Viva Band	272
	36	ELFEN(エルフェン)	106
	37	演劇フェスティバル インフィニティー	157
お	38	大阪森林インストラクター会 阪奈会	52
	39	大阪府議会議員選挙(八尾地区)公開討論会実行委員会	316
	40	大阪府高齢者大学校同窓会八尾	176
	41	(大阪府高齢者大学同窓会八尾)パソコン相談室	296
	42	大阪府シルバーアドバイザー八尾・柏原(略称 SA 八尾・柏原)	43
	43	岡田茂吉美術文化財団 八尾支部	163
	44	小畑町会	165
	45	おはなしばすけっと	96
	46	オリオン少年団	149
	47	恩智音頭保存会	302
か	48	ガーデニングはなな	76
	49	ガールスカウト大阪府第16団	239
	50	絵画サークル ひまわり	291
	51	GAO GAO KID'S DANCE CLUB	185
	52	かがやき フォークダンス研究会	42
	53	特定非営利活動法人 かがやき SITA(サイタ)	10

	通し No.	団体名	登録 No.
か	54	学生団体 はちのじ	408
	55	特定非営利活動法人 風の音	173
	56	家庭倫理の会 中河内	158
	57	かぶの会	174
	58	上尾町第二町会	189
	59	紙芝居をつくる会	356
	60	特定非営利活動法人 KARALIN	210
	61	かわちエニアグラムの会	69
	62	河内銀友会	136
	63	特定非営利活動法人 河内四国県人会	14
	64	河内昭和音劇団	212
	65	かわち撫子会	261
	66	NPO 法人 河内農業福祉普及会	362
	67	河内の戦争遺跡を語る会	400
	68	河内雅会	182
	69	NPO 法人 河内木綿藍染保存会	351
	70	河内を描く美術の会	78
	71	川の会	124
	72	環境アニメイティッドやお	54
	73	関西大学校友会 八尾支部	322
	74	関西学院同窓会八尾支部	407
き	75	騎士の会	361
	76	CAP プロジェクトやお	209
	77	給食ボランティア連絡会	1
	78	久宝寺寺内町まちづくり推進協議会	240
	79	久宝寺緑地愛功会八尾グループ	88
	80	起立性調節障害(OD)家族の会～Snow～	357

	通し No.	団体名	登録 No.
く	81	特定非営利活動法人 グラウンドワーク八尾	276
	82	グループ 曙川スケッチ	336
	83	Group Viva “Origami”	271
	84	Group Viva 紙芝居	256
	85	ぐるーぶ Viva コラージュ	255
	86	グループまほろば	21
	87	クレヨン	169
	88	くれよんの会	219
	89	薫風タイム	263
け	90	芸能倶楽部・八尾まつり家会	24
	91	健康子育て支援団体 すまいる	328
	92	健康都市八尾プロジェクト協会	114
	93	憲法を生かす会・八尾	71
こ	94	光英会	301
	95	高血圧友の会	27
	96	神立里山保全プロジェクト	192
	97	工房 夢祭	319
	98	声から広がるネットタイム	7
	99	GOGO 会	363
	100	コーラス3びきのくま	150
	101	コーラスさわ	180
	102	コール・グランツ	373
	103	NPO 法人 国際芸術文化センター 八尾支部	252
	104	’14 ころろ会	375
	105	NPO法人 ころろのビタミン研究所 八尾支部	25
	106	こすもす	154
	107	子育て支援プロジェクト サンシャイン	355

	通し No.	団体名	登録 No.
こ	108	こっとなきゃんでい	401
	109	子供・人間形成・教科書プロジェクト	137
	110	子どもたちを放射能から守る・八尾の会(震災復興プロジェクト近畿)	333
	111	子どもと遊びのねっとわーく八尾	396
	112	混声合唱 燦	119
	113	comfort《コンフォート》	393
さ	114	サークル 葦原	327
	115	サークル しゃぼん玉	81
	116	サウンドEMU	117
	117	栄会	299
	118	さっとくつろぎ友の会	354
	119	サロン友遊悠	218
し	120	JR 八尾駅周辺まちづくり協議会	58
	121	シオン児童合唱団	232
	122	詩吟・剣詩舞 和鳳会	370
	123	特定非営利活動法人 自然環境会議八尾	108
	124	指導員サークル ちゃりんぼ	63
	125	NPO 法人 寺内町久宝寺	359
	126	市民が医療を考える会	30
	127	市民ネットワークグループ CAN(アンテナ CAN)	223
	128	シャボン玉	193
	129	写楽のつどい	283
	130	熟年サークルなごみ	104
	131	障害者グループ あゆみの会	231
	132	「障害者総合生活支援センター」をつくる会	13
	133	障がい者福祉音楽支援の輪	161
	134	少年少女組織を育てる八尾センター	16



	通し No.	団体名	登録 No.
し	135	女声 コール・ブリランテ	329
	136	シルバー人材センターコーラス同好会「やまびこ」	126
	137	シンギングエンジェル	44
	138	人権を考えるひとりひとりの会	198
	139	新日本婦人の会八尾支部	220
す	140	好きな本を読む会	195
	141	スキマチステキ・モンジュ	406
	142	すずめの会	347
	143	社会福祉法人 スタコラハウス	141
	144	sniie life	377
	145	すまいをトーク	280
せ	146	先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会 YAO」	352
そ	147	総合計画市民懇談会	270
	148	創作舞踊 翔の会	338
	149	早朝水呑地藏詣りの会	172
	150	荘内町有志会	288
た	151	太陽光発電所ネットワーク関西地域交流会・八尾支部	101
	152	太陽の広場運営委員会	183
	153	高安城を探る会	196
	154	高安地域で菜の花を育てる会	201
	155	高安ドッジボールクラブ	233
	156	高安農空間づくり協議会	394
	157	高安みどりの少年団	51
	158	高安悠画会	144
	159	高安ルーツの能 実行委員会	242
	160	竹淵ミニバスケットボールクラブ	397
	161	たこちっこ 野外で元気に冒険しよう	175

	通し No.	団体名	登録 No.
た	162	たこちっち	140
	163	たまくし歌ひろば	313
ち	164	地域見守りボランティアの会	366
	165	チーム:売る声人	159
	166	(各)地区福祉委員会	2
	167	ちゃりんこバスターズ	142
	168	中小企業家同友会 八尾支部	12
	169	NPO法人 中小企業サポート隊	148
つ	170	つどいの広場 こっこさん	253
	171	つどい場 げんごろう	304
て	172	特定非営利活動法人 て・と・て	343
	173	哲泉流吟詠八鵬	45
	174	てん・てん・てんとむし	308
と	175	道鏡を知る会	217
	176	登校拒否を克服する会 八尾交流会	115
	177	トークかがやき	243
	178	特定非営利活動法人 トッカビ	241
	179	友達の会 クリアーワン	311
	180	共に育つ ともいく・さくらんぼ	391
	181	特定非営利活動法人 とらい・あんぐる	314
な	182	長池つばさFC フューチャーズ	55
	183	流し節正調河内音頭保存会	181
	184	なかまの会 八尾支部	267
に	185	特定非営利活動法人 にじいろのクレヨン	228
	186	NALC 八尾・もめんの会	59
	187	NPO 法人 ニッポンバラタナゴ高安研究会	50
	188	にほんごネットワークYAO	107

	通し No.	団体名	登録 No.
に	189	(社)日本3B体操協会 大阪府支部内河内班	187
	190	特定非営利活動法人 日本フォトアートセラピー福祉協会	109
	191	日本ボーイスカウト大阪連盟 八尾第7団	364
	192	人形劇 わかごぼう	151
	193	人形劇サークル ダックス	275
は	194	ハーモニカ 風音	389
	195	ばうむの会	403
	196	特定非営利活動法人 PUZZLE	297
	197	八老劇団	32
	198	ハッピーアースデイ大阪実行委員会	404
	199	花咲きの会	254
	200	華めだか彩麟庵	380
	201	はなももクラブ	222
	202	薔薇の会 こころの歌	368
	ひ	203	陽だまり sunnyspot.
204		ひとみ会	335
205		ひまわり少年団	143
206		ひまわりの花	369
207		ヒューマンサミット in 八尾	156
ふ	208	特定非営利活動法人 ふぁみりーくろーばー	83
	209	F・D・S“PON-PON”	208
	210	フォークダンスサークル「エーデルワイス」	199
	211	フォークダンスサークル「チロル」	200
	212	Fource	337
	213	佛教大学社会福祉士の会	279
	214	プメハナ フラ コミュニティ	237
	215	フラ・ヴィーナス	372

	通し No.	団体名	登録 No.
ふ	216	フラワーアレンジメントサークル「グリーンローズ」	33
	217	Free Space	250
	218	プリズムジャズフェスタ実行委員会	340
	219	ふるさとやお	360
へ	220	ベストグループ関西 大阪南交流会	93
	221	葎文庫舎	34
	222	へバラギ	277
ほ	223	ぽこの会	387
	224	ほっとスマイル	399
	225	ほほえみ	300
	226	社会福祉法人 ポポロの会 後援会	205
	227	ボランティア芸能「河内連」	207
	228	NPO 法人 ボランティア労力ネットワーク・八尾支部	80
ま	229	まいどお祭り広場	19
	230	まちおこし YAO ライブ	348
	231	街かどデイハウス ホーム美和の会	60
	232	まちかどデイハウス 八尾サランの家	61
	233	街かどデイハウス「茶の間」	367
	234	街かどデイハウス「ゆうゆうの家」	130
	235	街かどデイハウス田んぼ	46
	236	まちづくりF ネットめ！	318
	237	松山町 1 丁目町会 松山町まちづくりの会	138
	238	学び舎 エイトテール	379
み	239	特定非営利活動法人 みち	341
	240	緑の少年団 いちよう	265
	241	ミドルノート軽音楽会	84
	242	ミニ☆大阪プロジェクト実行委員会	293

	通し No.	団体名	登録 No.
み	243	特定非営利活動法人 みのりコミュニオン	274
	244	見張り番・八尾	35
	245	美矢乃会	382
	246	望友の会	331
	247	社会福祉法人 未来波 障がい福祉サービス「きつと」	230
	248	みんと倶楽部	346
も	249	MOCHIKI ファミリー	339
やお あ行	250	八尾アートコミュニティーPOLPO(ポルポ)	97
	251	八尾アカデミー	188
	252	八尾・安全でゆたかな学校給食をすすめる会	66
	253	八尾いきいき歌体操グループ	160
	254	やお絵本の会	315
やお か行	255	NPO 法人八尾柏原コリアントンポネット	236
	256	八尾柏原精神障害者福祉を考える市民の会(通称 きやらふるやおかし)	398
	257	八尾河内音頭まつり振興会	131
	258	八尾環境防衛隊ゴミレンジャー	146
	259	八尾経営・技術交流会(MATEC YAO)ロボット分科会	390
	260	八尾高ラグビー部 OB 会「かわちのラグー」	289
やお さ行	261	八尾市明るい選挙推進協議会	3
	262	八尾市アマチュア無線非常通信連絡会(JA3ZEZ)	20
	263	特定非営利活動法人 八尾市生き生き会議	23
	264	八尾市MOA食育ネットワーク「なごみ」	132
	265	八尾視覚障がい者福祉協会	266
	266	八尾市合唱協会	285
	267	特定非営利活動法人 八尾市観光ボランティアガイドの会	292
	268	八尾市郷土文化推進協議会	197
	269	八尾市高齢者ふれあい安中農園	298

	通し No.	団体名	登録 No.
やお さ行	270	八尾市在日コリアン高齢者福祉をすすめる会	86
	271	八尾市姉妹都市提携協会	36
	272	八尾市女性団体連合会 安中地区女性会	257
	273	八尾市人権啓発推進協議会	215
	274	八尾市スポーツ少年団	227
	275	八尾市ダウン症児者親の会 あじさいの会	295
	276	八尾市断酒会	203
	277	八尾市ダンス協会	353
	278	八尾市地域コーディネーター協議会	139
	279	八尾市ディスコン協会	349
	280	八尾児童合唱団	110
	281	八尾市トランポリンレクササイズ協会	91
	282	八尾市日韓友好協会	238
	283	八尾市 PTA 協議会	229
	284	八尾市ボランティア教育振興会	152
	285	八尾市ボランティア連絡会	177
	286	八尾市南木の本八丁目を清掃する会(ハッセーの会)	184
	287	特定非営利活動法人 やお市民活動ネットワーク	75
	288	やお市民活動まつり実行委員会	85
	289	八尾市民川柳会	216
	290	八尾手話サークル みどり	235
	291	特定非営利活動法人 八尾情報技術支援倶楽部	225
	292	八尾市倫理法人会	249
	293	八尾市路上喫煙マナー向上推進員連絡会	371
	294	八尾・心理カウンセリングの会	330
	295	八尾スタイル	100
296	特定非営利活動法人 八尾すまいまちづくり研究会	121	

	通し No.	団体名	登録 No.
やお た行	297	八尾タイ絵画交流委員会	269
	298	八尾体操クラブ	53
	299	八尾太陽リンクス SC	312
	300	八尾 de 宿題カレーの会	405
	301	八尾点訳奉仕 野菊の会	221
	302	特定非営利活動法人 八尾ドウクラブ	77
やお な行	303	八尾ニューモラル生涯学習クラブ	70
	304	八尾人形劇連絡会	37
	305	八尾ねこの会 さくら	385
	306	八尾の助産師の会	386
	307	”八尾の祭り”を楽しむわくわく実行委員会	395
やお は行	308	社会福祉法人 八尾ひまわり福祉会「障害」を持つ仲間と共に集う場 ひまわり	15
	309	八尾 Flea マーケット	87
	310	八尾文章クラブ	118
	311	NPO 法人 八尾ベースボールクラブ	68
	312	八尾保育運動連絡会	57
やお ま行	313	八尾マジッククラブ	89
	314	八尾マジック同好会	392
	315	やおまちデザイン工房	170
	316	八尾南山本 JSC (ジュニアサッカークラブ)	98
やお や行	317	八尾山の会	145
	318	八尾「山の辺会」	194
	319	八尾読み聞かせの会	321
やお ら行	320	八尾ラグビースクール	5
	321	八尾レオクラブ	388
	322	やお歴民友の会	120
	323	八尾レディース&ビギナーズ マジックサークル	287

わ行	通し No.	団体名	登録 No.
やお ら行	324	八尾ロータリークラブ	268
	325	八尾和太鼓サークル 楽鼓	105
やお わ行	326	YAO 笑いヨガクラブ	306
	327	山本駅前9条の会	281
やま	328	山本コミセン フォークダンス同好会	39
	329	宥慈会	384
ゆ	330	ゆうとおん	26
	331	「よみがえれ曙川」実行委員会	191
よ	332	よみきかせサークル ユーカリ	294
	333	ライトラビット少年団	48
ら	334	特定非営利活動法人 ライフサポート YOU	28
	335	リターンナルびんをすすめる会 八尾	38
れ	336	特定非営利活動法人 歴史体験サポートセンター楽古	67
	337	レディスソサエティ	264
	338	錬信会 八尾道場	365
ろ	339	ロイヤルセラピー FAMILY	244
	340	老人福祉センター 俳句白菊会	213
	341	論語知らずの論語読みの会	155
わ	342	ワークショップ研究会	9
	343	ワークスペースあすく	6
	344	World Seed	332
	345	笑い歌エクササイズ	325